

令和5年度
日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等
に関する調査結果について

令和6年8月

文部科学省

総合教育政策局国際教育課

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託業務として、株式会社サーベイリサーチセンターが実施した令和5年度「外国人の子供の就学状況等及び受入状況等の把握に関する調査事業」の成果をとりまとめたものです。

目 次

第1章 調査概要	1
1.1 調査概要	1
1.1.1 調査基準日	1
1.1.2 調査実施期間	1
1.1.3 調査対象	1
1.1.4 調査手法	1
1.2 主な調査項目	1
1.3 留意点	2
第2章 調査の結果	3
2.1 就学状況の把握	3
2.1.1 日本語指導が必要な児童生徒の在籍人数（外国籍・日本国籍）	3
2.1.2 言語別 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍人数	12
2.1.3 言語別 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の在籍人数	17
2.1.4 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍人数別学校数	21
2.1.5 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の在籍人数別学校数	26
2.1.6 日本語指導が必要な児童生徒の在籍人数別学校数	30
2.2 日本語指導が必要な児童生徒等の判断基準等	31
2.2.1 日本語指導が必要な児童生徒の判断基準別学校数	31
2.2.2 特別支援学級での就学決定に当たっての判断方法別地方公共団体数	33
2.2.3 特別支援学級での就学決定時の、日本語でのコミュニケーション能力についての 判断方法別地方公共団体数	34
2.2.4 特別支援学級での就学決定時の、知能検査等の実施に際しての工夫別地方公共団体数	35
2.2.5 特別支援学級で教育を受けることに関する保護者との合意形成に関しての 実施内容別地方公共団体数	36
2.3 日本語指導の状況等	37
2.3.1 日本語指導の指導状況別外国籍の児童生徒の在籍人数・在籍学校数	37
2.3.2 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒のうち、日本語指導等に係る個別の指導計画を 作成している児童生徒数	41
2.3.3 日本語指導の指導状況別日本国籍の児童生徒の在籍人数・在籍学校数	43
2.3.4 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒のうち、日本語指導等に係る個別の指導計画を 作成している児童生徒数	47

2.3.5	日本語指導が必要な児童生徒のうち学校において特別な配慮に基づく指導を受けている者の割合	49
2.3.6	日本語指導が必要な児童生徒に対して、特別な配慮に基づく指導を行っていない理由	50
2.3.7	「特別の教育課程」による指導を実施していない場合の理由別学校数	51
2.4	日本語指導における「特別の教育課程」の実施状況	53
2.4.1	日本語指導における「特別の教育課程」の指導時間別児童生徒数	53
2.4.2	日本語指導における「特別の教育課程」を特定の教科等に替えての実施有無別学校数	54
2.4.3	日本語指導における「特別の教育課程」を特定の教科等に替えている場合に替えている教科別の学校数	55
2.5	日本語指導の内容	56
2.5.1	日本語指導が必要な児童生徒を対象に行っている指導内容別学校数	56
2.6	日本語指導が必要な生徒の進路状況	59
2.6.1	令和4年度に卒業した日本語指導が必要な中学生等の進路別人数	59
2.6.2	公立高等学校等における日本語指導が必要な高校生等の人数	60
2.6.3	令和4年度中に修了した日本語指導が必要な高校生等の進路別人数	60
2.6.4	日本語指導が必要な高校生等のうち、令和4年度中修了後に進学した者の言語別人数	61
2.6.5	令和4年度中の日本語指導が必要な中学生等の進路状況	62
2.6.6	令和4年度中の日本語指導が必要な高校生等の中退・進路状況	63
2.7	教育委員会における体制整備	65
2.7.1	日本語指導が必要な児童生徒等の受入れに際しての指導体制の整備状況	65
2.7.2	特段の指導体制を整備していない場合の理由	67
2.7.3	学校での日本語指導における ICT 端末等の活用有無別地方公共団体数	68
2.7.4	日本語指導補助者等の支援者の学校での ICT 端末の利用可否別地方公共団体数	69
2.7.5	「日本語指導の支援者」の配置状況	70
2.7.6	「母語支援員」の配置状況	72
2.7.7	母語支援員の対応言語	74
2.7.8	教育委員会における日本語指導が必要な児童生徒等の教育に関する研修の実施状況	77
2.7.9	研修の実施について感じること	87
2.7.10	日本語指導が必要な児童生徒に対する施策の実施状況別地方公共団体数	89
2.8	その他	93
2.8.1	前年度より充実した取組・今後の予定、困っていることや要望等	93
参考資料		94
令和5年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査 調査票		94

第1章 調査概要

1.1 調査概要

1.1.1 調査基準日

令和5年5月1日を基準日としている。

1.1.2 調査実施期間

令和5年8月25日～令和5年11月10日

1.1.3 調査対象

都道府県教育委員会及び市町村教育委員会（特別区を含む）1,788

※ 以下「市町村教育委員会」とする。

※ 広域連合や組合設置の教育委員会については、市区町村単位で回答。

1.1.4 調査手法

都道府県教育委員会を通じ、調査依頼を发出（指定都市教育委員会については、都道府県教育委員会を介さず直接調査票を配布）。回答はオンライン回答システム、もしくはエクセル調査票で回収。

1.2 主な調査項目

- (1) 日本語指導が必要な児童生徒の在籍状況
 - ・日本語指導が必要な児童生徒の在籍人数（外国籍・日本国籍）
 - ・日本語指導が必要な外国籍・日本国籍の児童生徒の在籍人数別学校数
- (2) 日本語指導が必要な児童生徒等の判断基準等
 - ・日本語指導が必要な児童生徒の判断基準別学校数
 - ・特別支援学級での就学決定に当たっての判断方法別地方公共団体数
- (3) 日本語指導の状況
 - ・日本語指導の指導状況別の児童生徒の在籍人数・在籍学校数
 - ・日本語指導等に係る個別の指導計画を作成している児童生徒数
- (4) 日本語指導における「特別の教育課程」の実施状況
- (5) 日本語指導の内容

(6) 日本語指導が必要な生徒の進路状況

- ・令和4年度に卒業した日本語指導が必要な中学生等の進路別人数
- ・令和4年度中に修了した日本語指導が必要な高校生等の進路別人数
- ・日本語指導が必要な中学生等の進路状況
- ・日本語指導が必要な高校生等の中退・進路状況

(7) 教育委員会における体制整備

- ・日本語指導が必要な児童生徒等の受入れに際しての指導体制の整備状況
- ・学校での日本語指導における ICT 端末等の活用有無別地方公共団体数
- ・「日本語指導の支援者」「母語支援員」の配置状況
- ・教育委員会における日本語指導が必要な児童生徒等の教育に関する研修の実施状況
- ・日本語指導が必要な児童生徒に対する施策の実施状況別地方公共団体数

1.3 留意点

- ・本調査における「日本語指導が必要な児童生徒」とは、日本語で日常会話が十分にできない児童生徒、もしくは、日常会話ができていても学年相当の学習言語が不足し、学習活動への参加に支障が生じている児童生徒を指す。
- ・本調査における「外国籍」の児童生徒とは、地方公共団体が所管する学校に在籍している外国籍を持つ児童生徒を指す。日本国籍との二重国籍者は「日本国籍」として扱う。
- ・「n」は、構成比算出の母数（地方公共団体数）を示している。
- ・百分率による集計では、回答地方公共団体数（該当質問における該当者数）を100%として算出し、図表の数字に関しては小数点以下第2位を四捨五入し、小数第1位までを表記している。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがある。

第2章 調査の結果

2.1 就学状況の把握

2.1.1 日本語指導が必要な児童生徒の在籍人数（外国籍・日本国籍）

貴校に在籍する児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童生徒が在籍していれば、「外国籍」「日本国籍」別の人数を回答してください。

● 学校種別

	小学校		中学校		高等学校	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
外国籍	38,141	31,189	13,369	11,280	4,991	4,292
日本国籍	7,991	7,550	2,598	2,376	582	516
合計	46,132	38,739	15,967	13,656	5,573	4,808

(人)

	義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		合計	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
外国籍	527	339	75	66	615	453	57,718	47,619
日本国籍	84	77	37	86	113	83	11,405	10,688
合計	611	416	112	152	728	536	69,123	58,307

(人)

● 課程等別

	高等学校						高等学校	
	全日制		定時制		通信制		令和5年度	令和3年度
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度		
外国籍	2,445	2,041	2,485	2,197	61	54	4,991	4,292
日本国籍	369	268	208	242	5	6	582	516
合計	2,814	2,309	2,693	2,439	66	60	5,573	4,808

(人)

	義務教育学校				義務教育学校	
	前期課程		後期課程		令和5年度	令和3年度
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度		
外国籍	329	183	198	156	527	339
日本国籍	63	51	21	26	84	77
合計	392	234	219	182	611	416

(人)

	中等教育学校				中等教育学校	
	前期課程		後期課程		令和5年度	令和3年度
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度		
外国籍	38	49	37	17	75	66
日本国籍	16	61	21	25	37	86
合計	54	110	58	42	112	152

(人)

	特別支援学校						特別支援学校	
	小学部		中学部		高等部		令和5年度	令和3年度
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度		
外国籍	311	229	114	114	190	110	615	453
日本国籍	47	43	24	15	42	25	113	83
合計	358	272	138	129	232	135	728	536

(人)

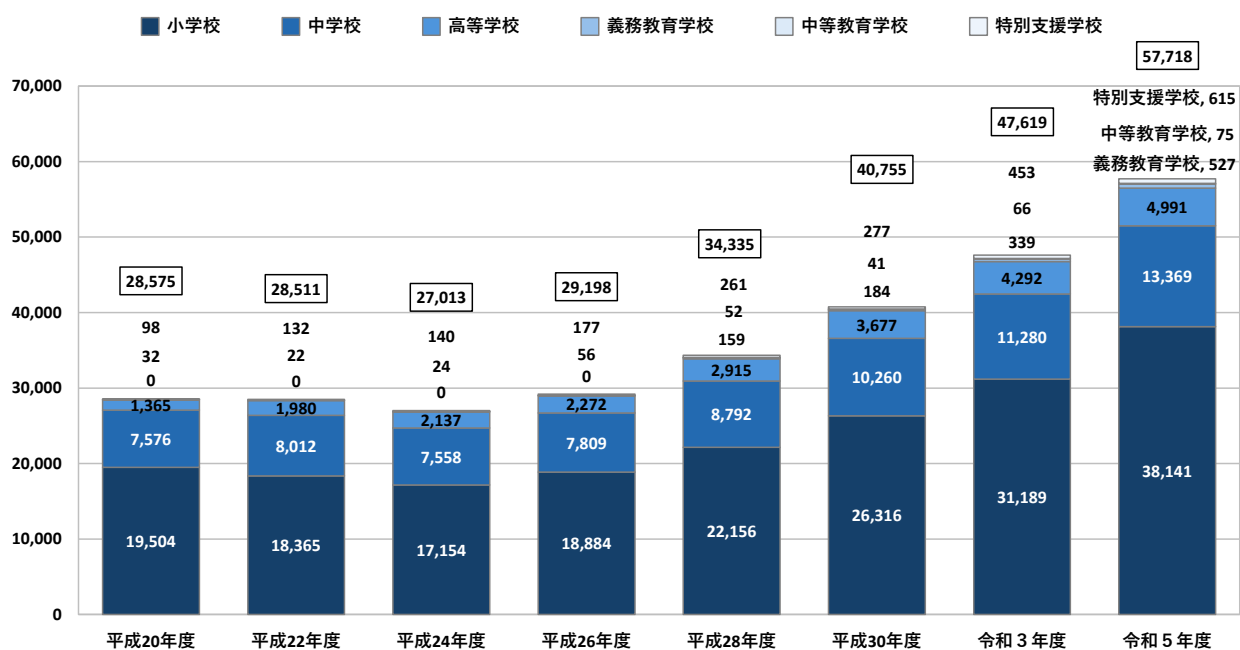
● 特別支援学級（学校種別・課程別）

	小学校	中学校	義務教育学校		中等教育 学校	合計
			前期課程	後期課程	前期課程	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
外国籍	2,143	650	17	7	0	2,817
日本国籍	508	154	3	0	0	665
合計	2,651	804	20	7	0	3,482

(人)

● 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数

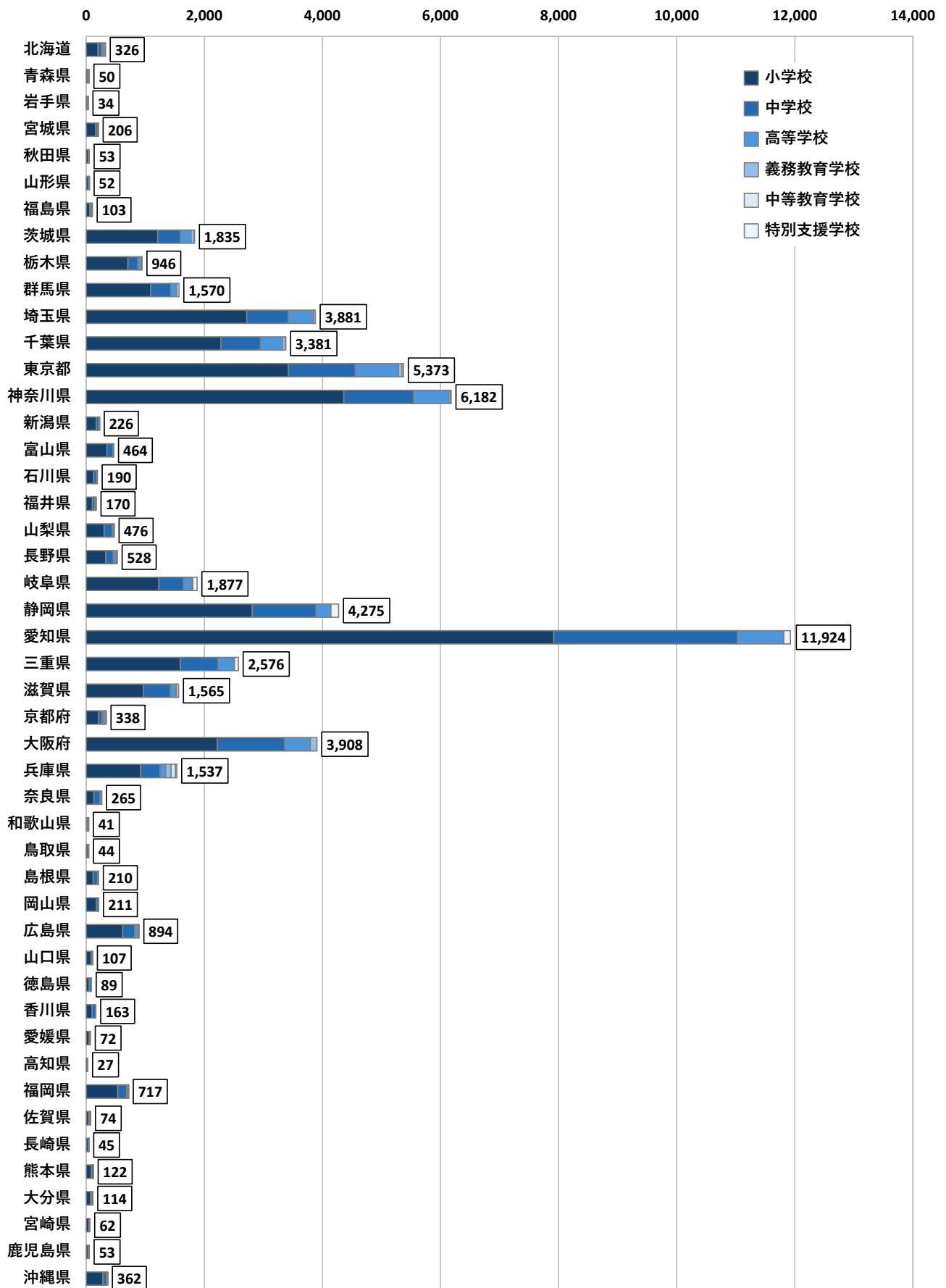
	平成20年度	平成22年度	平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和3年度	令和5年度
小学校	19,504	18,365	17,154	18,884	22,156	26,316	31,189	38,141
中学校	7,576	8,012	7,558	7,809	8,792	10,260	11,280	13,369
高等学校	1,365	1,980	2,137	2,272	2,915	3,677	4,292	4,991
義務教育学校	-	-	-	-	159	184	339	527
中等教育学校	32	22	24	56	52	41	66	75
特別支援学校	98	132	140	177	261	277	453	615
合計	28,575	28,511	27,013	29,198	34,335	40,755	47,619	57,718



● 都道府県別 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍人数

	令和5年度																							前回比較	
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校				中等教育学校			特別支援学校			合計		合計					
	うち 特別 支援 学級	うち 特別 支援 学級	(計)	全 日 制	定 時 制	通 信 制	(計)	前 期 課 程	うち 特別 支援 学級	後 期 課 程	うち 特別 支援 学級	(計)	前 期 課 程	うち 特別 支援 学級	後 期 課 程	(計)	小 学 部	中 学 部	高 等 部	うち 特別 支援 学級	前 回 比	令 和 3 年 度			
合計	38,141	2,143	13,369	650	4,991	2,445	2,485	61	527	329	17	198	7	75	38	0	37	615	311	114	190	57,718	2,817	121.2%	47,619
北海道	198	6	65	1	31	9	22	0	30	24	1	6	0	0	0	0	0	2	2	0	0	326	8	176.2%	185
青森県	25	0	18	0	6	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	50	0	122.0%	41
岩手県	22	1	7	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	34	1	100.0%	34
宮城県	159	6	33	1	13	3	10	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206	7	148.2%	139
秋田県	39	3	9	0	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	3	171.0%	31
山形県	39	3	10	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	52	4	144.4%	36
福島県	60	1	22	0	20	17	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	103	1	160.9%	64
茨城県	1,210	83	383	16	182	142	38	2	55	40	4	15	2	0	0	0	0	5	4	0	1	1,835	105	124.7%	1,472
栃木県	706	53	170	5	60	8	40	12	0	0	0	0	0	0	0	0	10	5	3	2	946	58	122.2%	774	
群馬県	1,095	40	340	16	104	32	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	15	5	11	1,570	56	116.8%	1,344	
埼玉県	2,720	78	701	20	432	198	209	25	2	1	0	1	0	0	0	0	26	15	4	7	3,881	98	123.9%	3,133	
千葉県	2,280	128	671	21	374	192	182	0	49	29	0	20	1	0	0	0	7	5	0	2	3,381	150	154.2%	2,193	
東京都	3,426	39	1,130	10	733	461	272	0	58	45	1	13	0	0	0	0	26	11	8	7	5,373	50	147.8%	3,636	
神奈川県	4,361	210	1,183	50	597	336	257	4	29	24	2	5	1	0	0	0	12	8	2	2	6,182	263	117.5%	5,261	
新潟県	171	9	41	2	12	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	226	11	141.3%	160	
富山県	353	18	104	9	5	1	2	2	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	464	28	114.3%	406	
石川県	128	6	52	1	10	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190	7	127.5%	149
福井県	103	8	39	4	22	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	1	3	170	12	100.0%	170	
山梨県	302	17	140	12	28	13	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	0	4	476	29	146.0%	326	
長野県	330	29	129	10	51	33	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	8	3	7	528	39	97.4%	542	
岐阜県	1,229	80	419	18	141	86	55	0	16	13	0	3	0	0	0	0	72	39	14	19	1,877	98	104.6%	1,794	
静岡県	2,810	284	1,085	124	248	80	168	0	1	1	0	0	0	0	0	0	131	67	30	34	4,275	408	113.0%	3,783	
愛知県	7,918	522	3,109	173	782	156	626	0	4	3	0	1	0	0	0	0	111	52	15	44	11,924	695	110.9%	10,749	
三重県	1,593	150	643	56	271	115	154	2	3	1	0	2	1	0	0	0	66	37	9	20	2,576	207	109.5%	2,353	
滋賀県	967	91	458	35	95	33	62	0	14	11	2	3	0	0	0	0	31	10	8	13	1,565	128	110.5%	1,416	
京都府	211	9	59	2	37	5	32	0	30	27	0	3	0	0	0	0	1	1	0	0	338	11	128.0%	264	
大阪府	2,221	131	1,139	33	437	316	119	2	111	14	1	97	0	0	0	0	0	0	0	0	3,908	165	123.4%	3,167	
兵庫県	921	38	331	3	95	46	44	5	91	71	5	20	0	75	38	0	37	24	11	9	4	1,537	46	119.3%	1,288
奈良県	131	11	100	1	27	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	4	0	3	265	12	104.3%	254	
和歌山県	17	1	9	0	13	10	3	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	1	93.2%	44
鳥取県	30	2	9	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	2	244.4%	18	
島根県	117	7	75	7	14	1	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	2	210	14	115.4%	182	
岡山県	177	3	30	0	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	211	3	158.6%	133	
広島県	620	19	204	2	55	26	26	3	8	6	0	2	0	0	0	0	7	5	1	1	894	21	122.5%	730	
山口県	86	2	19	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107	3	89.2%	120	
徳島県	53	8	31	0	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89	8	127.1%	70	
香川県	102	13	58	5	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	163	18	119.9%	136	
愛媛県	51	3	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72	3	160.0%	45	
高知県	23	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	1	225.0%	12	
福岡県	533	11	154	4	27	22	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	717	15	155.2%	462	
佐賀県	44	1	17	1	1	1	0	12	10	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	74	4	185.0%	40	
長崎県	36	0	7	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	45	0	118.4%	38	
熊本県	85	6	33	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	122	7	154.4%	79	
大分県	73	0	25	1	11	11	0	5	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	1	228.0%	50	
宮崎県	47	1	11	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	1	172.2%	36	
鹿児島県	34	0	12	0	3	3	0	0	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	189.3%	28	
沖縄県	285	11	60	4	16	13	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	362	15	156.0%	232	

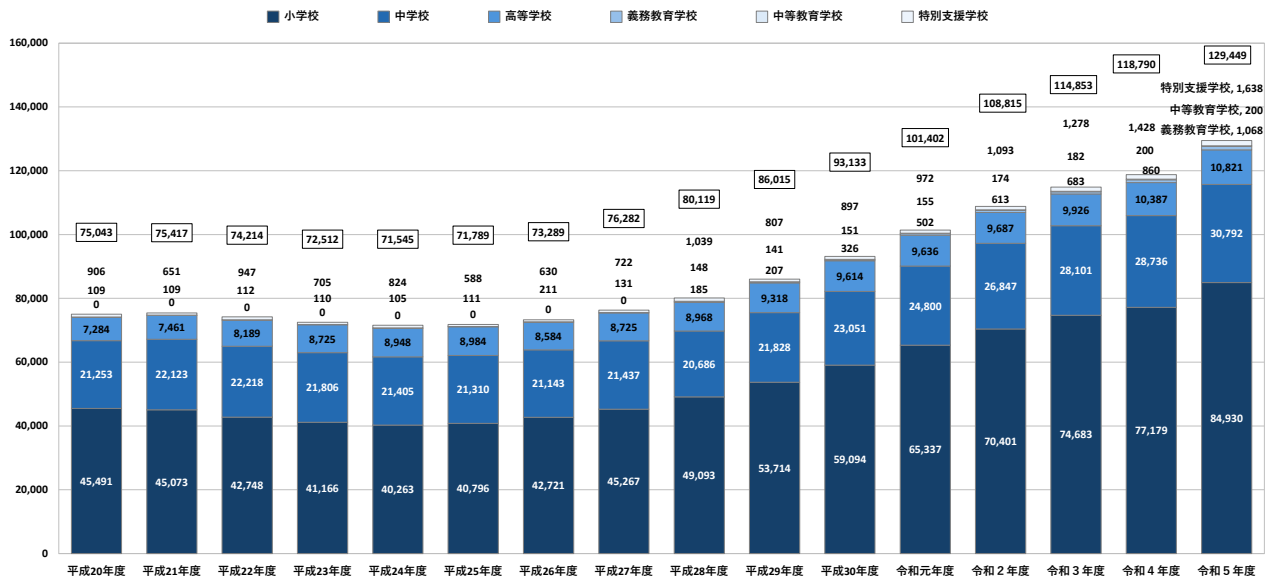
(人)



※（参考）公立学校に在籍している外国籍の児童生徒数

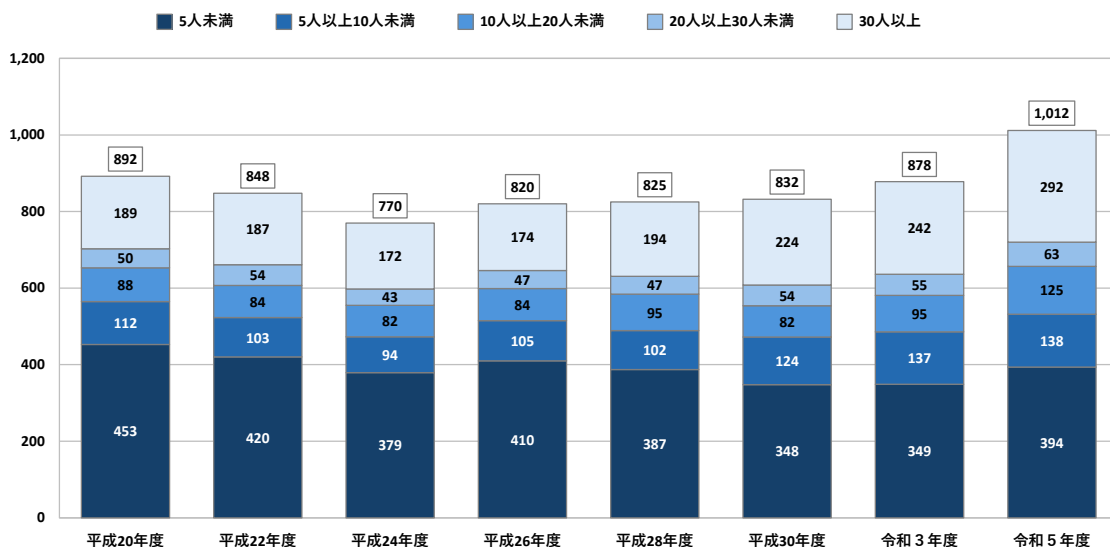
（出典：文部科学省「学校基本調査」）

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	45,491	45,073	42,748	41,166	40,263	40,796	42,721	45,267	49,093	53,714	59,094	65,337	70,401	74,683	77,179	84,930
中学校	21,253	22,123	22,218	21,806	21,405	21,310	21,143	21,437	20,686	21,828	23,051	24,800	26,847	28,101	28,736	30,792
高等学校	7,284	7,461	8,189	8,725	8,948	8,984	8,584	8,725	8,968	9,318	9,614	9,636	9,687	9,926	10,387	10,821
義務教育学校	-	-	-	-	-	-	-	-	185	207	326	502	613	683	860	1,068
中等教育学校	109	109	112	110	105	111	211	131	148	141	151	155	174	182	200	200
特別支援学校	906	651	947	705	824	588	630	722	1,039	807	897	972	1,093	1,278	1,428	1,638
合計	75,043	75,417	74,214	72,512	71,545	71,789	73,289	76,282	80,119	86,015	93,133	101,402	108,815	114,853	118,790	129,449



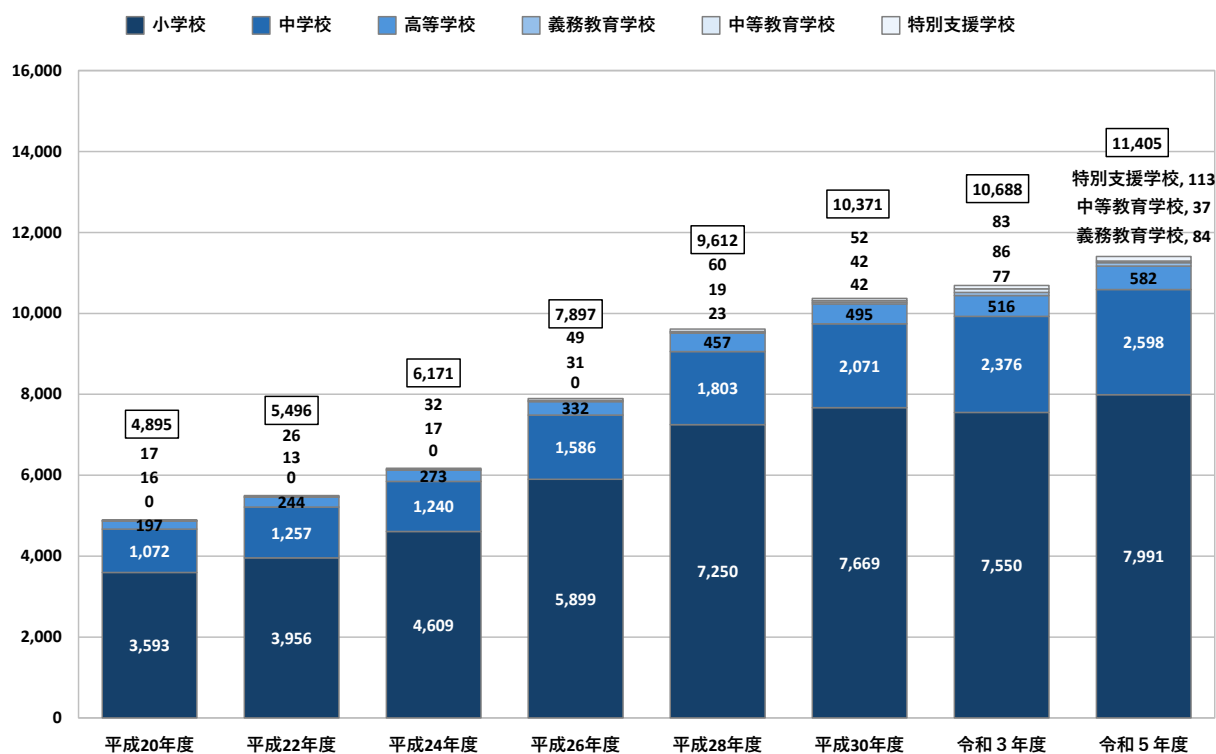
● 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍人数別市町村数（特別区を含む。）

	平成20年度	平成22年度	平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和3年度	令和5年度
5人未満	453	420	379	410	387	348	349	394
5人以上10人未満	112	103	94	105	102	124	137	138
10人以上20人未満	88	84	82	84	95	82	95	125
20人以上30人未満	50	54	43	47	47	54	55	63
30人以上	189	187	172	174	194	224	242	292
合計	892	848	770	820	825	832	878	1,012



● 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数

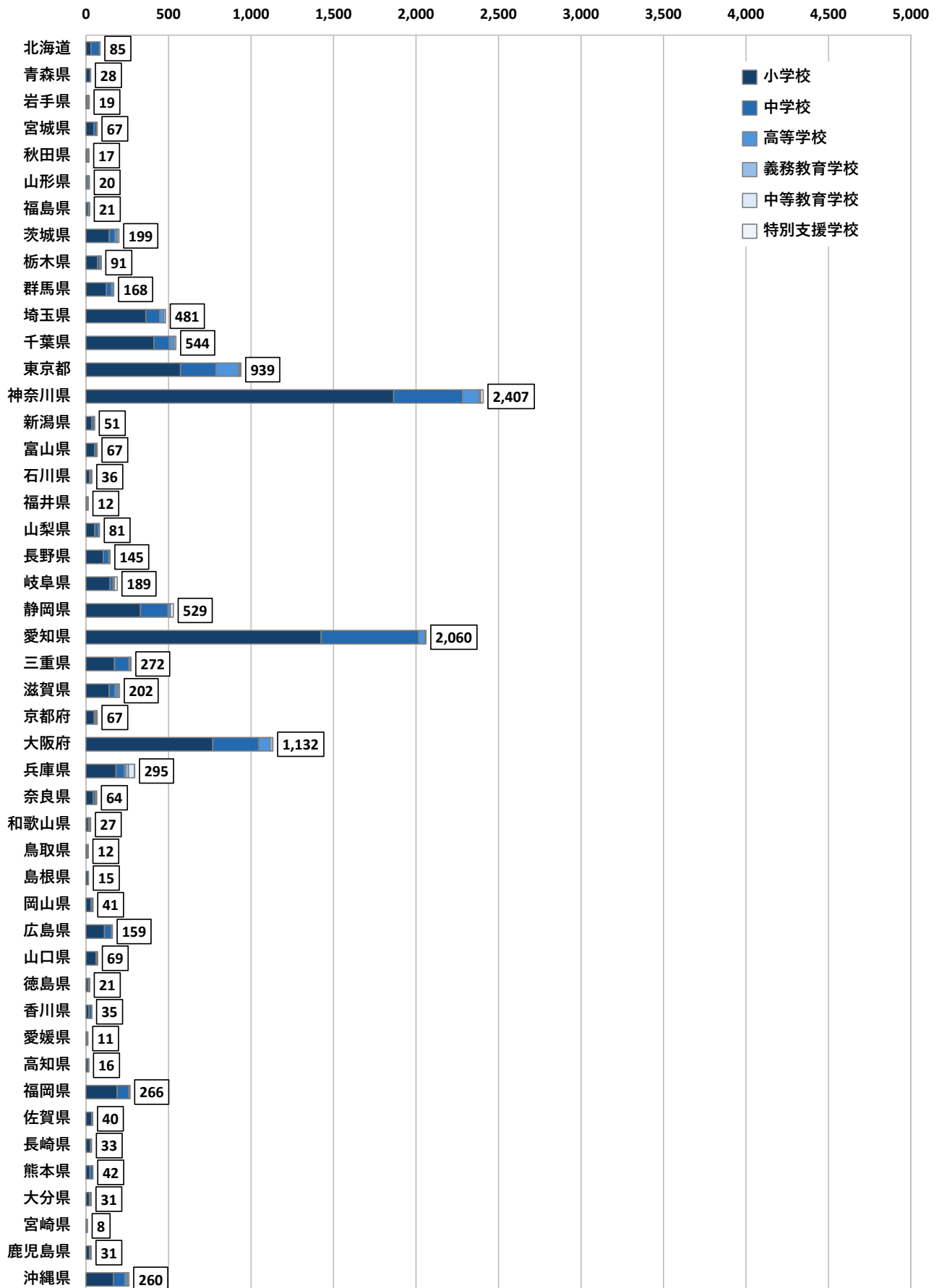
	平成20年度	平成22年度	平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和3年度	令和5年度
小学校	3,593	3,956	4,609	5,899	7,250	7,669	7,550	7,991
中学校	1,072	1,257	1,240	1,586	1,803	2,071	2,376	2,598
高等学校	197	244	273	332	457	495	516	582
義務教育学校	-	-	-	-	23	42	77	84
中等教育学校	16	13	17	31	19	42	86	37
特別支援学校	17	26	32	49	60	52	83	113
合計	4,895	5,496	6,171	7,897	9,612	10,371	10,688	11,405



● 都道府県別 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の在籍人数

	令和5年度																				前回比較					
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計		合計								
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	うち特別支援学級	後期課程	うち特別支援学級	(計)	前期課程	うち特別支援学級	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	前回比	令和3年度				
	うち特別支援学級	うち特別支援学級																								
合計	7,991	508	2,598	154	582	369	208	5	84	63	3	21	0	37	16	0	21	113	47	24	42	11,405	665	106.7%	10,688	
北海道	30	6	51	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	2	85	13	151.8%	56
青森県	26	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	1	140.0%	20
岩手県	9	1	5	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	1	1	19	2	126.7%	15
宮城県	47	1	17	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	1	159.5%	42
秋田県	9	0	3	0	4	4	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	65.4%	26
山形県	8	3	9	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	4	83.3%	24
福島県	12	1	5	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	21	2	123.5%	17	
茨城県	141	12	33	4	13	9	4	0	12	10	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	199	17	100.0%	199
栃木県	69	1	15	1	6	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	91	2	84.3%	108
群馬県	123	14	32	2	13	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	168	16	130.2%	129
埼玉県	362	16	84	2	26	17	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	6	0	3	481	18	80.3%	599	
千葉県	411	18	93	2	29	20	9	0	11	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	544	20	123.6%	440
東京都	572	10	216	4	138	77	61	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	8	6	1	1	939	14	93.0%	1,010	
神奈川県	1,865	114	417	10	101	65	35	1	9	7	0	2	0	0	0	0	0	15	4	1	10	2,407	124	118.2%	2,037	
新潟県	36	4	11	3	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	51	7	83.6%	61	
富山県	52	2	12	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	2	101.5%	66
石川県	22	0	7	0	7	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	200.0%	18
福井県	5	0	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	12	0	92.3%	13	
山梨県	53	2	22	1	6	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	3	130.6%	62
長野県	105	2	32	7	6	5	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	145	9	94.2%	154
岐阜県	145	11	19	2	8	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	5	4	8	189	13	92.2%	205	
静岡県	330	30	166	18	16	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	10	2	5	529	48	111.4%	475	
愛知県	1,425	74	591	29	38	21	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	2	1	2,060	103	103.6%	1,989	
三重県	172	11	88	6	11	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	272	17	89.5%	304	
滋賀県	140	17	36	2	18	13	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	2	5	202	19	132.9%	152	
京都府	50	2	7	1	4	1	3	0	5	4	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	67	3	62.0%	108	
大阪府	768	89	279	25	68	59	7	2	17	12	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,132	114	122.1%	927
兵庫県	181	6	51	2	8	4	4	0	17	11	2	6	0	37	16	0	21	1	0	1	0	295	10	90.2%	327	
奈良県	44	3	11	1	7	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	64	4	81.0%	79	
和歌山県	15	2	7	0	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	2	270.0%	10
鳥取県	9	4	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4	80.0%	15
島根県	12	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	1	62.5%	24
岡山県	30	0	10	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	0	107.9%	38
広島県	112	11	42	4	5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	159	15	124.2%	128
山口県	60	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	69	1	168.3%	41	
徳島県	13	3	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	21	4	91.3%	23	
香川県	18	5	16	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	35	8	120.7%	29	
愛媛県	9	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	73.3%	15
高知県	12	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	145.5%	11
福岡県	189	16	71	4	3	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	266	20	94.7%	281	
佐賀県	35	2	4	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	3	117.6%	34
長崎県	27	1	4	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	2	126.9%	26
熊本県	24	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	1	66.7%	63
大分県	21	0	6	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	163.2%	19
宮崎県	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	50.0%	16
鹿児島県	22	2	7	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	3	221.4%	14
沖縄県	166	9	69	5	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	4	3	2	260	14	108.8%	239	

(人)



● 日本語指導が必要な児童生徒の在籍人数別市町村数（特別区を含む。）

		外国籍		日本国籍		外国籍又は日本国籍いずれかの児童生徒が在籍している市町村数 令和5年度
		令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	
合計	市町村数	1,012	878	716	666	1,080
	構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
5人未満	市町村数	394	349	383	360	409
	構成比	38.9%	39.7%	53.5%	54.1%	37.9%
5人以上10人未満	市町村数	138	137	120	109	150
	構成比	13.6%	15.6%	16.8%	16.4%	13.9%
10人以上15人未満	市町村数	73	60	51	53	73
	構成比	7.2%	6.8%	7.1%	8.0%	6.8%
15人以上20人未満	市町村数	52	35	39	41	62
	構成比	5.1%	4.0%	5.4%	6.2%	5.7%
20人以上25人未満	市町村数	34	32	22	20	30
	構成比	3.4%	3.6%	3.1%	3.0%	2.8%
25人以上30人未満	市町村数	29	23	18	11	28
	構成比	2.9%	2.6%	2.5%	1.7%	2.6%
30人以上50人未満	市町村数	73	61	37	36	79
	構成比	7.2%	6.9%	5.2%	5.4%	7.3%
50人以上100人未満	市町村数	77	75	35	22	90
	構成比	7.6%	8.5%	4.9%	3.3%	8.3%
100人以上200人未満	市町村数	69	54	5	8	71
	構成比	6.8%	6.2%	0.7%	1.2%	6.6%
200人以上	市町村数	73	52	6	6	88
	構成比	7.2%	5.9%	0.8%	0.9%	8.1%

2.1.2 言語別 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍人数

日本語指導が必要な児童生徒のうち、「外国籍」の児童生徒について、言語別の人数を回答してください。

(※) 言語別：家庭及び日常生活において、比較的使用頻度の高い言語別

● 学校種別

	小学校		中学校		高等学校		義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		合計	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
合計	38,141	31,189	13,369	11,280	4,991	4,292	527	339	75	66	615	453	57,718	47,619
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(ア) 日本語	2,050	1,456	444	337	109	88	22	8	0	2	46	38	2,671	1,929
構成比	5.4%	4.7%	3.3%	3.0%	2.2%	2.1%	4.2%	2.4%	0.0%	3.0%	7.5%	8.4%	4.6%	4.1%
(イ) 英語	2,477	1,454	477	320	184	112	30	31	6	0	47	28	3,221	1,945
構成比	6.5%	4.7%	3.6%	2.8%	3.7%	2.6%	5.7%	9.1%	8.0%	0.0%	7.6%	6.2%	5.6%	4.1%
(ウ) 韓国・朝鮮語	305	318	112	114	47	24	10	5	3	4	5	1	482	466
構成比	0.8%	1.0%	0.8%	1.0%	0.9%	0.6%	1.9%	1.5%	4.0%	6.1%	0.8%	0.2%	0.8%	1.0%
(エ) スペイン語	2,371	2,401	982	972	246	282	11	6	2	1	56	52	3,668	3,714
構成比	6.2%	7.7%	7.3%	8.6%	4.9%	6.6%	2.1%	1.8%	2.7%	1.5%	9.1%	11.5%	6.4%	7.8%
(オ) 中国語	8,078	6,342	2,574	2,359	1,066	1,084	82	87	34	37	28	30	11,862	9,939
構成比	21.2%	20.3%	19.3%	20.9%	21.4%	25.3%	15.6%	25.7%	45.3%	56.1%	4.6%	6.6%	20.6%	20.9%
(カ) フィリピン語	5,124	4,380	2,506	1,976	1,130	1,022	57	25	6	7	90	52	8,913	7,462
構成比	13.4%	14.0%	18.7%	17.5%	22.6%	23.8%	10.8%	7.4%	8.0%	10.6%	14.6%	11.5%	15.4%	15.7%
(キ) ベトナム語	2,953	2,014	551	506	146	121	89	49	0	0	17	12	3,756	2,702
構成比	7.7%	6.5%	4.1%	4.5%	2.9%	2.8%	16.9%	14.5%	0.0%	0.0%	2.8%	2.6%	6.5%	5.7%
(ク) ポルトガル語	7,860	8,134	3,194	3,031	664	563	27	29	1	1	280	198	12,026	11,956
構成比	20.6%	26.1%	23.9%	26.9%	13.3%	13.1%	5.1%	8.6%	1.3%	1.5%	45.5%	43.7%	20.8%	25.1%
(ケ) その他	6,923	4,690	2,529	1,665	1,399	996	199	99	23	14	46	42	11,119	7,506
構成比	18.2%	15.0%	18.9%	14.8%	28.0%	23.2%	37.8%	29.2%	30.7%	21.2%	7.5%	9.3%	19.3%	15.8%

(人)

● 課程等別

	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
	全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
合計	2,445	2,485	61	329	198	38	37	311	114	190
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(ア) 日本語	52	52	5	20	2	0	0	22	9	15
構成比	2.1%	2.1%	8.2%	6.1%	1.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.9%	7.9%
(イ) 英語	83	99	2	26	4	6	0	30	10	7
構成比	3.4%	4.0%	3.3%	7.9%	2.0%	15.8%	0.0%	9.6%	8.8%	3.7%
(ウ) 韓国・朝鮮語	26	20	1	3	7	1	2	4	1	0
構成比	1.1%	0.8%	1.6%	0.9%	3.5%	2.6%	5.4%	1.3%	0.9%	0.0%
(エ) ス페인語	106	134	6	6	5	2	0	24	12	20
構成比	4.3%	5.4%	9.8%	1.8%	2.5%	5.3%	0.0%	7.7%	10.5%	10.5%
(オ) 中国語	741	317	8	33	49	11	23	14	12	2
構成比	30.3%	12.8%	13.1%	10.0%	24.7%	28.9%	62.2%	4.5%	10.5%	1.1%
(カ) フィリピン語	486	634	10	37	20	0	6	52	17	21
構成比	19.9%	25.5%	16.4%	11.2%	10.1%	0.0%	16.2%	16.7%	14.9%	11.1%
(キ) ベトナム語	92	54	0	63	26	0	0	12	2	3
構成比	3.8%	2.2%	0.0%	19.1%	13.1%	0.0%	0.0%	3.9%	1.8%	1.6%
(ク) ポルトガル語	239	421	4	15	12	1	0	126	43	111
構成比	9.8%	16.9%	6.6%	4.6%	6.1%	2.6%	0.0%	40.5%	37.7%	58.4%
(ケ) その他	620	754	25	126	73	17	6	27	8	11
構成比	25.4%	30.3%	41.0%	38.3%	36.9%	44.7%	16.2%	8.7%	7.0%	5.8%

(人)

● 特別支援学級（学校種別・課程別）

	小学校	中学校	義務教育学校		中等教育学校	合計
			前期課程	後期課程	前期課程	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
合計	2,143	650	17	7	0	2,817
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
(ア) 日本語	102	22	1	1	0	126
構成比	4.8%	3.4%	5.9%	14.3%		4.5%
(イ) 英語	114	13	1	1	0	129
構成比	5.3%	2.0%	5.9%	14.3%		4.6%
(ウ) 韓国・朝鮮語	9	2	0	0	0	11
構成比	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%		0.4%
(エ) ス페인語	232	78	1	0	0	311
構成比	10.8%	12.0%	5.9%	0.0%		11.0%
(オ) 中国語	198	40	3	0	0	241
構成比	9.2%	6.2%	17.6%	0.0%		8.6%
(カ) フィリピン語	345	121	1	0	0	467
構成比	16.1%	18.6%	5.9%	0.0%		16.6%
(キ) ベトナム語	82	14	3	2	0	101
構成比	3.8%	2.2%	17.6%	28.6%		3.6%
(ク) ポルトガル語	796	308	2	2	0	1,108
構成比	37.1%	47.4%	11.8%	28.6%		39.3%
(ケ) その他	265	52	5	1	0	323
構成比	12.4%	8.0%	29.4%	14.3%		11.5%

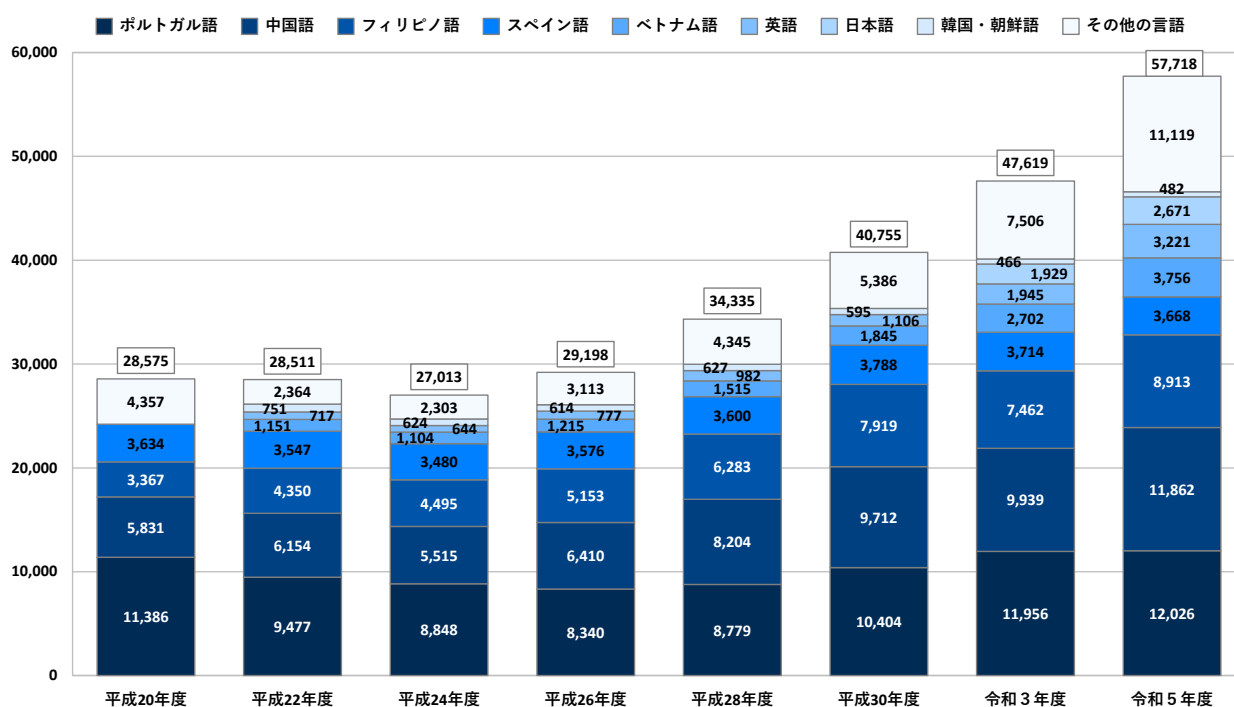
(人)

「その他」回答例：

ネパール語/ウルドゥー語/インドネシア語/タイ語/モンゴル語/ベンガル語/シンハラ語/ロシア語/ヒンディー語/アラビア語/パシュトゥー語/ペルシャ語/ミャンマー語/タミル語/ウクライナ語 等

● 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の言語別在籍状況

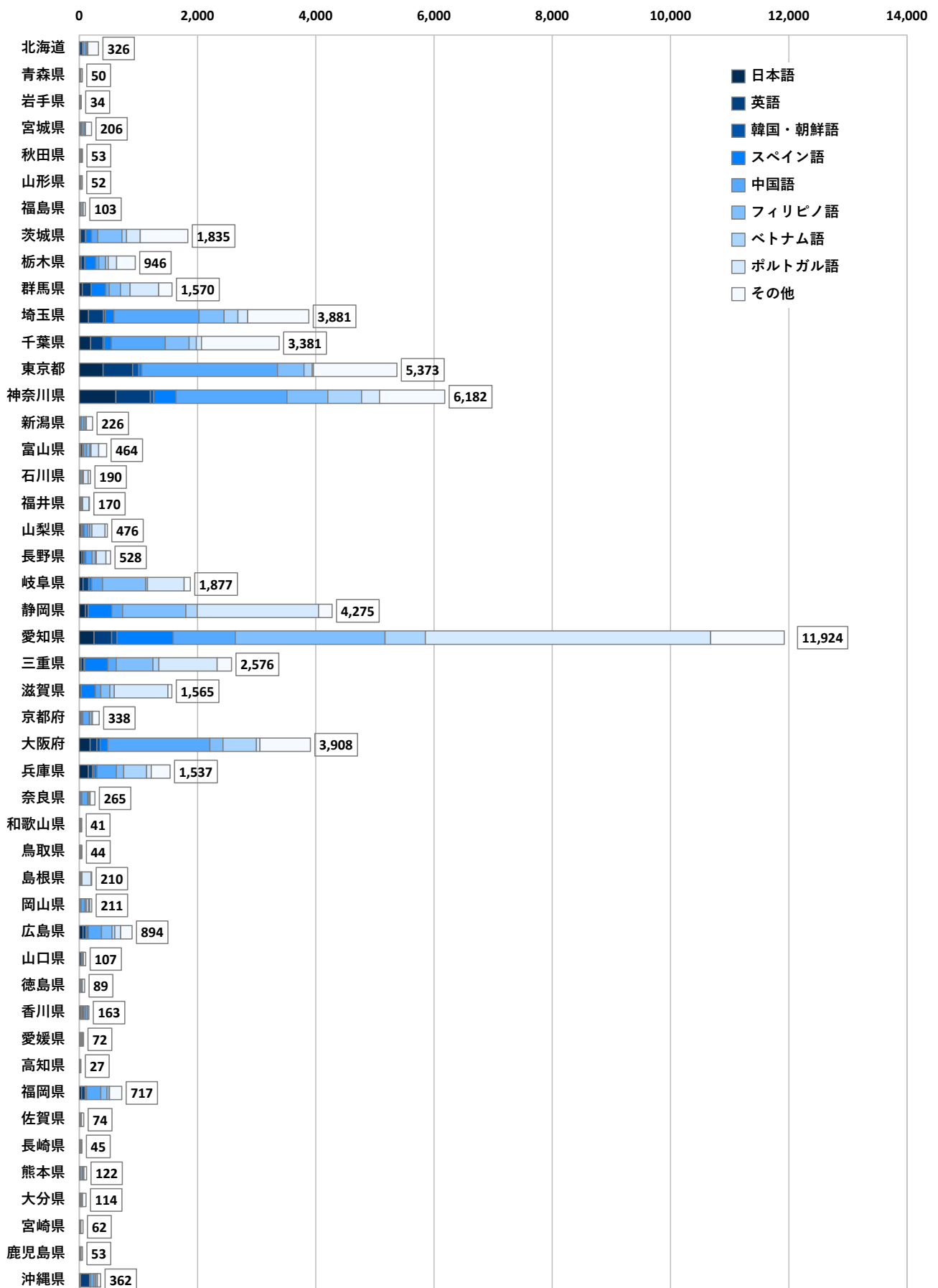
	平成20年度	平成22年度	平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和3年度	令和5年度
日本語	-	-	-	-	-	-	1,929	2,671
英語	-	717	644	777	982	1,106	1,945	3,221
韓国・朝鮮語	-	751	624	614	627	595	466	482
スペイン語	3,634	3,547	3,480	3,576	3,600	3,788	3,714	3,668
中国語	5,831	6,154	5,515	6,410	8,204	9,712	9,939	11,862
フィリピン語	3,367	4,350	4,495	5,153	6,283	7,919	7,462	8,913
ベトナム語	-	1,151	1,104	1,215	1,515	1,845	2,702	3,756
ポルトガル語	11,386	9,477	8,848	8,340	8,779	10,404	11,956	12,026
その他の言語	4,357	2,364	2,303	3,113	4,345	5,386	7,506	11,119
合計	28,575	28,511	27,013	29,198	34,335	40,755	47,619	57,718



● 都道府県別 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の言語別人数

	令和5年度									
	日本語	英語	韓国・朝鮮語	スペイン語	中国語	フィリピン語	ベトナム語	ポルトガル語	その他	合計
合計	2,671	3,221	482	3,668	11,862	8,913	3,756	12,026	11,119	57,718
北海道	5	49	3	6	48	18	14	1	182	326
青森県	1	5	0	1	11	7	2	0	23	50
岩手県	1	6	0	0	4	4	0	0	19	34
宮城県	19	24	1	1	40	5	13	1	102	206
秋田県	4	10	1	0	10	9	3	0	16	53
山形県	8	0	0	0	13	6	4	0	21	52
福島県	7	6	0	2	13	31	5	3	36	103
茨城県	20	83	9	96	104	410	76	234	803	1,835
栃木県	29	63	0	189	49	115	44	143	314	946
群馬県	51	152	2	243	60	190	161	485	226	1,570
埼玉県	156	254	29	147	1,440	424	232	168	1,031	3,881
千葉県	193	211	22	117	912	403	121	89	1,313	3,381
東京都	403	500	103	53	2,296	447	137	22	1,412	5,373
神奈川県	619	582	59	379	1,873	692	571	304	1,103	6,182
新潟県	13	18	2	1	44	31	4	7	106	226
富山県	20	32	0	16	54	57	20	128	137	464
石川県	6	6	1	5	31	12	8	81	40	190
福井県	21	6	0	0	13	9	8	109	4	170
山梨県	31	8	11	35	54	38	35	223	41	476
長野県	46	32	1	32	105	59	14	162	77	528
岐阜県	64	94	3	50	184	728	31	618	105	1,877
静岡県	103	47	3	398	182	1,070	192	2,052	228	4,275
愛知県	249	299	93	949	1,049	2,531	683	4,827	1,244	11,924
三重県	30	51	8	394	141	622	99	987	244	2,576
滋賀県	0	30	2	243	88	154	75	908	65	1,565
京都府	17	28	4	12	107	13	33	7	117	338
大阪府	184	113	59	125	1,728	223	564	60	852	3,908
兵庫県	153	68	26	55	326	123	388	79	319	1,537
奈良県	3	13	3	23	96	15	21	9	82	265
和歌山県	1	4	0	0	14	8	3	2	9	41
鳥取県	2	11	0	0	10	7	3	0	11	44
島根県	11	3	0	2	17	10	1	154	12	210
岡山県	13	11	2	4	66	21	42	18	34	211
広島県	63	52	7	35	220	176	48	100	193	894
山口県	4	32	0	2	6	14	6	4	39	107
徳島県	1	14	1	0	20	10	3	2	38	89
香川県	23	22	1	31	31	26	5	1	23	163
愛媛県	6	14	0	5	15	9	5	4	14	72
高知県	0	5	1	0	2	2	1	2	14	27
福岡県	39	61	15	9	241	103	39	3	207	717
佐賀県	7	1	0	0	18	8	3	0	37	74
長崎県	0	14	2	2	5	9	2	1	10	45
熊本県	8	8	1	0	36	9	13	2	45	122
大分県	8	13	2	1	8	16	7	0	59	114
宮崎県	2	7	0	0	8	3	7	1	34	62
鹿児島県	6	3	0	0	12	3	5	2	22	53
沖縄県	21	156	5	5	58	33	5	23	56	362

(人)



2.1.3 言語別 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の在籍人数

日本語指導が必要な児童生徒のうち、「日本国籍」の児童生徒について、学校種別ごとに言語別の人数を回答してください。

(※) 言語別：家庭及び日常生活において、比較的使用頻度の高い言語別

● 学校種別

	小学校		中学校		高等学校		義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		合計	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
合計	7,991	7,550	2,598	2,376	582	516	84	77	37	86	113	83	11,405	10,688
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(ア) 日本語	2,648	2,376	671	521	85	68	25	28	10	49	39	22	3,478	3,064
構成比	33.1%	31.5%	25.8%	21.9%	14.6%	13.2%	29.8%	36.4%	27.0%	57.0%	34.5%	26.5%	30.5%	28.7%
(イ) 英語	1,224	980	354	251	68	46	15	19	11	16	25	22	1,697	1,334
構成比	15.3%	13.0%	13.6%	10.6%	11.7%	8.9%	17.9%	24.7%	29.7%	18.6%	22.1%	26.5%	14.9%	12.5%
(ウ) 韓国・朝鮮語	121	106	48	56	13	12	0	0	3	3	2	2	187	179
構成比	1.5%	1.4%	1.8%	2.4%	2.2%	2.3%	0.0%	0.0%	8.1%	3.5%	1.8%	2.4%	1.6%	1.7%
(エ) スペイン語	254	237	85	106	26	23	8	6	2	3	3	4	378	379
構成比	3.2%	3.1%	3.3%	4.5%	4.5%	4.5%	9.5%	7.8%	5.4%	3.5%	2.7%	4.8%	3.3%	3.5%
(オ) 中国語	1,302	1,329	453	416	117	115	5	2	6	7	9	5	1,892	1,874
構成比	16.3%	17.6%	17.4%	17.5%	20.1%	22.3%	6.0%	2.6%	16.2%	8.1%	8.0%	6.0%	16.6%	17.5%
(カ) フィリピン語	1,384	1,441	611	664	182	169	10	6	0	2	21	11	2,208	2,293
構成比	17.3%	19.1%	23.5%	27.9%	31.3%	32.8%	11.9%	7.8%	0.0%	2.3%	18.6%	13.3%	19.4%	21.5%
(キ) ベトナム語	174	124	39	51	4	3	5	4	0	0	0	2	222	184
構成比	2.2%	1.6%	1.5%	2.1%	0.7%	0.6%	6.0%	5.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	1.9%	1.7%
(ク) ポルトガル語	329	355	176	115	29	23	3	3	2	2	14	10	553	508
構成比	4.1%	4.7%	6.8%	4.8%	5.0%	4.5%	3.6%	3.9%	5.4%	2.3%	12.4%	12.0%	4.8%	4.8%
(ケ) その他	555	602	161	196	58	57	13	9	3	4	0	5	790	873
構成比	6.9%	8.0%	6.2%	8.2%	10.0%	11.0%	15.5%	11.7%	8.1%	4.7%	0.0%	6.0%	6.9%	8.2%

(人)

● 課程等別

	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
	全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
合計	369	208	5	63	21	16	21	47	24	42
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(ア) 日本語	60	25	0	19	6	3	7	11	9	19
構成比	16.3%	12.0%	0.0%	30.2%	28.6%	18.8%	33.3%	23.4%	37.5%	45.2%
(イ) 英語	56	12	0	13	2	8	3	11	9	5
構成比	15.2%	5.8%	0.0%	20.6%	9.5%	50.0%	14.3%	23.4%	37.5%	11.9%
(ウ) 韓国・朝鮮語	10	3	0	0	0	0	3	2	0	0
構成比	2.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	4.3%	0.0%	0.0%
(エ) ス페인語	16	10	0	4	4	0	2	2	0	1
構成比	4.3%	4.8%	0.0%	6.3%	19.0%	0.0%	9.5%	4.3%	0.0%	2.4%
(オ) 中国語	83	33	1	4	1	3	3	5	2	2
構成比	22.5%	15.9%	20.0%	6.3%	4.8%	18.8%	14.3%	10.6%	8.3%	4.8%
(カ) フィリピン語	85	95	2	9	1	0	0	12	1	8
構成比	23.0%	45.7%	40.0%	14.3%	4.8%	0.0%	0.0%	25.5%	4.2%	19.0%
(キ) ベトナム語	1	3	0	4	1	0	0	0	0	0
構成比	0.3%	1.4%	0.0%	6.3%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(ク) ボルガル語	19	9	1	2	1	1	1	4	3	7
構成比	5.1%	4.3%	20.0%	3.2%	4.8%	6.3%	4.8%	8.5%	12.5%	16.7%
(ケ) その他	39	18	1	8	5	1	2	0	0	0
構成比	10.6%	8.7%	20.0%	12.7%	23.8%	6.3%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%

(人)

● 特別支援学級（学校種別・課程別）

	小学校	中学校	義務教育学校		中等教育学校	合計
	令和5年度	令和5年度	前期課程	後期課程	前期課程	
			令和5年度	令和5年度	令和5年度	
合計	508	154	3	0	0	665
構成比	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%
(ア) 日本語	162	39	1	0	0	202
構成比	31.9%	25.3%	33.3%			30.4%
(イ) 英語	83	27	1	0	0	111
構成比	16.3%	17.5%	33.3%			16.7%
(ウ) 韓国・朝鮮語	2	0	0	0	0	2
構成比	0.4%	0.0%	0.0%			0.3%
(エ) ス페인語	19	9	1	0	0	29
構成比	3.7%	5.8%	33.3%			4.4%
(オ) 中国語	57	18	0	0	0	75
構成比	11.2%	11.7%	0.0%			11.3%
(カ) フィリピン語	121	48	0	0	0	169
構成比	23.8%	31.2%	0.0%			25.4%
(キ) ベトナム語	11	3	0	0	0	14
構成比	2.2%	1.9%	0.0%			2.1%
(ク) ボルガル語	23	8	0	0	0	31
構成比	4.5%	5.2%	0.0%			4.7%
(ケ) その他	30	2	0	0	0	32
構成比	5.9%	1.3%	0.0%			4.8%

(人)

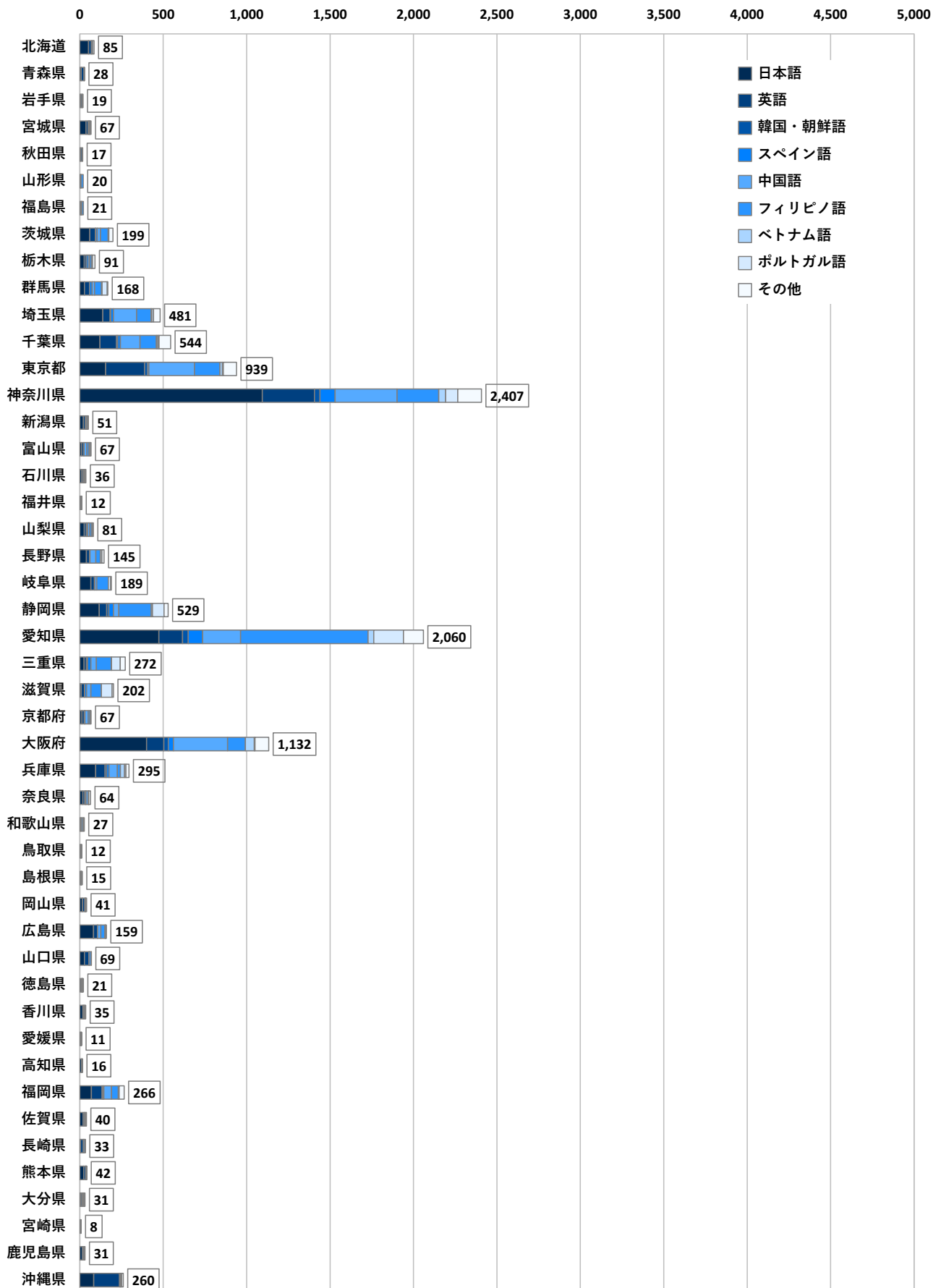
「その他」回答例：

タイ語/ロシア語/インドネシア語/ネパール語/ベンガル語/フランス語/ウルドゥー語/トルコ語/ペルシャ語/モンゴル語/ヒンディー語/アラビア語/イタリア語/ドイツ語/シンハラ語 等

● 都道府県別 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の言語別人数

	令和5年度									
	日本語	英語	韓国・朝鮮語	スペイン語	中国語	フィリピン語	ベトナム語	ポルトガル語	その他	合計
合計	3,478	1,697	187	378	1,892	2,208	222	553	790	11,405
北海道	52	18	0	0	7	0	0	0	8	85
青森県	9	17	0	0	1	1	0	0	0	28
岩手県	7	7	0	0	5	0	0	0	0	19
宮城県	37	12	1	0	6	3	2	0	6	67
秋田県	7	8	0	0	0	0	0	0	2	17
山形県	4	1	0	0	3	12	0	0	0	20
福島県	5	4	0	0	3	9	0	0	0	21
茨城県	60	33	2	10	19	46	3	1	25	199
栃木県	27	12	0	10	11	11	2	3	15	91
群馬県	28	31	0	15	15	41	3	31	4	168
埼玉県	138	43	5	16	138	87	4	11	39	481
千葉県	121	99	7	16	118	98	8	8	69	544
東京都	155	233	18	8	273	153	15	5	79	939
神奈川県	1,094	312	34	90	372	249	42	73	141	2,407
新潟県	21	13	1	1	8	3	0	0	4	51
富山県	12	12	0	2	17	12	2	7	3	67
石川県	12	9	2	0	6	3	0	1	3	36
福井県	4	3	0	0	0	3	0	1	1	12
山梨県	27	13	1	6	13	11	4	6	0	81
長野県	40	19	1	1	35	27	1	8	13	145
岐阜県	66	22	0	3	10	70	0	14	4	189
静岡県	116	45	13	28	32	194	7	70	24	529
愛知県	474	142	34	86	228	764	34	178	120	2,060
三重県	26	14	7	19	33	90	1	52	30	272
滋賀県	9	20	1	11	25	63	0	64	9	202
京都府	13	14	3	1	19	11	0	1	5	67
大阪府	400	104	26	31	325	107	53	4	82	1,132
兵庫県	95	57	9	14	50	18	25	8	19	295
奈良県	18	12	6	1	12	3	1	1	10	64
和歌山県	4	6	0	0	8	6	0	0	3	27
鳥取県	5	5	0	0	0	2	0	0	0	12
島根県	6	1	0	0	0	1	0	2	5	15
岡山県	16	14	0	0	4	1	0	0	6	41
広島県	82	24	0	1	19	25	3	2	3	159
山口県	28	28	0	0	1	11	1	0	0	69
徳島県	8	4	0	0	2	1	3	0	3	21
香川県	18	5	0	0	5	4	0	0	3	35
愛媛県	1	5	2	0	2	1	0	0	0	11
高知県	11	2	0	0	1	0	2	0	0	16
福岡県	70	63	7	4	46	41	5	0	30	266
佐賀県	19	8	0	1	6	5	0	0	1	40
長崎県	4	17	2	0	2	7	0	0	1	33
熊本県	24	11	1	1	2	2	0	0	1	42
大分県	7	7	1	0	6	4	0	0	6	31
宮崎県	0	6	0	0	0	0	0	0	2	8
鹿児島県	15	7	0	1	2	3	1	0	2	31
沖縄県	83	155	3	1	2	5	0	2	9	260

(人)



2.1.4 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍人数別学校数

日本語指導が必要な児童生徒のうち、「外国籍」の児童生徒について、学校種別ごとに在籍人数別学校数を回答してください。

● 学校種別

	小学校		中学校		高等学校		義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		合計	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
合計	6,349	5,316	2,831	2,406	556	558	61	41	1	3	134	112	9,932	8,436
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(ア) 1人	2,038	1,825	1,177	1,022	184	197	12	10	0	1	56	52	3,467	3,107
構成比	32.1%	34.3%	41.6%	42.5%	33.1%	35.3%	19.7%	24.4%	0.0%	33.3%	41.8%	46.4%	34.9%	36.8%
(イ) 2人	1,152	1,012	529	452	76	66	10	8	0	0	17	21	1,784	1,559
構成比	18.1%	19.0%	18.7%	18.8%	13.7%	11.8%	16.4%	19.5%	0.0%	0.0%	12.7%	18.8%	18.0%	18.5%
(ウ) 3人	689	569	278	248	50	57	8	5	0	0	16	9	1,041	888
構成比	10.9%	10.7%	9.8%	10.3%	9.0%	10.2%	13.1%	12.2%	0.0%	0.0%	11.9%	8.0%	10.5%	10.5%
(エ) 4人	446	334	160	125	26	40	6	3	0	1	10	3	648	506
構成比	7.0%	6.3%	5.7%	5.2%	4.7%	7.2%	9.8%	7.3%	0.0%	33.3%	7.5%	2.7%	6.5%	6.0%
(オ) 5人以上10人未満	1,017	750	363	287	90	83	13	5	0	0	17	15	1,500	1,140
構成比	16.0%	14.1%	12.8%	11.9%	16.2%	14.9%	21.3%	12.2%	0.0%	0.0%	12.7%	13.4%	15.1%	13.5%
(カ) 10人以上20人未満	591	473	190	146	58	58	5	8	0	0	13	8	857	693
構成比	9.3%	8.9%	6.7%	6.1%	10.4%	10.4%	8.2%	19.5%	0.0%	0.0%	9.7%	7.1%	8.6%	8.2%
(キ) 20人以上30人未満	217	169	66	67	21	21	4	0	0	0	2	3	310	260
構成比	3.4%	3.2%	2.3%	2.8%	3.8%	3.8%	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	2.7%	3.1%	3.1%
(ク) 30人以上50人未満	127	124	46	44	31	22	1	1	0	0	3	1	208	192
構成比	2.0%	2.3%	1.6%	1.8%	5.6%	3.9%	1.6%	2.4%	0.0%	0.0%	2.2%	0.9%	2.1%	2.3%
(ケ) 50人以上100人未満	65	51	20	14	19	13	2	0	1	1	0	0	107	79
構成比	1.0%	1.0%	0.7%	0.6%	3.4%	2.3%	3.3%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	1.1%	0.9%
(コ) 100人以上200人未満	6	8	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	9	11
構成比	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
(サ) 200人以上	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100人以上	7	9	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	10	12
構成比	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%

(校)

● 課程等別

	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
	全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
合計	351	227	12	55	46	1	1	91	59	65
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(ア) 1人	142	52	1	18	22	0	0	39	31	30
構成比	40.5%	22.9%	8.3%	32.7%	47.8%	0.0%	0.0%	42.9%	52.5%	46.2%
(イ) 2人	52	32	4	7	14	0	0	15	17	13
構成比	14.8%	14.1%	33.3%	12.7%	30.4%	0.0%	0.0%	16.5%	28.8%	20.0%
(ウ) 3人	31	19	3	7	3	0	0	9	6	6
構成比	8.8%	8.4%	25.0%	12.7%	6.5%	0.0%	0.0%	9.9%	10.2%	9.2%
(エ) 4人	15	10	1	5	2	0	0	7	1	5
構成比	4.3%	4.4%	8.3%	9.1%	4.3%	0.0%	0.0%	7.7%	1.7%	7.7%
(オ) 5人以上10人未満	52	42	2	8	2	0	0	15	4	8
構成比	14.8%	18.5%	16.7%	14.5%	4.3%	0.0%	0.0%	16.5%	6.8%	12.3%
(カ) 10人以上20人未満	26	33	0	5	2	0	0	4	0	3
構成比	7.4%	14.5%	0.0%	9.1%	4.3%	0.0%	0.0%	4.4%	0.0%	4.6%
(キ) 20人以上30人未満	10	12	1	4	0	0	0	2	0	0
構成比	2.8%	5.3%	8.3%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%
(ク) 30人以上50人未満	14	17	0	1	0	1	1	0	0	0
構成比	4.0%	7.5%	0.0%	1.8%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(ケ) 50人以上100人未満	9	9	0	0	1	0	0	0	0	0
構成比	2.6%	4.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(コ) 100人以上200人未満	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(サ) 200人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100人以上	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(校)

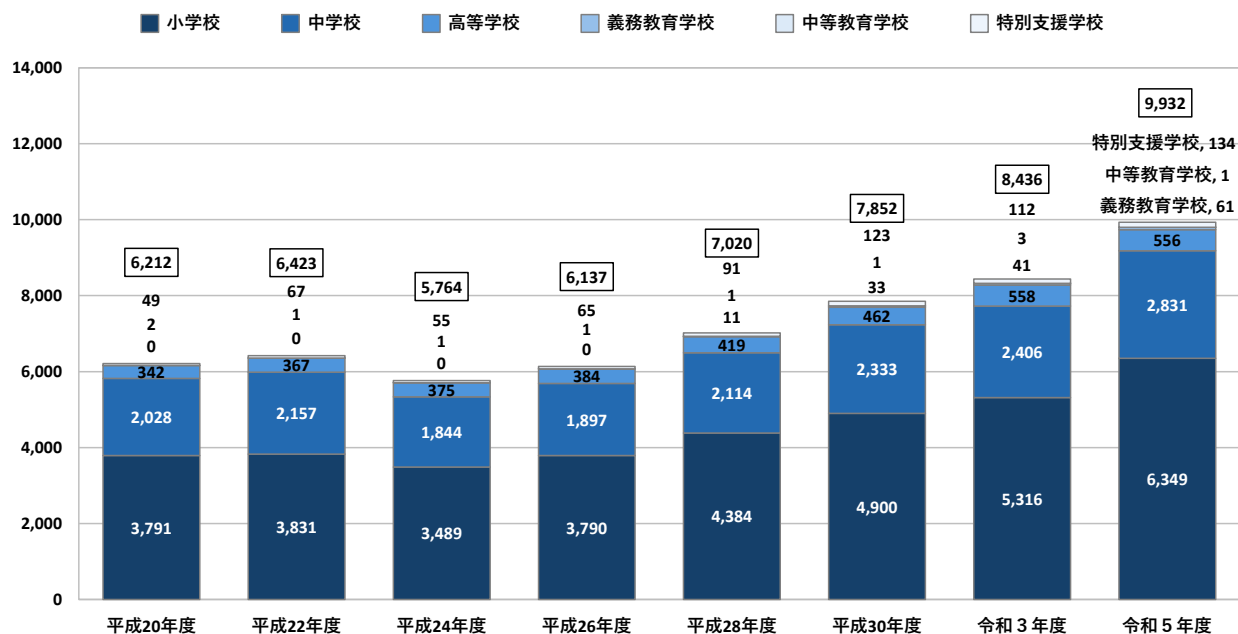
● 特別支援学級（学校種別・課程別）

	小学校	中学校	義務教育学校		中等教育学校	合計
			前期課程	後期課程	前期課程	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
合計	1,123	368	11	7	0	1,509
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
(ア) 1人	666	234	6	7	0	913
構成比	59.3%	63.6%	54.5%	100.0%		60.5%
(イ) 2人	240	72	4	0	0	316
構成比	21.4%	19.6%	36.4%	0.0%		20.9%
(ウ) 3人	92	29	1	0	0	122
構成比	8.2%	7.9%	9.1%	0.0%		8.1%
(エ) 4人	54	18	0	0	0	72
構成比	4.8%	4.9%	0.0%	0.0%		4.8%
(オ) 5人以上10人未満	64	13	0	0	0	77
構成比	5.7%	3.5%	0.0%	0.0%		5.1%
(カ) 10人以上20人未満	6	2	0	0	0	8
構成比	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%		0.5%
(キ) 20人以上30人未満	1	0	0	0	0	1
構成比	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%		0.1%
(ク) 30人以上50人未満	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
(ケ) 50人以上100人未満	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
(コ) 100人以上200人未満	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
(サ) 200人以上	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
100人以上	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%

(校)

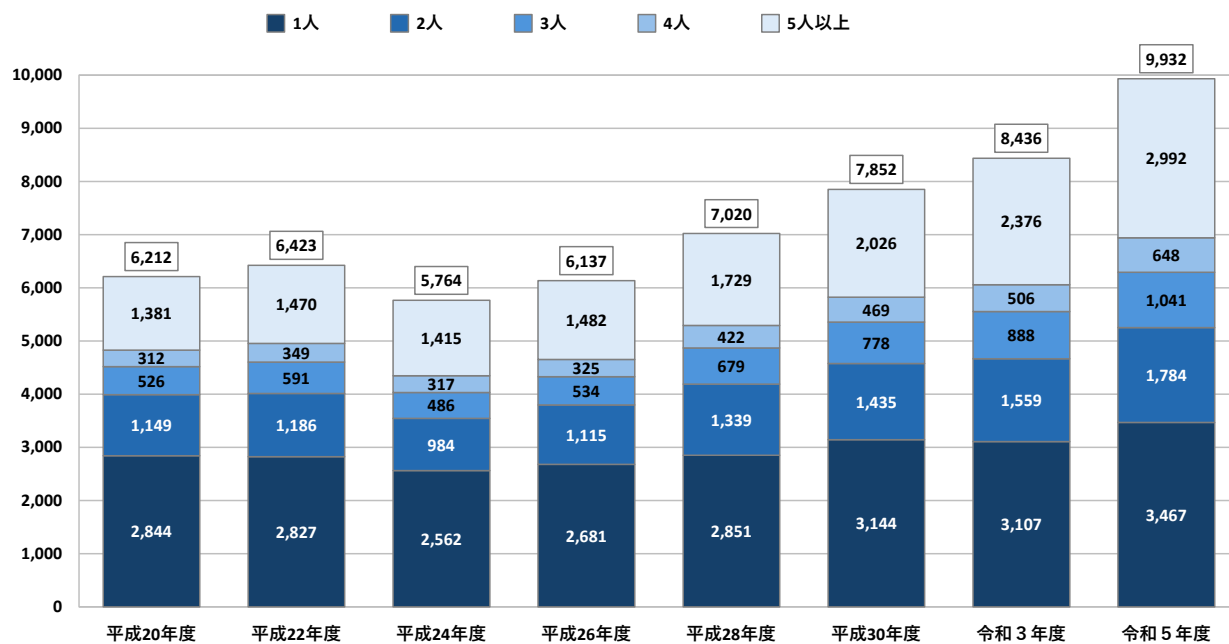
● 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒が存在する学校数

	平成20年度	平成22年度	平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和3年度	令和5年度
小学校	3,791	3,831	3,489	3,790	4,384	4,900	5,316	6,349
中学校	2,028	2,157	1,844	1,897	2,114	2,333	2,406	2,831
高等学校	342	367	375	384	419	462	558	556
義務教育学校	-	-	-	-	11	33	41	61
中等教育学校	2	1	1	1	1	1	3	1
特別支援学校	49	67	55	65	91	123	112	134
合計	6,212	6,423	5,764	6,137	7,020	7,852	8,436	9,932



● 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍人数別学校数

	平成20年度	平成22年度	平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和3年度	令和5年度
1人	2,844	2,827	2,562	2,681	2,851	3,144	3,107	3,467
2人	1,149	1,186	984	1,115	1,339	1,435	1,559	1,784
3人	526	591	486	534	679	778	888	1,041
4人	312	349	317	325	422	469	506	648
5人以上	1,381	1,470	1,415	1,482	1,729	2,026	2,376	2,992
合計	6,212	6,423	5,764	6,137	7,020	7,852	8,436	9,932



● 都道府県別 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍学校数

	令和5年度																				前回比較			
	小学校		中学校		高等学校				義務教育学校				中等教育学校				特別支援学校			合計		合計		
	うち 特別 支援 学級	うち 特別 支援 学級	(計)	全 日 制	定 時 制	通 信 制	(計)	前期課程	うち 特別 支援 学級	後 期 課 程	うち 特別 支援 学級	(計)	前期課程	うち 特別 支援 学級	後 期 課 程	(計)	小 学 部	中 学 部	高 等 部	うち 特別 支援 学級	前 回 比	令 和 3 年 度		
																							前 回 比	令 和 3 年 度
合計	6,349	1,123	2,831	368	556	351	227	12	61	55	11	46	7	1	1	0	134	91	59	65	9,932	1,509	117.7%	8,436
北海道	99	6	46	1	11	7	4	0	3	3	1	2	0	0	0	0	2	2	0	0	161	8	150.5%	107
青森県	19	0	15	0	4	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	39	0	156.0%	25
岩手県	11	1	6	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	20	1	95.2%	21
宮城県	52	3	25	1	5	2	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	4	120.3%	69
秋田県	21	3	8	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	3	145.5%	22
山形県	22	3	8	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	33	4	143.5%	23
福島県	35	1	17	0	7	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	60	1	150.0%	40
茨城県	185	49	80	14	22	16	6	1	10	8	3	8	2	0	0	0	3	3	0	1	300	68	112.8%	266
栃木県	122	21	42	4	12	7	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	179	25	111.9%	160
群馬県	120	25	59	11	10	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	2	4	194	36	105.4%	184
埼玉県	428	50	192	15	42	27	16	1	1	1	0	1	0	0	0	0	9	6	3	4	672	65	115.5%	582
千葉県	433	80	195	18	41	32	10	0	4	4	0	3	1	0	0	0	5	3	0	2	678	99	131.7%	515
東京都	768	31	350	9	56	30	33	0	7	5	1	5	0	0	0	0	7	3	3	5	1,188	41	119.9%	991
神奈川県	561	124	219	33	41	26	18	1	2	2	1	2	1	0	0	0	8	6	2	2	831	159	110.9%	749
新潟県	61	9	25	2	7	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	95	11	125.0%	76
富山県	84	16	37	6	2	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	125	23	113.6%	110
石川県	41	5	20	1	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	6	135.4%	48
福井県	25	4	14	3	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	44	7	118.9%	37
山梨県	73	11	33	9	7	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	114	20	125.3%	91
長野県	108	21	58	7	18	13	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5	3	3	192	28	106.7%	180
岐阜県	134	37	66	14	20	14	7	0	2	2	0	2	0	0	0	0	9	8	5	3	231	51	95.9%	241
静岡県	278	101	147	51	25	13	13	0	1	1	0	0	0	0	0	0	16	10	13	10	467	152	111.2%	420
愛知県	624	204	270	74	44	21	26	0	1	1	0	1	0	0	0	0	11	11	6	8	950	278	106.6%	891
三重県	168	60	72	26	15	7	9	1	1	1	0	1	1	0	0	0	9	6	5	6	265	87	106.4%	249
滋賀県	114	46	50	16	10	5	5	0	1	1	1	1	0	0	0	0	7	4	5	4	182	63	116.7%	156
京都府	96	7	33	1	5	2	3	0	4	4	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	139	8	106.1%	131
大阪府	573	95	261	29	38	28	11	1	8	7	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	880	125	122.7%	717
兵庫県	241	27	103	3	20	8	11	1	4	4	2	4	0	1	1	0	9	6	6	2	378	32	120.0%	315
奈良県	57	11	19	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	0	2	85	12	107.6%	79
和歌山県	13	1	8	0	10	7	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	32	1	103.2%	31
鳥取県	16	2	8	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	2	200.0%	14
島根県	22	3	14	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	39	5	121.9%	32
岡山県	59	3	19	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	3	162.0%	50
広島県	155	15	66	2	19	12	8	1	3	3	0	2	0	0	0	0	2	2	1	1	245	17	120.1%	204
山口県	24	2	15	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	3	93.0%	43
徳島県	23	5	10	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	5	116.1%	31
香川県	33	10	20	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	13	122.2%	45
愛媛県	29	3	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	3	155.6%	27
高知県	12	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	1	200.0%	7
福岡県	187	11	79	4	6	4	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	275	15	143.2%	192
佐賀県	21	1	14	1	1	1	0	0	3	3	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	39	4	134.5%	29
長崎県	16	0	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	24	0	104.3%	23
熊本県	46	5	23	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	72	6	153.2%	47
大分県	30	0	17	1	6	6	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	54	1	150.0%	36
宮崎県	23	1	8	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	1	159.1%	22
鹿児島県	18	0	9	0	3	3	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	172.2%	18
沖縄県	69	9	30	3	8	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	108	12	120.0%	90

(校)

2.1.5 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の在籍人数別学校数

日本語指導が必要な児童生徒のうち、「日本国籍」の児童生徒について、学校種別ごとに在籍人数別学校数を回答してください。

● 学校種別

	小学校		中学校		高等学校		義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		合計	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
合計	2,671	2,603	1,014	1,005	240	218	30	24	1	3	50	40	4,006	3,893
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(ア) 1人	1,238	1,316	603	586	127	116	11	10	0	0	33	25	2,012	2,053
構成比	46.3%	50.6%	59.5%	58.3%	52.9%	53.2%	36.7%	41.7%	0.0%	0.0%	66.0%	62.5%	50.2%	52.7%
(イ) 2人	605	530	188	189	51	43	9	0	0	0	6	5	859	767
構成比	22.7%	20.4%	18.5%	18.8%	21.3%	19.7%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	12.5%	21.4%	19.7%
(ウ) 3人	262	239	64	89	23	23	1	6	0	0	2	4	352	361
構成比	9.8%	9.2%	6.3%	8.9%	9.6%	10.6%	3.3%	25.0%	0.0%	0.0%	4.0%	10.0%	8.8%	9.3%
(エ) 4人	124	119	39	35	13	14	3	3	0	0	3	2	182	173
構成比	4.6%	4.6%	3.8%	3.5%	5.4%	6.4%	10.0%	12.5%	0.0%	0.0%	6.0%	5.0%	4.5%	4.4%
(オ) 5人以上10人未満	294	260	77	63	20	15	5	4	0	0	5	4	401	346
構成比	11.0%	10.0%	7.6%	6.3%	8.3%	6.9%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	8.9%
(カ) 10人以上20人未満	123	113	28	38	5	6	1	1	0	1	1	0	158	159
構成比	4.6%	4.3%	2.8%	3.8%	2.1%	2.8%	3.3%	4.2%	0.0%	33.3%	2.0%	0.0%	3.9%	4.1%
(キ) 20人以上30人未満	16	19	10	5	0	1	0	0	0	1	0	0	26	26
構成比	0.6%	0.7%	1.0%	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.7%
(ク) 30人以上50人未満	6	3	4	0	1	0	0	0	1	1	0	0	12	4
構成比	0.2%	0.1%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%
(ケ) 50人以上100人未満	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
構成比	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
(コ) 100人以上200人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(カ) 200人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(校)

● 課程等別

	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
	全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
合計	154	85	4	27	15	1	1	27	19	24
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(ア) 1人	90	36	3	12	11	0	0	20	15	20
構成比	58.4%	42.4%	75.0%	44.4%	73.3%	0.0%	0.0%	74.1%	78.9%	83.3%
(イ) 2人	26	26	1	5	3	0	0	1	3	0
構成比	16.9%	30.6%	25.0%	18.5%	20.0%	0.0%	0.0%	3.7%	15.8%	0.0%
(ウ) 3人	15	9	0	5	0	0	0	2	1	1
構成比	9.7%	10.6%	0.0%	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	5.3%	4.2%
(エ) 4人	6	5	0	3	1	0	0	2	0	0
構成比	3.9%	5.9%	0.0%	11.1%	6.7%	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%
(オ) 5人以上10人未満	13	7	0	2	0	0	0	2	0	3
構成比	8.4%	8.2%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%	12.5%
(カ) 10人以上20人未満	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0
構成比	1.9%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(キ) 20人以上30人未満	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(ク) 30人以上50人未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(ケ) 50人以上100人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(コ) 100人以上200人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(サ) 200人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(校)

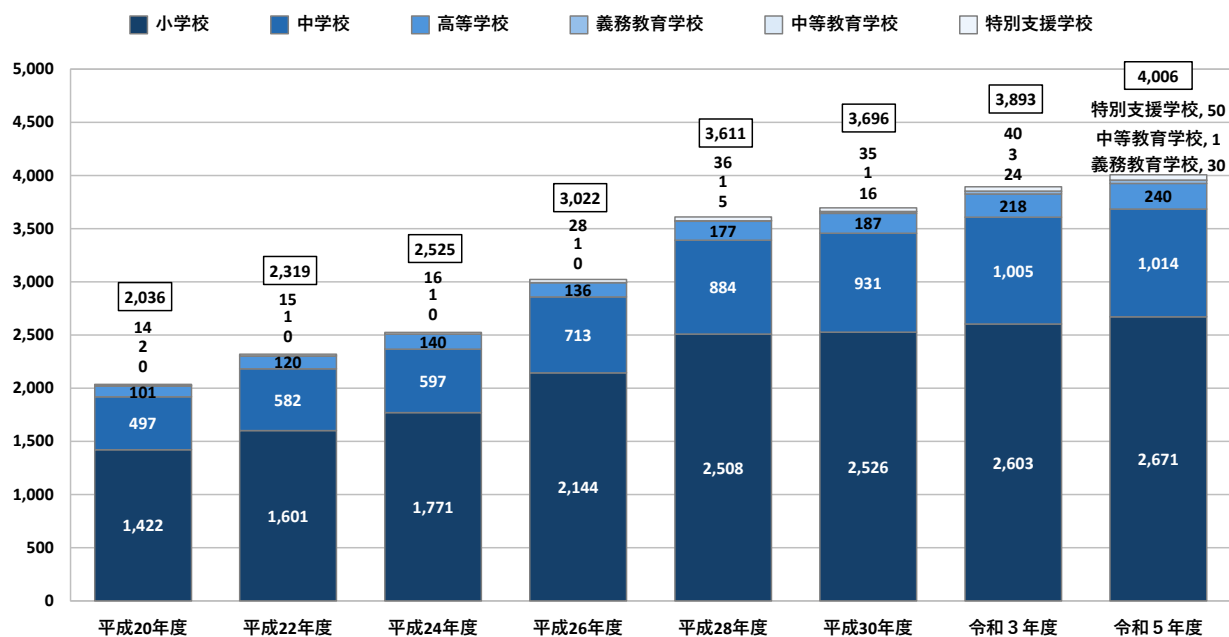
● 特別支援学級（学校種別・課程別）

	小学校	中学校	義務教育学校		中等教育学校	合計
			前期課程	後期課程	前期課程	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
合計	390	124	2	0	0	516
構成比	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%
(ア) 1人	310	101	1	0	0	412
構成比	79.5%	81.5%	50.0%			79.8%
(イ) 2人	56	17	1	0	0	74
構成比	14.4%	13.7%	50.0%			14.3%
(ウ) 3人	15	5	0	0	0	20
構成比	3.8%	4.0%	0.0%			3.9%
(エ) 4人	6	1	0	0	0	7
構成比	1.5%	0.8%	0.0%			1.4%
(オ) 5人以上10人未満	3	0	0	0	0	3
構成比	0.8%	0.0%	0.0%			0.6%
(カ) 10人以上20人未満	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%
(キ) 20人以上30人未満	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%
(ク) 30人以上50人未満	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%
(ケ) 50人以上100人未満	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%
(コ) 100人以上200人未満	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%
(サ) 200人以上	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%
100人以上	0	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%

(校)

● 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒が在籍する学校数

	平成20年度	平成22年度	平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和3年度	令和5年度
小学校	1,422	1,601	1,771	2,144	2,508	2,526	2,603	2,671
中学校	497	582	597	713	884	931	1,005	1,014
高等学校	101	120	140	136	177	187	218	240
義務教育学校	-	-	-	-	5	16	24	30
中等教育学校	2	1	1	1	1	1	3	1
特別支援学校	14	15	16	28	36	35	40	50
合計	2,036	2,319	2,525	3,022	3,611	3,696	3,893	4,006



● 都道府県別 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の在籍学校数

	令和5年度																					前回比較		
	小学校		中学校		高等学校				義務教育学校				中等教育学校			特別支援学校			合計		合計			
	うち 特別 支援 学級	うち 特別 支援 学級	(計)	全 日 制	定 時 制	通 信 制	(計)	前 期 課 程	うち 特別 支援 学級	後 期 課 程	うち 特別 支援 学級	(計)	前 期 課 程	うち 特別 支援 学級	後 期 課 程	(計)	小 学 部	中 学 部	高 等 部	うち 特別 支援 学級	前 回 比	令 和 3 年 度		
																							2,671	390
北海道	22	5	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	2	35	8	89.7%	39	
青森県	9	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	122.2%	9	
岩手県	6	1	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	11	2	100.0%	11	
宮城県	23	1	10	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	1	124.1%	29	
秋田県	9	0	2	0	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	14	0	82.4%	17	
山形県	8	3	4	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	4	70.0%	20	
福島県	12	1	5	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	20	2	133.3%	15	
茨城県	66	9	21	4	8	6	2	0	5	5	1	2	0	0	0	0	0	0	100	14	106.4%	94		
栃木県	31	1	10	1	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	47	2	77.0%	61	
群馬県	54	13	20	2	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79	15	129.5%	61		
埼玉県	152	15	47	1	16	11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	0	3	220	16	90.9%	242	
千葉県	165	14	52	2	17	13	4	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	236	16	116.3%	203		
東京都	246	9	108	3	34	16	19	0	3	3	0	0	0	0	0	3	1	1	1	394	12	86.8%	454	
神奈川県	380	70	110	6	29	18	10	1	2	2	0	1	0	0	0	6	4	1	4	527	76	102.5%	514	
新潟県	24	3	9	3	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	36	6	94.7%	38	
富山県	27	2	10	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	2	86.4%	44		
石川県	14	0	5	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	200.0%	11		
福井県	5	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	9	0	69.2%	13	
山梨県	36	2	18	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	3	126.7%	45		
長野県	44	2	19	6	5	4	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	69	8	89.6%	77		
岐阜県	60	8	14	2	7	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	3	2	85	10	98.8%	86	
静岡県	140	24	79	14	10	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	2	3	235	38	116.9%	201	
愛知県	291	60	119	22	13	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	1	427	82	102.9%	415	
三重県	55	10	24	5	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	83	15	96.5%	86	
滋賀県	57	14	20	2	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	82	16	128.1%	64	
京都府	26	2	5	1	1	1	1	0	2	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	35	3	64.8%	54	
大阪府	255	66	103	20	21	18	2	1	7	6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	386	86	122.5%	315	
兵庫県	88	5	33	2	6	4	2	0	3	3	1	2	0	1	1	0	1	0	132	8	99.2%	133		
奈良県	23	3	9	1	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	39	4	86.7%	45	
和歌山県	10	2	6	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	2	250.0%	8		
鳥取県	6	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	3	81.8%	11		
島根県	9	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1	85.7%	14		
岡山県	12	0	8	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	100.0%	21		
広島県	58	10	20	3	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	13	109.3%	75		
山口県	11	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	16	1	106.7%	15	
徳島県	10	2	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	17	3	94.4%	18	
香川県	12	4	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	19	7	100.0%	19	
愛媛県	5	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	58.3%	12		
高知県	6	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	180.0%	5		
福岡県	71	10	34	4	3	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	111	14	96.5%	115	
佐賀県	21	2	3	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	25	3	125.0%	20		
長崎県	14	1	4	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	2	133.3%	15		
熊本県	20	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	1	74.4%	39		
大分県	13	0	6	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	137.5%	16		
宮崎県	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	33.3%	12		
鹿児島県	11	2	7	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	3	158.3%	12		
沖縄県	52	8	19	4	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	2	85	12	121.4%	70	

(校)

2.1.6 日本語指導が必要な児童生徒の在籍人数別学校数

● 日本語指導が必要な児童生徒の在籍人数別学校数

	外国籍	日本国籍	外国籍又は日本国籍 いずれかの児童生徒が 在籍している学校数
	令和5年度	令和5年度	令和5年度
合計	9,932	4,006	11,123
構成比	100.0%	100.0%	100.0%
(ア) 1人	3,467	2,012	3,803
構成比	34.9%	50.2%	34.2%
(イ) 2人	1,784	859	1,984
構成比	18.0%	21.4%	17.8%
(ウ) 3人	1,041	352	1,180
構成比	10.5%	8.8%	10.6%
(エ) 4人	648	182	718
構成比	6.5%	4.5%	6.5%
(オ) 5人以上10人未満	1,500	401	1,612
構成比	15.1%	10.0%	14.5%
(カ) 10人以上20人未満	857	158	1,020
構成比	8.6%	3.9%	9.2%
(キ) 20人以上30人未満	310	26	382
構成比	3.1%	0.6%	3.4%
(ク) 30人以上50人未満	208	12	264
構成比	2.1%	0.3%	2.4%
(ケ) 50人以上100人未満	107	4	143
構成比	1.1%	0.1%	1.3%
(コ) 100人以上200人未満	9	0	16
構成比	0.1%	0.0%	0.1%
(サ) 200人以上	1	0	1
構成比	0.0%	0.0%	0.0%
100人以上	10	0	17
構成比	0.1%	0.0%	0.2%

2.2 日本語指導が必要な児童生徒等の判断基準等

2.2.1 日本語指導が必要な児童生徒の判断基準別学校数

貴教育委員会が所管する公立学校において、日本語指導が必要な児童生徒の判断をどのような基準で行っているのかについて、該当する全ての項目毎に学校数を記入してください。

(※) ある学校における判断基準として複数採用している場合は、どちらにも計上してください。

● 学校種別

	小学校	中学校	高等学校	義務教育 学校	中等教育 学校	特別支援 学校	合計	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和3年度
(ア) D L Aや類似の日本語能力測定方法により、判定している。	1,636	595	90	26	1	3	2,351	2,165
(イ) 児童生徒の学校生活や学習の様子から判断している。	6,908	3,042	596	65	1	150	10,762	9,471
(ウ) 児童生徒の来日してからの期間を対象基準にしている。	2,764	1,369	147	27	1	16	4,324	3,219
(エ) その他	646	342	129	5	0	16	1,138	818

(校)

● 課程等別

	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
	全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) D L Aや類似の日本語能力測定方法により、判定している。	56	37	1	26	21	1	0	1	1	1
(イ) 児童生徒の学校生活や学習の様子から判断している。	386	231	13	59	49	1	1	99	68	75
(ウ) 児童生徒の来日してからの期間を対象基準にしている。	91	57	2	27	21	1	1	7	8	8
(エ) その他	87	41	3	4	4	0	0	12	6	7

(校)

※ JSL 評価参照枠等、客観的な言語測定基準で判定されていれば (ア) に該当。

「その他」回答例：

- ・市の定住交流課から日本語指導コーディネーターが派遣され、アセスメントを受ける。
- ・学校独自に作成した「日本語取得状況調査」により判定。
- ・市が作成した日本語支援判断フローチャートの活用。
- ・日本語指導を委託している NPO 法人と協議のうえで判断。
- ・WISC 検査の活用。

等

(ア) 選択の場合の「具体的な日本語能力測定方法」の名称：

- 外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント
- PVT 絵画語い発達検査
- 日本語能力試験
- 日本語指導の必要性への「気づきチェックリスト」調査用紙（NPO 法人作成）
- J.coss 日本語理解テスト

等

2.2.2 特別支援学級での就学決定に当たっての判断方法別地方公共団体数

貴教育委員会が所管する公立小学校、中学校、義務教育学校及び中等教育学校（前期課程）において、特別支援学級に在籍している日本語指導が必要な児童生徒がいる場合のみお答えください。貴教育委員会において、日本語指導が必要な児童生徒の、特別支援学級への就学を決定する際、本人の教育的ニーズ、本人・保護者の意見のみならず、本人の障害の状態や教育学、医学、心理学等専門的見地からの意見等に基づいて判断を行っていますか。次の選択肢の中から該当するものを1つ選択してください。

● 地方公共団体数

	令和5年度
(ア) 全ての児童生徒について本人の障害の状態や専門的見地からの意見等に基づいて判断を行っている	463
(イ) 一部の児童生徒について本人の障害の状態や専門的見地からの意見等に基づいて判断を行っている	0
(ウ) 本人の障害の状態や専門的見地からの意見等に基づいて判断を行っていない	0

2.2.3 特別支援学級での就学決定時の、日本語でのコミュニケーション能力についての判断方法別地方公共団体数

貴教育委員会が日本語指導を必要とする児童生徒が特別支援学級で教育を受けることを決定する際、日本語でのコミュニケーション能力について判断を行うに当たって実施したことについて、該当するものを全て選択してください。

● 地方公共団体数

	令和5年度
(ア) D L A等の客観的な日本語能力測定方法に基づいて判断している	131
(イ) 日常生活及び学校生活や学習の様子等により判断している	452
(ウ) 児童生徒の来日してからの期間に基づいて判断している	190
(エ) 家庭での日本語の使用頻度を考慮して判断している	215
(オ) 貴教育委員会が「教育支援委員会」等を開催するに当たり、構成員に日本語教育の面から支援する方法を検討できる関係者を含めている	42
(カ) その他	25

「その他」回答例：

- K-ABC 検査の実施。
- 発達検査の際に通訳をつけ、母語でも確かめて判断している。
- 心理相談員との面接において、簡単な課題や遊びを通じて、日本語でのコミュニケーション能力を把握している。

等

2.2.4 特別支援学級での就学決定時の、知能検査等の実施に際しての工夫別 地方公共団体数

日本語指導を必要とする児童生徒が特別支援学級で教育を受けることが適当か否かを判断するに当たっての知能検査等の実施に際して貴教育委員会が工夫したことについて、該当するものを全て選択してください。

● 地方公共団体数

	令和5年度
(ア) 知能検査等の際に通訳を手配する（保護者等による通訳を含む）	209
(イ) ペーパーテストを行う際には、漢字にルビを振ったり、児童生徒の母語の翻訳をつけたりする	153
(ウ) 知能検査等の際に日本特有の質問（日本の歴史等）を行わないよう留意する	74
(エ) やさしい日本語を使用するなどの配慮を行った	285
(オ) 非言語による検査を行った	74
(カ) その他	65

「その他」回答例：

- 翻訳機の使用。
- 教育委員会が委託している巡回相談において発達検査を実施。
- 母語通訳者への検査内容の理解等に係る研修会の実施。
- 大学教授による助言を受けている。
- 児童生徒が答えやすいような形式を利用する等配慮している。

等

2.2.5 特別支援学級で教育を受けることに関する保護者との合意形成に関する実施内容別地方公共団体数

日本語指導を必要とする児童生徒が特別支援学級で教育を受けることについての保護者との合意形成に関し、貴教育委員会が行ったことについて、該当するものを全て選択してください。

● 地方公共団体数

	令和5年度
(ア) 保護者への伝達に際しては文書で行うとともに、保護者が理解できる言語で翻訳を付した	133
(イ) 保護者との面談の際には通訳を介したり、英語などの共通語を用いたりするなどして、相互に十分な理解を図るようにした	323
(ウ) 学校と保護者の間でのやりとりの中で十分な説明が行われていることを確認した（通訳からヒアリングを行うなど）	269
(エ) 保護者が特別支援学級での学習に同意しない場合、その理由について通訳を介して十分に聞き取るとともに、保護者が求める支援策に対応できるよう検討を行った。	114
(オ) その他	41

「その他」回答例：

- ・ 翻訳機器を使用し意思疎通を図っている。
- ・ 日本語でのやりとりが可能な親族に同席してもらい、十分な説明を行って理解を図った。
- ・ 保護者の見学や本人の体験を可能な限り行うようにし、十分に理解を図るようにした。

等

2.3 日本語指導の状況等

2.3.1 日本語指導の指導状況別 外国籍の児童生徒の在籍人数・在籍学校数

貴教育委員会が所管する公立学校に在籍する児童生徒のうち、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒について、学校種別ごとに受けている日本語指導の状況等に該当する人数及び学校数を回答してください。

(※) 例えばある児童の指導の状況等が(イ)、(ウ)及び(オ)に該当する場合は、(イ)、(ウ)及び(オ)にそれぞれ計上してください。同様に、ある学校における指導の状況等が(イ)、(ウ)及び(オ)に該当する場合は、(イ)、(ウ)及び(オ)にそれぞれ計上してください。

(1) 在籍人数

● 学校種別

	小学校		中学校		高等学校	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒	38,141	31,189	13,369	11,280	4,991	4,292
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒	35,414	29,356	12,141	10,264	3,808	3,148
構成比：(イ) / (ア)	92.9%	94.1%	90.8%	91.0%	76.3%	73.3%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒	28,135	23,690	9,001	7,897	209	
構成比：(ウ) / (イ)	79.4%	80.7%	74.1%	76.9%	5.5%	
(エ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「一時的に」下学年に受け入れている児童生徒	155	276	136	95		
(オ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「正式に」下学年に受け入れている児童生徒	733	395	1,028	593		
(カ) (ア)のうち、学齢を超過してから受け入れた児童生徒	117	58	720	606		

(人)

	義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		合計	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒	527	339	75	66	615	453	57,718	47,619
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒	401	219	40	41	372	304	52,176	43,332
構成比：(イ) / (ア)	76.1%	64.6%	53.3%	62.1%	60.5%	67.1%	90.4%	91.0%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒	314	158	25	32	31	19	37,715	31,796
構成比：(ウ) / (イ)	78.3%	72.1%	62.5%	78.0%	8.3%	6.3%	72.3%	73.4%
(エ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「一時的に」下学年に受け入れている児童生徒	0	1	0	0	0	1	291	373
(オ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「正式に」下学年に受け入れている児童生徒	10	2	5	1	4	1	1,780	992
(カ) (ア)のうち、学齢を超過してから受け入れた児童生徒	88	103	0	0	2	3	927	770

(人)

● 課程等別

	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
	全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒	2,445	2,485	61	329	198	38	37	311	114	190
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒	2,056	1,708	44	311	90	33	7	189	71	112
構成比：(イ) / (ア)	84.1%	68.7%	72.1%	94.5%	45.5%	86.8%	18.9%	60.8%	62.3%	58.9%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒	65	144	0	257	57	25	0	14	11	6
構成比：(ウ) / (イ)	3.2%	8.4%	0.0%	82.6%	63.3%	75.8%	0.0%	7.4%	15.5%	5.4%
(エ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「一時的に」下学年に受け入れている児童生徒				0	0	0		0	0	
(オ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「正式に」下学年に受け入れている児童生徒				3	7	5		1	3	
(カ) (ア)のうち、学齢を超過してから受け入れた児童生徒				0	88	0		0	2	

(人)

● 特別支援学級（学校種別・課程別）

	小学校	中学校	義務教育学校		中等教育学校	合計
			前期課程	後期課程	前期課程	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	
(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒	2,143	650	17	7	0	2,817
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒	1,937	590	17	6	0	2,550
構成比：(イ) / (ア)	90.4%	90.8%	100.0%	85.7%		90.5%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒						
構成比：(ウ) / (イ)						
(エ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「一時的に」下学年に受け入れている児童生徒	18	3	0	0	0	21
(オ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「正式に」下学年に受け入れている児童生徒	22	21	0	0	0	43
(カ) (ア)のうち、学齢を超過してから受け入れた児童生徒	7	4	0	0	0	11

(人)

※ (イ) は、在籍学級や放課後を含む、学校で何らかの日本語指導等が行われていれば該当する。

※ (ウ) の高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）においては、令和5年度から「特別の教育課程」の編成・実施が可能となった。

※ (エ) (オ) は、学年の変更を伴うものであり、小・中学校等において行われる「交流及び共同学習の機会」などは含まれていない。

(2) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍学校数

● 学校種別

	小学校		中学校		高等学校	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒	6,349	5,316	2,831	2,406	556	558
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒	5,952	4,967	2,623	2,220	459	448
構成比：(イ) / (ア)	93.7%	93.4%	92.7%	92.3%	82.6%	80.3%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒	4,090	3,418	1,740	1,484	31	
構成比：(ウ) / (イ)	68.7%	68.8%	66.3%	66.8%	6.8%	
(エ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「一時的に」下学年に受け入れている児童生徒	71	57	43	30		
(オ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「正式に」下学年に受け入れている児童生徒	522	311	638	419		
(カ) (ア)のうち、学齢を超過してから受け入れた児童生徒	80	44	164	92		

(校)

	義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		合計	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒	61	41	1	3	134	112	9,932	8,436
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒	58	38	1	3	84	72	9,177	7,748
構成比：(イ) / (ア)	95.1%	92.7%	100.0%	100.0%	62.7%	64.3%	92.4%	91.8%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒	39	29	1	1	9	9	5,910	4,941
構成比：(ウ) / (イ)	67.2%	76.3%	100.0%	33.3%	10.7%	12.5%	64.4%	63.8%
(エ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「一時的に」下学年に受け入れている児童生徒	0	1	0	0	0	1	114	89
(オ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「正式に」下学年に受け入れている児童生徒	8	2	1	1	2	1	1,171	734
(カ) (ア)のうち、学齢を超過してから受け入れた児童生徒	1	3	0	0	1	2	246	141

(校)

● 課程等別

	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
	全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒	351	227	12	55	46	1	1	91	59	65
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒	287	190	6	53	42	1	1	54	38	40
構成比：(イ) / (ア)	81.8%	83.7%	50.0%	96.4%	91.3%	100.0%	100.0%	59.3%	64.4%	61.5%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒	13	19	0	38	27	1	0	6	4	2
構成比：(ウ) / (イ)	4.5%	10.0%	0.0%	71.7%	64.3%	100.0%	0.0%	11.1%	10.5%	5.0%
(エ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「一時的に」下学年に受け入れている児童生徒				0	0	0		0	0	
(オ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「正式に」下学年に受け入れている児童生徒				3	6	1		1	2	
(カ) (ア)のうち、学齢を超過してから受け入れた児童生徒				0	1	0		0	1	

(校)

● 特別支援学級（学校種別・課程別）

	小学校	中学校	義務教育学校		中等教育学校	合計
			前期課程	後期課程	前期課程	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒	1,123	368	11	7	0	1,509
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒	1,027	336	11	6	0	1,380
構成比：(イ) / (ア)	91.5%	91.3%	100.0%	85.7%		91.5%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒						
構成比：(ウ) / (イ)						
(エ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「一時的に」下学年に受け入れている児童生徒	10	3	0	0	0	13
(オ) (ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「正式に」下学年に受け入れている児童生徒	20	19	0	0	0	39
(カ) (ア)のうち、学齢を超過してから受け入れた児童生徒	6	4	0	0	0	10

(校)

2.3.2 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒のうち、日本語指導等に係る個別の指導計画を作成している児童生徒数

日本語指導が必要な外国籍の児童生徒のうち、日本語指導等に係る個別の指導計画（「児童生徒理解・支援シート」等を含む。）を作成している児童生徒について、学校種別及び受けている指導の状況別に人数を回答してください。

（※）本設問では、調査時点において学校で日本語指導等が行われていない場合であっても、日本語指導等に係る個別の指導計画が作成されていれば全て計上してください。

（※）例えば、ある児童の指導の状況等が(ア)に加え(イ)にも該当する場合は、(ア)と(イ)の両方に計上してください。

● 学校種別

		小学校	中学校	高等学校	義務教育 学校	中等教育 学校	特別支援 学校	合計
		令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア)	日本語指導等に係る個別の指導計画を作成している、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒：①	29,593	9,859	1,077	319	25	266	41,139
	日本語指導が必要な外国籍の児童生徒：②	38,141	13,369	4,991	527	75	615	57,718
	構成比：①/②	77.6%	73.7%	21.6%	60.5%	33.3%	43.3%	71.3%
(イ)	①の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：③	29,077	9,627	1,038	316	25	212	40,295
	②の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：④	35,414	12,141	3,808	401	40	372	52,176
	構成比：③/④	82.1%	79.3%	27.3%	78.8%	62.5%	57.0%	77.2%
(ウ)	③の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑤	26,387	8,367	200	301	25	26	35,306
	④の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑥	28,135	9,001	209	314	25	31	37,715
	構成比：⑤/⑥	93.8%	93.0%	95.7%	95.9%	100.0%	83.9%	93.6%

(人)

● 課程等別

		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
		全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
		令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア)	日本語指導等に係る個別の指導計画を作成している、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒：①	677	373	27	254	65	25	0	130	50	86
	日本語指導が必要な外国籍の児童生徒：②	2,445	2,485	61	329	198	38	37	311	114	190
	構成比：①/②	27.7%	15.0%	44.3%	77.2%	32.8%	65.8%	0.0%	41.8%	43.9%	45.3%
(イ)	①の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：③	654	357	27	253	63	25	0	108	42	62
	②の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：④	2,056	1,708	44	311	90	33	7	189	71	112
	構成比：③/④	31.8%	20.9%	61.4%	81.4%	70.0%	75.8%	0.0%	57.1%	59.2%	55.4%
(ウ)	③の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑤	59	141	0	249	52	25	0	10	11	5
	④の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑥	65	144	0	257	57	25	0	14	11	6
	構成比：⑤/⑥	90.8%	97.9%		96.9%	91.2%	100.0%		71.4%	100.0%	83.3%

(人)

● 特別支援学級（学校種別・課程別）

		小学校	中学校	義務教育学校		中等教育学校	合計
		令和5年度	令和5年度	前期課程	後期課程	前期課程	令和5年度
		令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア)	日本語指導等に係る個別の指導計画を作成している、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒：①	1,581	455	13	4	0	2,053
	日本語指導が必要な外国籍の児童生徒：②	2,143	650	17	7	0	2,817
	構成比：①/②	73.8%	70.0%	76.5%	57.1%		72.9%
(イ)	①の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：③	1,561	443	13	4	0	2,021
	②の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：④	1,937	590	17	6	0	2,550
	構成比：③/④	80.6%	75.1%	76.5%	66.7%		79.3%
(ウ)	③の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑤						
	④の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑥						
	構成比：⑤/⑥						

(人)

※ 本設問では、調査時点において学校で日本語指導等が行われていない場合であっても、日本語指導等に係る個別の指導計画が作成されている者が含まれている。

※ (イ) は、在籍学級や放課後を含む、学校で何らかの日本語指導等が行われている者である。

2.3.3 日本語指導の指導状況別 日本国籍の児童生徒の在籍人数・在籍学校数

貴教育委員会が所管する公立学校に在籍する児童生徒のうち、日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒について、学校種別ごとに受けている日本語指導の状況等に該当する人数及び学校数を回答してください。

(※) 例えばある児童の指導の状況等が(イ)、(ウ)及び(エ)に該当する場合は、(イ)、(ウ)及び(エ)にそれぞれ計上してください。同様に、ある学校における指導の状況等が(イ)、(ウ)及び(エ)に該当する場合は、(イ)、(ウ)及び(エ)にそれぞれ計上してください。

(1) 在籍人数

● 学校種別

	小学校		中学校		高等学校	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒	7,991	7,550	2,598	2,376	582	516
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導(※)を受けている児童生徒	7,074	6,815	2,185	2,051	460	386
構成比：(イ) / (ア)	88.5%	90.3%	84.1%	86.3%	79.0%	74.8%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒	5,211	4,906	1,522	1,399	26	
構成比：(ウ) / (イ)	73.7%	72.0%	69.7%	68.2%	5.7%	
(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒	1,577	1,375	621	593	198	225
構成比：(エ) / (ア)	19.7%	18.2%	23.9%	25.0%	34.0%	43.6%

(人)

	義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		合計	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒	84	77	37	86	113	83	11,405	10,688
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導(※)を受けている児童生徒	80	67	10	50	69	50	9,878	9,419
構成比：(イ) / (ア)	95.2%	87.0%	27.0%	58.1%	61.1%	60.2%	86.6%	88.1%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒	60	43	10	11	10	2	6,839	6,361
構成比：(ウ) / (イ)	75.0%	64.2%	100.0%	22.0%	14.5%	4.0%	69.2%	67.5%
(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒	36	24	37	39	9	7	2,478	2,263
構成比：(エ) / (ア)	42.9%	31.2%	100.0%	45.3%	8.0%	8.4%	21.7%	21.2%

(人)

● 課程等別

	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
	全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒	369	208	5	63	21	16	21	47	24	42
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導(※)を受けている児童生徒	303	154	3	60	20	10	0	28	16	25
構成比：(イ) / (ア)	82.1%	74.0%	60.0%	95.2%	95.2%	62.5%	0.0%	59.6%	66.7%	59.5%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒	5	21	0	46	14	10	0	4	2	4
構成比：(ウ) / (イ)	1.7%	13.6%	0.0%	76.7%	70.0%	100.0%		14.3%	12.5%	16.0%
(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒	143	52	3	27	9	16	21	5	4	0
構成比：(エ) / (ア)	38.8%	25.0%	60.0%	42.9%	42.9%	100.0%	100.0%	10.6%	16.7%	0.0%

(人)

● 特別支援学級（学校種別・課程別）

	小学校	中学校	義務教育学校		中等教育学校	合計
			前期課程	後期課程	前期課程	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒	508	154	3	0	0	665
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導(※)を受けている児童生徒	460	134	3	0	0	597
構成比：(イ) / (ア)	90.6%	87.0%	100.0%			89.8%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒						
構成比：(ウ) / (イ)						
(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒	66	29	1	0	0	96
構成比：(エ) / (ア)	13.0%	18.8%	33.3%			14.4%

(人)

(2) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の在籍学校数

● 学校種別

	小学校		中学校		高等学校	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒	2,671	2,603	1,014	1,005	240	218
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導(※)を受けている児童生徒	2,443	2,412	913	917	185	175
構成比：(イ) / (ア)	91.5%	92.7%	90.0%	91.2%	77.1%	80.3%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒	1,724	1,628	613	592	11	
構成比：(ウ) / (イ)	70.6%	67.5%	67.1%	64.6%	5.9%	
(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒	857	801	399	389	96	107
構成比：(エ) / (ア)	32.1%	30.8%	39.3%	38.7%	40.0%	49.1%

(校)

	義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		合計	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒	30	24	1	3	50	40	4,006	3,893
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導(※)を受けている児童生徒	28	23	1	3	36	24	3,606	3,554
構成比：(イ) / (ア)	93.3%	95.8%	100.0%	100.0%	72.0%	60.0%	90.0%	91.3%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒	21	16	1	1	4	2	2,374	2,239
構成比：(ウ) / (イ)	75.0%	69.6%	100.0%	33.3%	11.1%	8.3%	65.8%	63.0%
(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒	14	10	1	2	7	6	1,374	1,315
構成比：(エ) / (ア)	46.7%	41.7%	100.0%	66.7%	14.0%	15.0%	34.3%	33.8%

(校)

● 課程等別

	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
	全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒	154	85	4	27	15	1	1	27	19	24
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導(※)を受けている児童生徒	122	63	2	25	14	1	0	17	13	17
構成比：(イ) / (ア)	79.2%	74.1%	50.0%	92.6%	93.3%	100.0%	0.0%	63.0%	68.4%	70.8%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒	3	8	0	19	10	1	0	2	2	2
構成比：(ウ) / (イ)	2.5%	12.7%	0.0%	76.0%	71.4%	100.0%		11.8%	15.4%	11.8%
(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒	68	26	2	12	8	1	1	4	4	0
構成比：(エ) / (ア)	44.2%	30.6%	50.0%	44.4%	53.3%	100.0%	100.0%	14.8%	21.1%	0.0%

(校)

● 特別支援学級（学校種別・課程別）

	小学校	中学校	義務教育学校		中等教育学校	合計
			前期課程	後期課程	前期課程	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒	390	124	2	0	0	516
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導(※)を受けている児童生徒	353	110	2	0	0	465
構成比：(イ) / (ア)	90.5%	88.7%	100.0%			90.1%
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒						
構成比：(ウ) / (イ)						
(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒	59	23	1	0	0	83
構成比：(エ) / (ア)	15.1%	18.5%	50.0%			16.1%

(校)

※ (イ) は、在籍学級や放課後を含む、学校で何らかの日本語指導等が行われている学校である。

2.3.4 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒のうち、日本語指導等に係る個別の指導計画を作成している児童生徒数

日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒のうち、日本語指導等に係る個別の指導計画（「児童生徒理解・支援シート」等を含む。）を作成している児童生徒について、学校種別及び受けている指導の状況別に人数を回答してください。

（※）本設問では、調査時点において学校で日本語指導等が行われていない場合であっても、日本語指導等に係る個別の指導計画が作成されていれば全て計上してください。

（※）例えば、ある児童の指導の状況等が(ア)に加え(イ)にも該当する場合は、(ア)と(イ)の両方に計上してください。

● 学校種別

		小学校	中学校	高等学校	義務教育 学校	中等教育 学校	特別支援 学校	合計
		令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア)	日本語指導等に係る個別の指導計画を作成している、日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒：①	5,755	1,662	168	50	10	39	7,684
	日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒：②	7,991	2,598	582	84	37	113	11,405
	構成比：①/②	72.0%	64.0%	28.9%	59.5%	27.0%	34.5%	67.4%
(イ)	①の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：③	5,648	1,606	155	50	10	39	7,508
	②の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：④	7,074	2,185	460	80	10	69	9,878
	構成比：③/④	79.8%	73.5%	33.7%	62.5%	100.0%	56.5%	76.0%
(ウ)	③の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑤	4,907	1,391	23	49	10	9	6,389
	④の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑥	5,211	1,522	26	60	10	10	6,839
	構成比：⑤/⑥	94.2%	91.4%	88.5%	81.7%	100.0%	90.0%	93.4%

(人)

● 課程等別

		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校		
		全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
		令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア)	日本語指導等に係る個別の指導計画を作成している、日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒：①	121	47	0	39	11	10	0	14	13	12
	日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒：②	369	208	5	63	21	16	21	47	24	42
	構成比：①/②	32.8%	22.6%	0.0%	61.9%	52.4%	62.5%	0.0%	29.8%	54.2%	28.6%
(イ)	①の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：③	109	46	0	39	11	10	0	14	13	12
	②の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：④	303	154	3	60	20	10	0	28	16	25
	構成比：③/④	36.0%	29.9%	0.0%	65.0%	55.0%	100.0%		50.0%	81.3%	48.0%
(ウ)	③の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑤	2	21	0	38	11	10	0	3	2	4
	④の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑥	5	21	0	46	14	10	0	4	2	4
	構成比：⑤/⑥	40.0%	100.0%		82.6%	78.6%	100.0%		75.0%	100.0%	100.0%

(人)

● 特別支援学級（学校種別・課程別）

		小学校	中学校	義務教育学校		中等教育学校	合計
		令和5年度	令和5年度	前期課程	後期課程	前期課程	令和5年度
		令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア)	日本語指導等に係る個別の指導計画を作成している、日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒：①	368	106	1	0	0	475
	日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒：②	508	154	3	0	0	665
	構成比：①/②	72.4%	68.8%	33.3%			71.4%
(イ)	①の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：③	359	103	1	0	0	463
	②の内、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒：④	460	134	3	0	0	597
	構成比：③/④	78.0%	76.9%	33.3%			77.6%
(ウ)	③の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑤						
	④の内、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒：⑥						
	構成比：⑤/⑥						

(人)

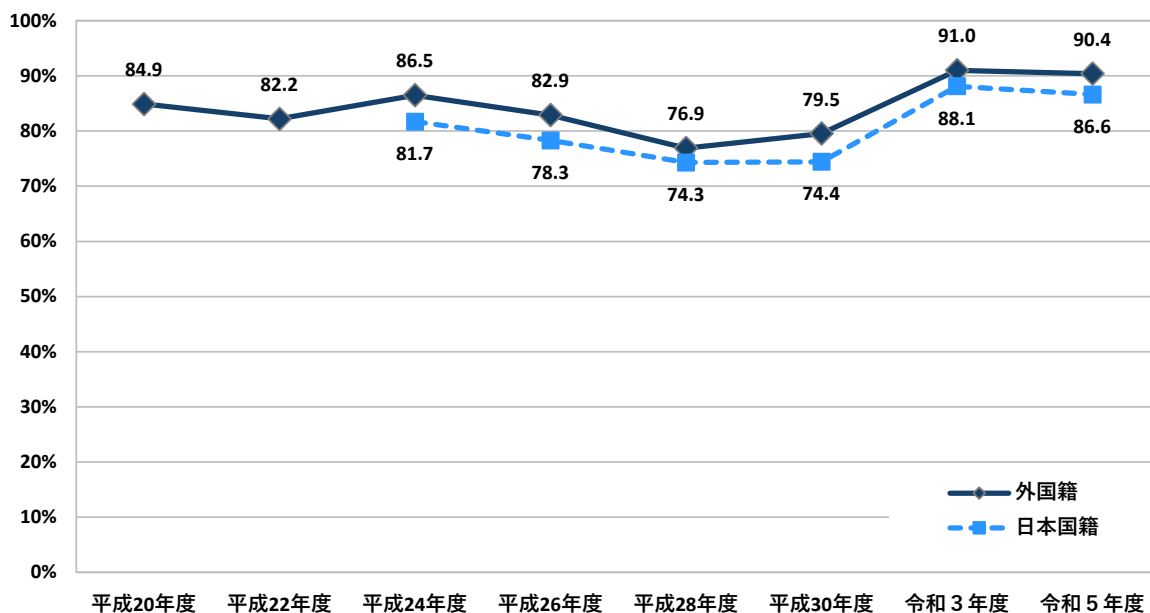
※ 本設問では、調査時点において学校で日本語指導等が行われていない場合であっても、日本語指導等に係る個別の指導計画が作成されている者が含まれる。

※ (イ) は、在籍学級や放課後を含む、学校で何らかの日本語指導等が行われている者である。

2.3.5 日本語指導が必要な児童生徒のうち学校において特別な配慮に基づく指導を受けている者の割合

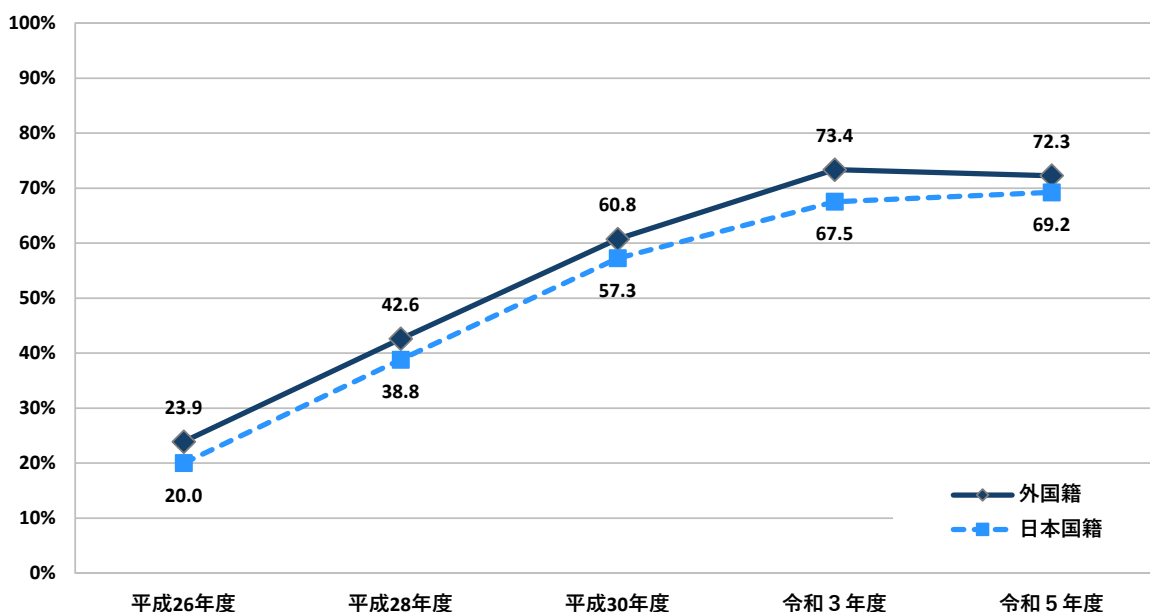
● 全体

	平成20年度	平成22年度	平成24年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和3年度	令和5年度
外国籍	84.9	82.2	86.5	82.9	76.9	79.5	91.0	90.4
日本国籍			81.7	78.3	74.3	74.4	88.1	86.6



● 上記のうち、「特別の教育課程」による日本語指導を受けている者の割合

	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和3年度	令和5年度
外国籍	23.9	42.6	60.8	73.4	72.3
日本国籍	20.0	38.8	57.3	67.5	69.2



2.3.6 日本語指導が必要な児童生徒に対して、特別な配慮に基づく指導を行っていない理由

日本語指導を必要とする児童生徒に対して、特別な配慮に基づく指導を行っていない場合には、その理由とともに、どのように改善しようとしているのか具体的に記入してください。

また、国への要望があれば記入してください。

● 特別な配慮に基づく指導を行っていない理由・対応（一部抜粋）：

- 日本語指導の教員がいないため、翻訳ソフトや機器を使用して対応している。
- 日本語教育のプレスクール等が未設置で、かつ日本語指導を行う教員や通訳の確保が難しい。近隣の自治体で、日本語教室のプレスクールを開設しているところから、日本語指導教材の提供や指導法について情報共有を依頼している。
- 個別に対応するための人材が不足している。市では、日本語指導専門員を雇用し、日本語指導を必要としている児童生徒が在籍している各校を巡回し、具体的な支援策を提案している。

等

● 国への要望（一部抜粋）：

- 学校現場から日本語指導が必要との判断があった場合、予算面・人的配置面の両面からの柔軟な支援を行ってほしい。
- 外国にルーツをもつ児童生徒が近年増加しているが、本市では、日本語のプレスクール等は設置できておらず、現場の先生方の負担が増加している現状である。各自治体や地域にNPO法人などと連携したプレスクールの設置が望まれる。そのための支援をお願いしたい。
- 地方自治体が行う通訳可能者のデータベース化に対する支援。
- 日本語指導の資格をもつ人材の育成・確保・日本語指導（外国人児童生徒の受入れ等を含む）に関する教職員向けの研修の実施
- 入国したばかりの保護者と児童生徒に対して、サバイバル日本語指導が全員受けられる統一の仕組みの構築。
- 日本語支援が必要な児童生徒が家庭学習等でも一人で学ぶことができる無料アプリの開発。

等

2.3.7 「特別の教育課程」による指導を実施していない場合の理由別学校数

貴教育委員会が所管する公立学校において、日本語指導における「特別の教育課程」による指導を実施していない場合、その理由について、学校種別ごとに該当する全ての項目の学校数を記入してください。

● 学校種別・課程別

	小学校 令和5年度	中学校 令和5年度	高等学校				義務教育学校		
			(計) 令和5年度	全日制	定時制	通信制	(計) 令和5年度	前期課程	後期課程
				令和5年度	令和5年度	令和5年度		令和5年度	令和5年度
(ア) 日本語と教科の統合的指導を行う担当教員がないため	1,968	927	382	251	140	10	16	14	10
(イ) 日本語指導における「特別の教育課程」で行うための教育課程の編成が困難であるため	1,276	714	385	248	147	9	14	11	9
(ウ) 個別の指導計画の作成や学習評価が困難なため	823	442	220	147	78	4	7	6	4
(エ) 拠点校への通級などのための学校間の連携体制が整っていないため	629	335	201	129	77	4	6	4	4
(オ) 該当する児童生徒本人または保護者が希望しないため	1,096	661	189	126	65	6	15	11	9
(カ) 校内に日本語指導における「特別の教育課程」の対象児童生徒がないと判断するため	1,149	489	231	166	70	4	14	8	11
(キ) その他	435	173	118	70	52	2	6	4	4

(校)

	中等教育学校			特別支援学校				合計	
	(計) 令和5年度	前期課程	後期課程	(計) 令和5年度	小学部	中学部	高等部	令和5年度	令和3年度
		令和5年度	令和5年度		令和5年度	令和5年度	令和5年度		
(ア) 日本語と教科の統合的指導を行う担当教員がないため	0	0	0	42	28	18	24	3,335	2,330
(イ) 日本語指導における「特別の教育課程」で行うための教育課程の編成が困難であるため	1	0	1	54	39	19	30	2,444	1,599
(ウ) 個別の指導計画の作成や学習評価が困難なため	1	0	1	16	11	6	8	1,509	892
(エ) 拠点校への通級などのための学校間の連携体制が整っていないため	0	0	0	20	12	6	16	1,191	612
(オ) 該当する児童生徒本人または保護者が希望しないため	0	0	0	27	18	12	13	1,988	1,444
(カ) 校内に日本語指導における「特別の教育課程」の対象児童生徒がないと判断するため	0	0	0	67	39	25	36	1,950	1,643
(キ) その他	1	1	0	53	35	28	24	786	633

(校)

※ 日本語指導における「特別の教育課程」を編成・実施していない学校が対象。

「その他」回答例：

- 語学支援員が付いて、一斉授業の中で個別の指導を行っているため。
- 子ども多文化共生サポーターの配置により、同室指導による体制をとっている。
- 学校支援ボランティア派遣を利用し、毎週水曜日の放課後に学習支援を受けている。

等

2.4 日本語指導における「特別の教育課程」の実施状況

2.4.1 日本語指導における「特別の教育課程」の指導時間別児童生徒数

日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒が1人でもいる場合、貴教育委員会が所管する公立学校において、令和5年度に計画している日本語指導における「特別の教育課程」の指導時間別児童生徒数を学校種別ごとに記入してください。

● 学校種別・課程別

	小学校	中学校	高等学校				義務教育学校			中等教育学校			合計
			(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	
			令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	
(ア) 月1単位時間未満	972	332	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1,307
(イ) 月1単位時間以上 月2単位時間未満	994	554	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1,549
(ウ) 月2単位時間以上 月3単位時間未満	661	179	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	843
(エ) 月3単位時間以上 週1単位時間未満	585	172	9	4	5	0	6	2	4	0	0	0	772
(オ) 週1単位時間以上 週2単位時間未満	8,523	2,732	48	9	39	0	100	76	24	0	0	0	11,403
(カ) 週2単位時間以上 週3単位時間未満	7,201	2,016	54	30	24	0	82	64	18	0	0	0	9,353
(キ) 週3単位時間以上 週4単位時間未満	3,954	1,110	87	4	83	0	56	51	5	0	0	0	5,207
(ク) 週4単位時間以上 週5単位時間未満	3,138	1,258	16	14	2	0	19	17	2	0	0	0	4,431
(ケ) 週5単位時間以上 週6単位時間未満	2,733	445	3	3	0	0	52	46	6	0	0	0	3,233
(コ) 週6単位時間以上 週7単位時間未満	902	314	1	0	1	0	12	10	2	0	0	0	1,229
(サ) 週7単位時間以上 週8単位時間未満	716	414	1	1	0	0	4	4	0	0	0	0	1,135
(シ) 週8単位時間以上 週9単位時間未満	820	292	3	1	2	0	15	12	3	35	35	0	1,165
(ス) 週9単位時間以上	2,147	705	10	1	9	0	24	20	4	0	0	0	2,886

(人)

※ 令和5年5月1日時点で教育委員会に届出されている「特別の教育課程」の編成・実施計画に基づく回答である。

※ 令和5年度間を通じて、児童生徒の日本語能力の伸びに応じて指導時間を変動させることを当初から想定し、「特別の教育課程」の編成・実施計画に記載されている場合は、平均的な週当たりの単位時間の回答としている。

2.4.2 日本語指導における「特別の教育課程」を特定の教科等に替えての実施有無別学校数

日本語指導における「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒が在籍する学校が1校でもある場合、貴教育委員会が所管する公立学校において、日本語指導における「特別の教育課程」を特定の教科等に替えて実施している学校数及び特定の教科等と替えることとしていない学校数について、令和5年度の計画に基づき、学校種別ごとに回答してください。

● 学校種別・課程別

	小学校	中学校	高等学校				義務教育学校			中等教育学校			合計
			(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
合計	4,450	1,902	33	14	20	0	41	40	31	1	1	0	6,427
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
(ア) 特定の教科等と替えて実施している。	2,792	1,075	19	12	8	0	24	23	17	1	1	0	3,911
構成比	62.7%	56.5%	57.6%	85.7%	40.0%		58.5%	57.5%	54.8%	100.0%	100.0%		60.9%
(イ) 特定の教科等と替えることとしていない。	1,658	827	14	2	12	0	17	17	14	0	0	0	2,516
構成比	37.3%	43.5%	42.4%	14.3%	60.0%		41.5%	42.5%	45.2%	0.0%	0.0%		39.1%

(校)

※ (イ) は、学校や指導者の都合によって、日本語の「取り出し指導」を行う曜日・時間がその都度変わり、特定の教科等の時間に取り出しを行っていない学校である。

※ 学年によって対応が異なる学校は、(ア) に含まれている。

2.4.3 日本語指導における「特別の教育課程」を特定の教科等に替えている場合に替えている教科別の学校数

日本語指導を特定の教科等に替えて実施している学校について、学校種別及び該当する全ての教科等ごとに学校数を回答してください。

(※) 例えばある学校で国語と社会の時間に「取り出し指導」を毎回実施している場合は、国語と社会の両方に計上してください。

● 学校種別・課程別

	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校			合計
	令和5年度	令和5年度	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	令和5年度	
合計	2,792	1,075	19	12	8	0	24	23	17	1	1	0	3,911	
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
(ア) 【小・中学校】国語	2,688	907					24	23	13	1	1		3,620	
構成比	96.3%	84.4%					100.0%	100.0%	76.5%	100.0%	100.0%		92.6%	
(イ) 【小・中学校】社会	672	661					8	6	6	0	0		1,341	
構成比	24.1%	61.5%					33.3%	26.1%	35.3%	0.0%	0.0%		34.3%	
(ウ) 【小・中学校】算数又は数学	1,479	496					11	10	8	0	0		1,986	
構成比	53.0%	46.1%					45.8%	43.5%	47.1%	0.0%	0.0%		50.8%	
(エ) 【小・中学校】理科	268	442					5	2	5	0	0		715	
構成比	9.6%	41.1%					20.8%	8.7%	29.4%	0.0%	0.0%		18.3%	
(オ) 【小・中学校】生活	210	15					1	1	0	0	0		226	
構成比	7.5%	1.4%					4.2%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%		5.8%	
(カ) 【小・中学校】音楽	115	40					2	2	2	0	0		157	
構成比	4.1%	3.7%					8.3%	8.7%	11.8%	0.0%	0.0%		4.0%	
(キ) 【小・中学校】図画工作又は美術	75	37					2	1	2	0	0		114	
構成比	2.7%	3.4%					8.3%	4.3%	11.8%	0.0%	0.0%		2.9%	
(ク) 【小・中学校】家庭又は技術・家庭	38	57					2	2	2	0	0		97	
構成比	1.4%	5.3%					8.3%	8.7%	11.8%	0.0%	0.0%		2.5%	
(ケ) 【小・中学校】体育又は保健体育	78	92					2	1	2	0	0		172	
構成比	2.8%	8.6%					8.3%	4.3%	11.8%	0.0%	0.0%		4.4%	
(コ) 【小・中学校】外国語活動又は外国語	92	302					5	2	4	0	0		399	
構成比	3.3%	28.1%					20.8%	8.7%	23.5%	0.0%	0.0%		10.2%	
(サ) 【小・中学校】道徳	332	132					4	2	3	0	0		468	
構成比	11.9%	12.3%					16.7%	8.7%	17.6%	0.0%	0.0%		12.0%	
(シ) 【小・中学校】総合的な学習の時間	213	79					1	1	1	0	0		293	
構成比	7.6%	7.3%					4.2%	4.3%	5.9%	0.0%	0.0%		7.5%	
(ス) 【小・中学校】特別活動	106	43					1	1	1	0	0		150	
構成比	3.8%	4.0%					4.2%	4.3%	5.9%	0.0%	0.0%		3.8%	
(セ) 【高等学校】国語			13	10	3	0				0		0	13	
構成比			68.4%	83.3%	37.5%					0.0%			0.3%	
(ソ) 【高等学校】地理歴史			3	2	1	0				0		0	3	
構成比			15.8%	16.7%	12.5%					0.0%			0.1%	
(タ) 【高等学校】公民			1	0	1	0				0		0	1	
構成比			5.3%	0.0%	12.5%					0.0%			0.0%	
(チ) 【高等学校】数学			4	3	2	0				0		0	4	
構成比			21.1%	25.0%	25.0%					0.0%			0.1%	
(ツ) 【高等学校】理科			4	2	2	0				0		0	4	
構成比			21.1%	16.7%	25.0%					0.0%			0.1%	
(テ) 【高等学校】芸術			1	0	1	0				0		0	1	
構成比			5.3%	0.0%	12.5%					0.0%			0.0%	
(ト) 【高等学校】外国語			3	2	2	0				0		0	3	
構成比			15.8%	16.7%	25.0%					0.0%			0.1%	
(ナ) 【高等学校】家庭			0	0	0	0				0		0	0	
構成比			0.0%	0.0%	0.0%					0.0%			0.0%	
(ニ) 【高等学校】情報			0	0	0	0				0		0	0	
構成比			0.0%	0.0%	0.0%					0.0%			0.0%	
(ヌ) 【高等学校】理数			0	0	0	0				0		0	0	
構成比			0.0%	0.0%	0.0%					0.0%			0.0%	
(ネ) 【高等学校】主として専門学科において開設される各教科			5	2	3	0				0		0	5	
構成比			26.3%	16.7%	37.5%					0.0%			0.1%	

(校)

2.5 日本語指導の内容

2.5.1 日本語指導が必要な児童生徒を対象に行っている指導内容別学校数

貴教育委員会が所管する公立学校において、日本語指導が必要な児童生徒を対象に行っている指導内容について、学校種別ごとに該当する全ての項目に学校数を記入してください。

● 学校種別

	小学校	中学校	高等学校	義務教育学校	中等教育学校	特別支援学校	合計	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和3年度
(ア) 【小・中学校】サバイバル日本語	3,982	1,461		40	1	49	5,533	4,002
(イ) 【小・中学校】日本語基礎	5,316	2,207		49	1	49	7,622	6,435
(ウ) 【小・中学校】技能別日本語	2,805	1,284		32	1	12	4,134	3,631
(エ) 【小・中学校】日本語と教科の統合学習	2,654	1,141		33	1	11	3,840	3,333
(オ) 【小・中学校】教科の補習	4,412	1,831		48	1	7	6,299	6,088
(カ) 【小・中学校】その他	486	311		6	0	22	825	741
(キ) 【高等学校】生活のための日本語			273		0	34	307	
(ク) 【高等学校】日本語基礎			300		1	25	326	
(ケ) 【高等学校】技能別日本語			181		1	8	190	
(コ) 【高等学校】日本語プロジェクト			47		0	5	52	
(サ) 【高等学校】その他			192		0	15	207	

(校)

● 学科等別

	高等学校			義務教育学校	
	全日制	定時制	通信制	前期課程	後期課程
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) 【小・中学校】サバイバル日本語				37	23
(イ) 【小・中学校】日本語基礎				44	31
(ウ) 【小・中学校】技能別日本語				30	22
(エ) 【小・中学校】日本語と教科の統合学習				31	24
(オ) 【小・中学校】教科の補習				41	33
(カ) 【小・中学校】その他				5	4
(キ) 【高等学校】生活のための日本語	154	132	4		
(ク) 【高等学校】日本語基礎	179	131	4		
(ケ) 【高等学校】技能別日本語	105	82	2		
(コ) 【高等学校】日本語プロジェクト	31	17	0		
(サ) 【高等学校】その他	135	58	4		

(校)

	中等教育学校		特別支援学校		
	前期課程	後期課程	小学部	中学部	高等部
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) 【小・中学校】サバイバル日本語	1		41	25	
(イ) 【小・中学校】日本語基礎	1		37	27	
(ウ) 【小・中学校】技能別日本語	1		11	5	
(エ) 【小・中学校】日本語と教科の統合学習	1		7	6	
(オ) 【小・中学校】教科の補習	1		4	4	
(カ) 【小・中学校】その他	0		15	13	
(キ) 【高等学校】生活のための日本語		0			34
(ク) 【高等学校】日本語基礎		1			25
(ケ) 【高等学校】技能別日本語		1			8
(コ) 【高等学校】日本語プロジェクト		0			5
(サ) 【高等学校】その他		0			15

(校)

● 特別支援学級（学校種別・課程別）

	小学校	中学校	義務教育学校		中等教育 学校	合計
			前期課程	後期課程	前期課程	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
(ア) 【小・中学校】サバイバル日本語	640	129	5	1	0	775
(イ) 【小・中学校】日本語基礎	901	261	7	3	0	1,172
(ウ) 【小・中学校】技能別日本語	518	167	8	2	0	695
(エ) 【小・中学校】日本語と教科の統合学習	484	157	6	4	0	651
(オ) 【小・中学校】教科の補習	694	219	6	3	0	922
(カ) 【小・中学校】その他	94	44	2	0	0	140
(キ) 【高等学校】生活のための日本語						
(ク) 【高等学校】日本語基礎						
(ケ) 【高等学校】技能別日本語						
(コ) 【高等学校】日本語プロジェクト						
(サ) 【高等学校】その他						

(校)

【参考】

※ 指導内容の詳細について、

- ・小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部、中学部）については、文部科学省「外国人児童生徒の受入れの手引（改訂版）」（2019年3月）p.27
- ・高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）については、「高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン」（2023年3月）p22~p25を必要に応じて参照している。

※ (ア)~(オ)、(キ)~(コ)の具体的内容

【小・中学校】

- (ア) 「サバイバル日本語」：挨拶や体調を伝える言葉、教科名や身の回りの物の名前などを知って使えるようにする
- (イ) 「日本語基礎」：文字・表記・語彙・文法、学校への適応や教科学習に参加するための基礎的な力をつける
- (ウ) 「技能別日本語」：「聞く」「話す」「読む」「書く」の言葉の4つの技能のうち、どれか一つに焦点を絞った学習
- (エ) 「日本語と教科の統合学習」：J S Lカリキュラム
- (オ) 「教科の補習」：在籍学級での学習内容を先行して学習したり、復習したりする

【高等学校】

- (キ) 「生活のための日本語」：日本での学校・社会生活を送れるようにするために必要な日本語の語彙・表現を学ぶプログラム
- (ク) 「日本語基礎」：日本語の基礎的な構造・意味・機能を理解し、生活場面や学習場面で運用できるようになるプログラム
- (ケ) 「技能別日本語」：「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の力を高めるプログラム
- (コ) 「日本語プロジェクト」：課題解決活動（プロジェクト）を通して、思考判断表現する力を高めるプログラム

「その他（小・中学校）」回答例：

- 教員や友達とのコミュニケーションに必要な指導。
- ゲームを取り入れるなど、語彙を増やす取組。
- 小学校の漢字練習や語彙の学習（絵本を読んだり、学習した語彙を用いた作文練習等）を行っている。
- 母国の文化などについて学級で紹介スピーチするための調べ学習、書く・読む・話すなどの統合的指導。
- 自分のルーツを紹介したり、伝えたりすることを通じて、アイデンティティをエンパワーメントする活動。職業体験学習などを通じ、その事前事後のレポートをまとめるような表現活動。

等

「その他（高等学校）」回答例：

- 朝や放課後に、日本の文化や学校生活に適応するための指導。
- ボランティアでの学習機会の設定や色々なキャリア上の支援につながる内容企画を通じて、日本語の読む・書く・話す力を鍛え、時には検定試験合格を励みに学習指導を進めている。
- 日本の学校の文化に慣れるための、学校生活の様々な場面における行動面の指導等。
- 校区の大学の教授を外部講師として招き、月1時間の割合で、日本語ワークショップを開いている。ワークショップでは、日本語指導教室に通室する児童の異年齢集団で、日本語やコミュニケーションの大切さを学び合っている。

等

2.6 日本語指導が必要な生徒の進路状況

2.6.1 令和4年度に卒業した日本語指導が必要な中学生等の進路別人数

貴教育委員会が所管する公立中学校等において、令和4年度に卒業した日本語指導が必要な中学生等の人数を、学校種別に回答してください。

また、その卒業者について、進路別の人数を回答してください。

	中学校		義務教育学校 後期課程		中等教育学校 前期課程		特別支援 学校	合計	
	うち特別 支援学級		うち特別 支援学級		うち特別 支援学級		中学部	うち特別 支援学級	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
令和4年度の合計卒業人数	4,370	183	43	1	18	0	33	4,464	184
(ア) 進学	3942	159	38	1	18	0	31	4,029	160
(A) 高等学校等への進学	3,678	121	36	1	18	0	28	3,760	122
(B) 専修学校(高等課程)への 進学	149	12	0	0	0	0	0	149	12
(C) 上記以外の教育機関への入学	115	26	2	0	0	0	3	120	26
(イ) 就職	78	4	0	0	0	0	0	78	4
(D) 就職(正規の職員・従業員、 自営業主等)	27	1	0	0	0	0	0	27	1
(E) 就職(正規の職員でない者、 一時的な仕事(アルバイト、 パート)に就いた者等)	51	3	0	0	0	0	0	51	3
(ウ) その他	350	20	5	0	0	0	2	357	20
(F) 帰国	119	5	3	0	0	0	2	124	5
(G) 進学・入学も就職もしておらず 帰国もしていない	223	15	2	0	0	0	0	225	15
(H) 不詳・死亡	8	0	0	0	0	0	0	8	0

(人)

※ 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校(中学部)が対象。

2.6.2 公立高等学校等における日本語指導が必要な高校生等の人数

貴教育委員会が所管する公立高等学校等において、令和4年度末（令和5年3月末現在）の日本語指導が必要な高校生等の総数（人数）を、学校種別に回答してください。

令和4年度中に高等学校等を修了又は中退した日本語指導が必要な生徒の人数を、学校種別に回答してください。

	高等学校				中等教育 学校	特別支援 学校	合計
	(計)	全日制	定時制	通信制	後期課程	高等部	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
令和4年度末の総数	4,276	2,070	2,156	50	59	130	4,465
令和4年度中の修了者	968	541	424	3	14	28	1,010
令和4年度中の中退者	370	124	243	3	0	4	374

(人)

※ 高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校（高等部）が対象。

2.6.3 令和4年度中に修了した日本語指導が必要な高校生等の進路別人数

令和4年度中の修了者について、学校種別、進路別の人数を回答してください。

	高等学校				中等教育 学校	特別支援 学校	合計
	(計)	全日制	定時制	通信制	後期課程	高等部	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度
令和4年度中の修了者	968	541	424	3	14	28	1,010
(ア) 進学	461	335	124	2	10	0	471
(A) 大学進学	247	201	46	0	9	0	256
(B) 短期大学進学	27	21	6	0	0	0	27
(C) 専修学校（専門課程）進学	166	102	64	0	1	0	167
(D) 上記以外の教育機関への進学・入学	21	11	8	2	0	0	21
(イ) 就職	351	132	219	0	1	18	370
(E) 就職（正規の職員・従業員、自営業主等）	215	92	123	0	1	5	221
(F) 就職（正規の職員でない者、一時的な仕事（アルバイト、パート）に就いた者等）	136	40	96	0	0	13	149
(ウ) その他	156	74	81	1	3	10	169
(G) 帰国	42	22	20	0	0	3	45
(H) 進学・入学も就職もしておらず帰国もしていない	109	49	59	1	3	7	119
(I) 不詳・死亡	5	3	2	0	0	0	5

(人)

2.6.4 日本語指導が必要な高校生等のうち、令和4年度中修了後に進学した者の言語別人数

令和4年度中の修了者のうち、進学者等の内訳として言語別の人数を回答してください。

	高等学校				中等教育 学校	特別支援 学校	合計
	(計)	全日制	定時制	通信制	後期課程	高等部	
	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	
(A) 大学進学	247	201	46	0	9	0	256
(ア) 日本語	10	10	0	0	5	0	15
(イ) 英語	9	7	2	0	2	0	11
(ウ) 韓国・朝鮮語	4	4	0	0	1	0	5
(エ) スペイン語	4	3	1	0	0	0	4
(オ) 中国語	147	115	32	0	0	0	147
(カ) フィリピン語	32	29	3	0	1	0	33
(キ) ベトナム語	7	6	1	0	0	0	7
(ク) ポルトガル語	9	7	2	0	0	0	9
(ケ) その他	25	20	5	0	0	0	25
(B) 短期大学進学	27	21	6	0	0	0	27
(ア) 日本語	1	1	0	0	0	0	1
(イ) 英語	1	1	0	0	0	0	1
(ウ) 韓国・朝鮮語	0	0	0	0	0	0	0
(エ) スペイン語	1	1	0	0	0	0	1
(オ) 中国語	3	3	0	0	0	0	3
(カ) フィリピン語	5	1	4	0	0	0	5
(キ) ベトナム語	4	4	0	0	0	0	4
(ク) ポルトガル語	4	3	1	0	0	0	4
(ケ) その他	8	7	1	0	0	0	8
(C) 専修学校（専門課程）進学	166	102	64	0	1	0	167
(ア) 日本語	6	6	0	0	0	0	6
(イ) 英語	6	6	0	0	0	0	6
(ウ) 韓国・朝鮮語	1	1	0	0	0	0	1
(エ) スペイン語	12	8	4	0	0	0	12
(オ) 中国語	58	40	18	0	1	0	59
(カ) フィリピン語	33	16	17	0	0	0	33
(キ) ベトナム語	5	4	1	0	0	0	5
(ク) ポルトガル語	10	5	5	0	0	0	10
(ケ) その他	35	16	19	0	0	0	35
(D) 上記以外の教育機関への進学・入学	21	11	8	2	0	0	21
(ア) 日本語	0	0	0	0	0	0	0
(イ) 英語	1	1	0	0	0	0	1
(ウ) 韓国・朝鮮語	0	0	0	0	0	0	0
(エ) スペイン語	0	0	0	0	0	0	0
(オ) 中国語	13	5	6	2	0	0	13
(カ) フィリピン語	3	2	1	0	0	0	3
(キ) ベトナム語	0	0	0	0	0	0	0
(ク) ポルトガル語	1	0	1	0	0	0	1
(ケ) その他	3	3	0	0	0	0	3

(人)

「その他」回答例：

ネパール語/ウルドゥー語/アラビア語/ベンガル語/タイ語/インドネシア語 等

2.6.5 令和4年度中の日本語指導が必要な中学生等の進路状況

※本調査では「令和4年度」の卒業生数を聴取している。

① 進学率

	中学校等を卒業した生徒数		中学校等を卒業した後高等学校や専修学校などの教育機関等（※1）に進学等した生徒数		進学率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な中学生等	4,464	4,216	4,029	3,791	90.3%	89.9%
全中学生等	1,008,419 (※2)	983,810 (※3)	998,557 (※2)	975,671 (※3)	99.0%	99.2%

(※1) 専修学校（高等課程、一般課程）、公共職業能力開発施設等を含む

(※2) 「令和5年度学校基本調査」を基に算出

(※3) 「令和3年度学校基本調査」を基に算出

② 就職率

	中学校等を卒業した生徒数		中学校等を卒業した後就職した生徒数		就職率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な中学生等	4,464	4,216	78	100	1.7%	2.4%
全中学生等	1,008,419 (※2)	983,810 (※3)	1,821 (※2)	1,761 (※3)	0.2%	0.2%

(※2) 「令和5年度学校基本調査」を基に算出

(※3) 「令和3年度学校基本調査」を基に算出

③ 進学も就職もしていない者の率

	中学校等を卒業した生徒数		中学校等を卒業した後進学・就職（・帰国）していない生徒数（不詳、死亡は除く）		進学も就職もしていない者の率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な中学生等	4,464	4,216	225	212	5.0%	5.0%
全中学生等	1,008,419 (※2)	983,810 (※3)	7,981 (※2)	6,328 (※3)	0.8%	0.6%

(※2) 「令和5年度学校基本調査」を基に算出

(※3) 「令和3年度学校基本調査」を基に算出

2.6.6 令和4年度中の日本語指導が必要な高校生等の中退・進路状況

※本調査では「令和4年度」の卒業生数を聴取している。

(1) 中途退学率

	在籍している生徒数		中途退学した生徒数		中退率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な高校生等 (特別支援学校の高等部は除く)	4,335	3,931	370	264	8.5%	6.7%
全高校生等 (特別支援学校の高等部は除く)	1,999,163 (※1)	2,132,224 (※2)	22,631 (※3)	20,283 (※4)	1.1%	1.0%

(※1) 「令和4年度学校基本調査」を基に算出

(※2) 「令和2年度学校基本調査」を基に算出

(※3) 「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を基に算出

(※4) 「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を基に算出

(2) 進路状況

① 進学率

	高等学校等を卒業した生徒数		高等学校等を卒業した後大学や専 修学校などの教育機関等(※5)に 進学等した生徒数		進学率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な高校生等	1,010	951	471	493	46.6%	51.8%
全高校生等	668,892 (※6)	712,927 (※7)	501,533 (※6)	523,223 (※7)	75.0%	73.4%

(※5) 短期大学、専門学校、各種学校を含む

(※6) 「令和5年度学校基本調査」を基に算出

(※7) 「令和3年度学校基本調査」を基に算出

② 就職者における非正規就職率

	高等学校等を卒業した後 就職した生徒数		高等学校等を卒業した後非正規又 は一時的に就職した生徒数		就職者における 非正規就職率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な高校生等 (全日制・定時制・通信制高校及び中 等教育学校後期課程のみ)	352	228	136	89	38.6%	39.0%
全高校生等(全日制・定時制高校及び中 等教育学校後期課程のみ)	115,091 (※6)	134,965 (※7)	3,566 (※6)	4,401 (※7)	3.1%	3.3%

(※6) 「令和5年度学校基本調査」を基に算出

(※7) 「令和3年度学校基本調査」を基に算出

③ 進学も就職もしていない者の率

	高等学校等を卒業した生徒数		高等学校等を卒業した後 進学・就職（・帰国）していない 生徒数（不詳、死亡は除く）		進学も就職も していない者の率	
	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度
日本語指導が必要な高校生等	1,010	951	119	128	11.8%	13.5%
全高校生等	668,892 (※6)	712,927 (※7)	43,803 (※6)	45,777 (※7)	6.5%	6.4%

(※6) 「令和5年度学校基本調査」を基に算出

(※7) 「令和3年度学校基本調査」を基に算出

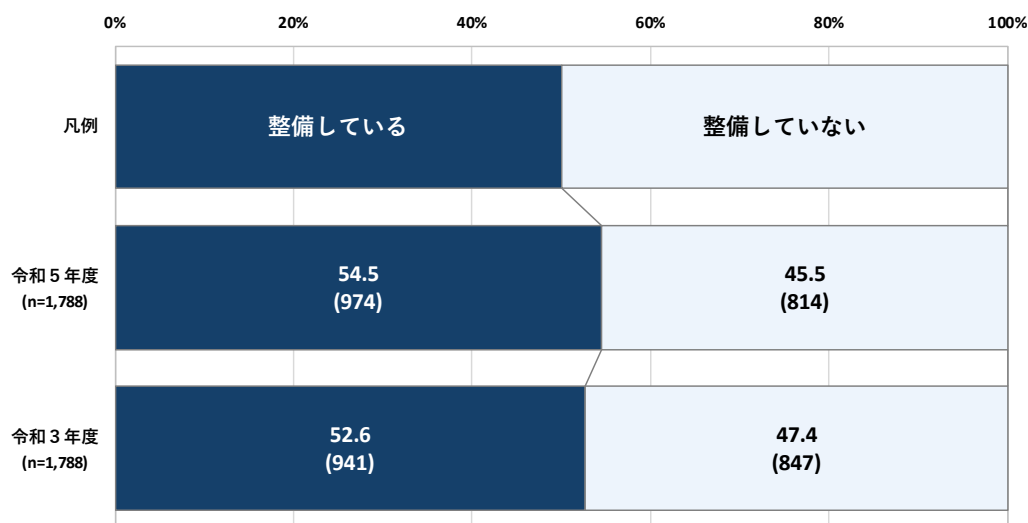
2.7 教育委員会における体制整備

2.7.1 日本語指導が必要な児童生徒等の受入れに際しての指導体制の整備状況

貴教育委員会では、日本語指導が必要な児童生徒の受入れに際して、どのような指導体制を整備していますか。次の選択肢の中から当てはまるものを全て選択してください。

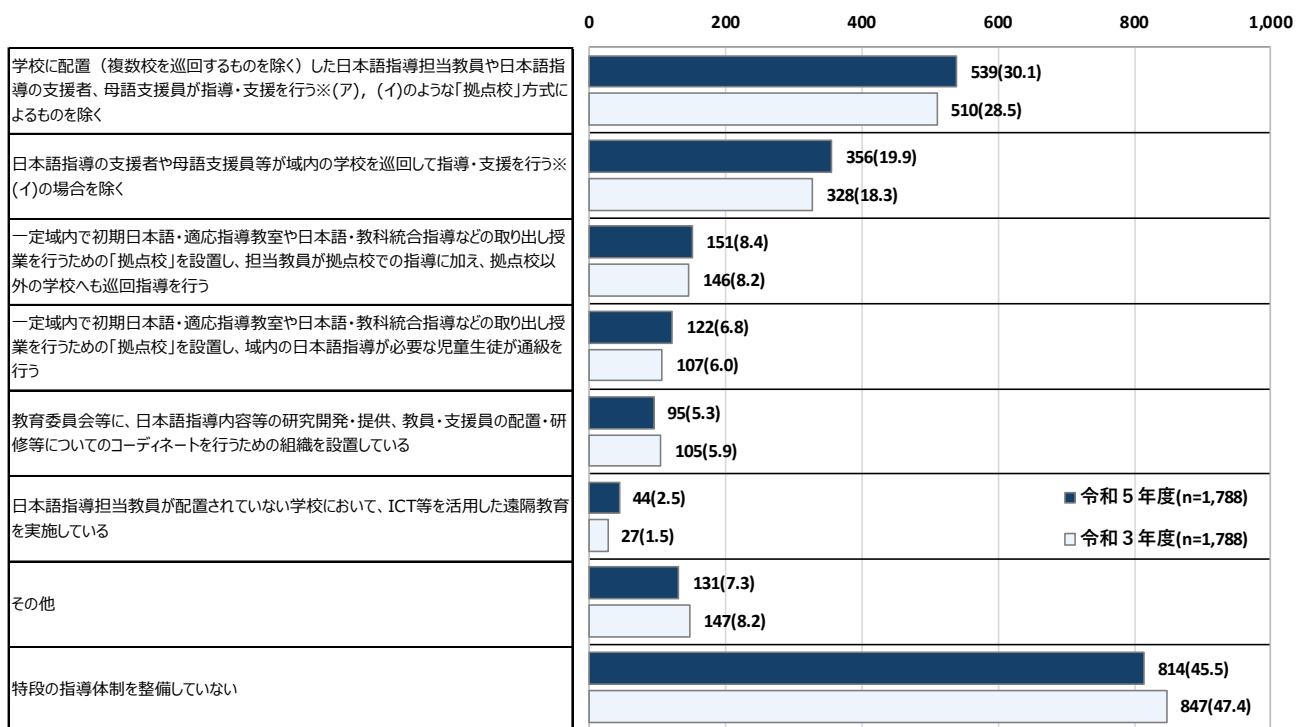
		総数(n)	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)
			一定域内で初期日本語・適応指導教室や日本語・教科統合指導などの取り出し授業を行うための「拠点校」を設置し、域内の日本語指導が必要な児童生徒が通級を行う	一定域内で初期日本語・適応指導教室や日本語・教科統合指導などの取り出し授業を行うための「拠点校」を設置し、担当教員が拠点校での指導に加え、拠点校以外の学校へも巡回指導を行う	日本語指導の支援者や母語支援員等が域内の学校を巡回して指導・支援を行う ※(イ)の場合を除く	学校に配置（複数校を巡回するものを除く）した日本語指導担当教員や日本語指導の支援者、母語支援員が指導・支援を行う※(ア)、(イ)のような「拠点校」方式によるものを除く	日本語指導担当教員が配置されていない学校において、ICT等を活用した遠隔教育を実施している	教育委員会等に、日本語指導内容等の研究開発・提供、教員・支援員の配置・研修等についてのコーディネートを行うための組織を設置している	特段の指導体制を整備していない	その他
令和5年度	地方公共団体数	1,788	122	151	356	539	44	95	814	131
	構成比(%)	100.0	6.8	8.4	19.9	30.1	2.5	5.3	45.5	7.3
令和3年度	地方公共団体数	1,788	107	146	328	510	27	105	847	147
	構成比(%)	100.0	6.0	8.2	18.3	28.5	1.5	5.9	47.4	8.2

(1) 指導体制の整備状況



※ ()は回答地方公共団体数。

(2) 整備している指導体制



※回答地方公共団体数。()は構成比。
 ※1 ※3～4のような「拠点校」方式によるものを除く
 ※2 ※3の場合を除く

「その他」回答例：

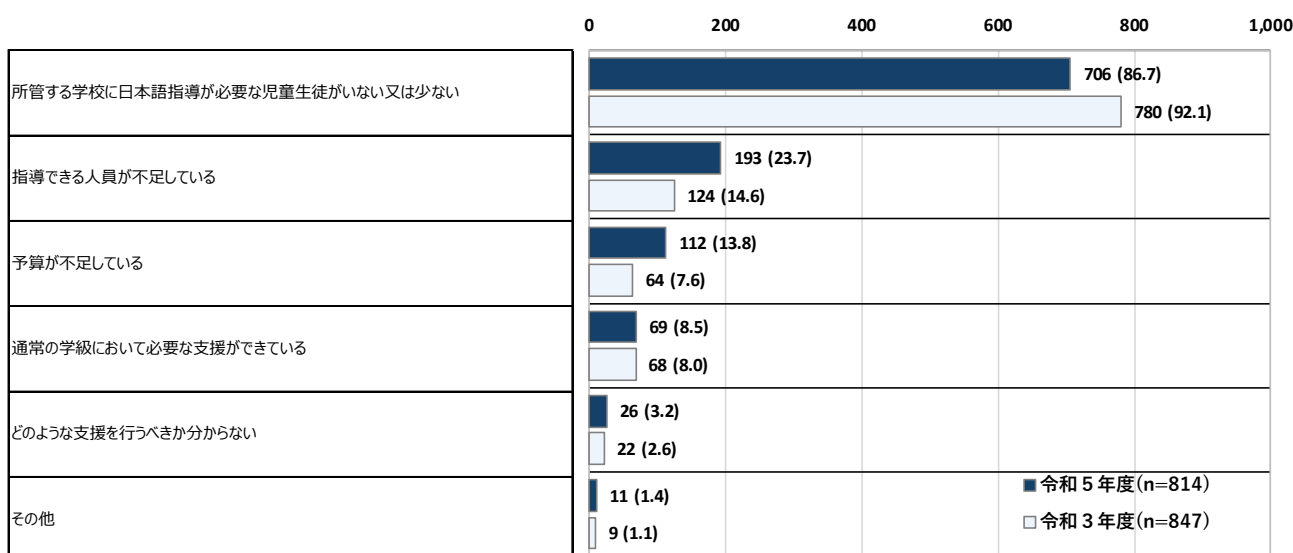
- 教育委員会の指導の下、該当学校の管理職を中心に指導チームを構成し、分担して指導支援に当たる。
- 国際センターに依頼し、オンライン日本語指導及び保護者面談や家庭訪問において通訳支援員が日本語と多言語間のコミュニケーション支援を行っている。
- 日本語指導における研究推進する拠点校（取り出し授業を行うための拠点校ではない。）を設置し、日本語指導の充実を図る。

等

2.7.2 特段の指導体制を整備していない場合の理由

特段の指導体制を整備していない場合、その理由について、次の選択肢の中から当てはまるものを全て選択してください。

		総数(n)	(ア) 所管する学校に日本語指導が必要な児童生徒がない又は少ない	(イ) 通常の学級において必要な支援ができていない	(ウ) どのような支援を行うべきか分からない	(エ) 指導できる人員が不足している	(オ) 予算が不足している	(カ) その他
令和5年度	地方公共団体数	814	706	69	26	193	112	11
	構成比(%)	100.0	86.7	8.5	3.2	23.7	13.8	1.4
令和3年度	地方公共団体数	847	780	68	22	124	64	9
	構成比(%)	100.0	92.1	8.0	2.6	14.6	7.6	1.1



※回答地方公共団体数。()は構成比。

「その他」回答例：

- JSV（日本語指導スーパーバイザー）の拠点校より、拠点校での指導に加え、拠点校以外の学校へも巡回指導を行っている。

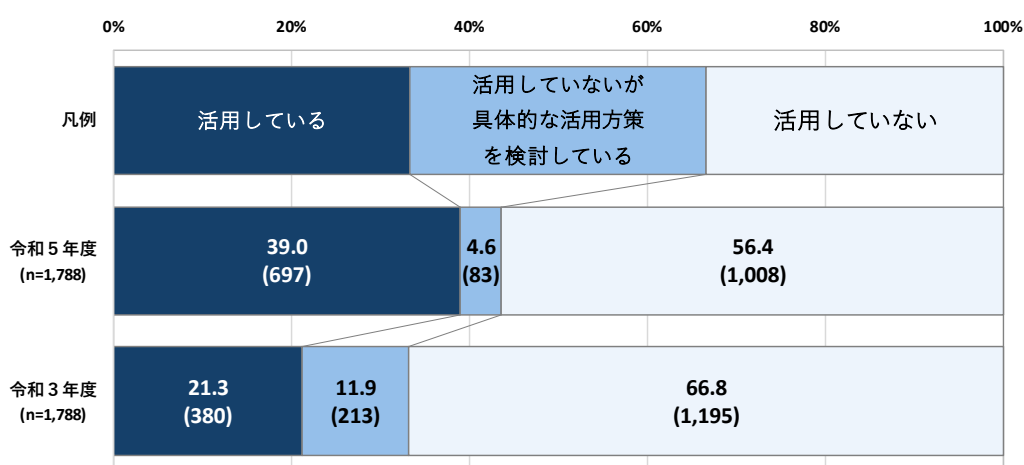
等

2.7.3 学校での日本語指導における ICT 端末等の活用有無別地方公共団体数

学校で1人1台の端末整備が進められるなど ICT の活用が本格化していますが、貴教育委員会においては、これら端末等を学校における日本語指導において活用していますか。次の選択肢の中から該当するものを1つ選択してください。

地方公共団体数

	令和5年度	令和3年度
(ア) 活用している	697	380
(イ) 活用していないが具体的な活用方策を検討している	83	213
(ウ) 活用していない	1,008	1,195



※ ()は回答地方公共団体数。

「活用している」場合の具体的な方策：

- 音声入力により、日本語⇄外国語の翻訳を画面上に文字で表示できるウェブサービスを利用。
- デジタル教材を学習に取り入れている。
- ビデオ会話ツールを活用した、オンラインによる日本語指導の実施。

等

「活用していないが具体的な活用方法を検討している」場合の具体的な方策：

- タブレットを利用した日本語のタイピング練習やコミュニケーション活動時並びに国語の授業時における翻訳機能の利用。
- 1人1台端末を使ったオンラインでの双方向型の指導を行うことを検討している。
- AIドリルの導入検討。

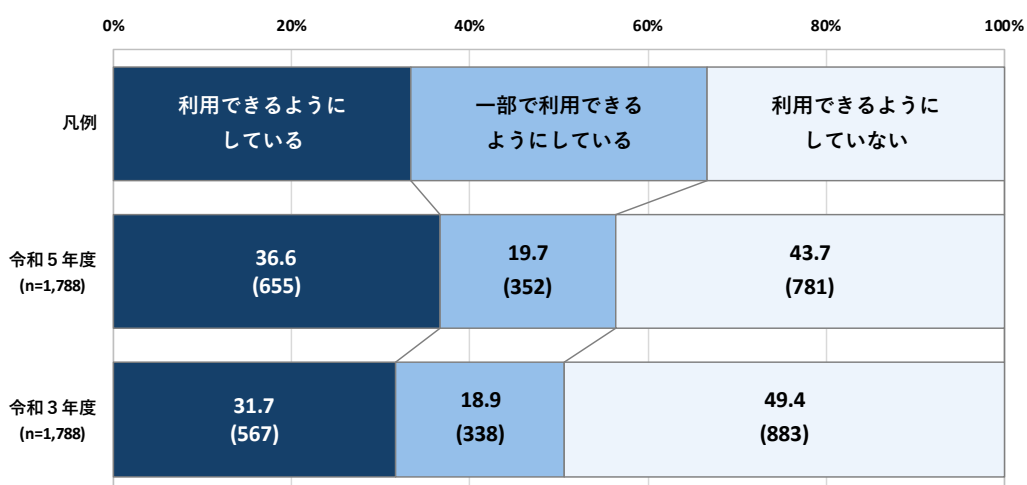
等

2.7.4 日本語指導補助者等の支援者の学校での ICT 端末の利用可否別地方公共団体数

学校での端末を日本語指導補助者等の支援者が利用できるようにしていますか。次の選択肢の中から該当するものを1つ選択してください。

地方公共団体数

	令和5年度	令和3年度
(ア) 利用できるようにしている	655	567
(イ) 一部で利用できるようにしている	352	338
(ウ) 利用できるようにしていない	781	883



※ ()は回答地方公共団体数。

「利用できるようにしていない」理由：

- 支援者が ICT の活用より、従来のアナログ的な指導を得意としているため。
- 学校の端末に余裕がなく、日本語指導補助者に充てる端末がない。
- 日本語指導補助者は国際交流協会の日本語教室ボランティアで、教育委員会では雇用・登録されていないため、市のセキュリティポリシー等の規定により使用できない。
- 指導補助者の ICT 活用スキルが不十分である。

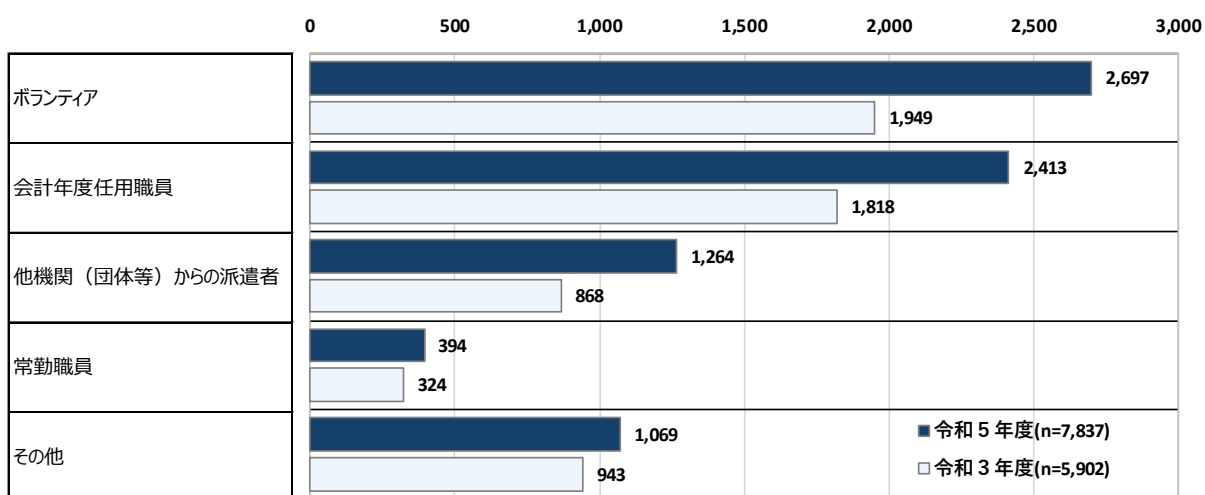
等

2.7.5 「日本語指導の支援者」の配置状況

貴教育委員会において、令和5年5月1日現在で雇用・登録等されている日本語指導の支援者（学校において日本語指導の支援を行う外部人材）について、雇用形態等別に人数を回答してください。これらの者の雇用・登録等がない場合には、「0」を記入してください。

(1) 雇用・登録人数

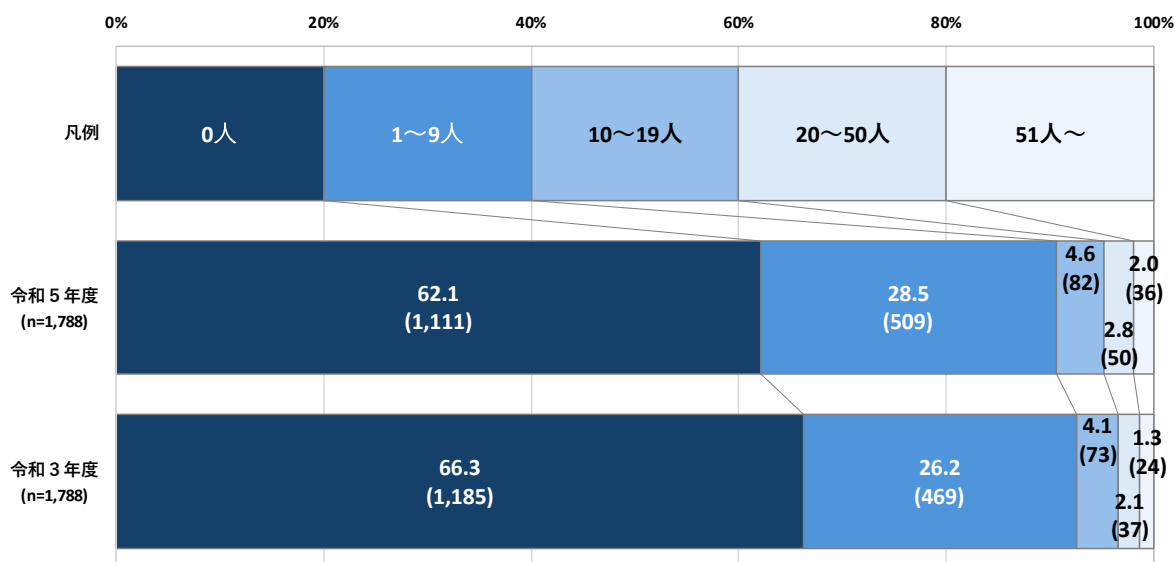
		総数(n)	(ア) 常勤職員	(イ) 会計年度任用職員	(ウ) ボランティア	(エ) 他機関（団体等） からの派遣者	(オ) その他
令和5年度	合計人数	7,837	394	2,413	2,697	1,264	1,069
令和3年度	合計人数	5,902	324	1,818	1,949	868	943



※該当する雇用・登録人数。

(2) 雇用・登録人数規模

		総数(n)	0人	1~9人	10~19人	20~50人	51人~
令和5年度	地方公共団体数	1,788	1,111	509	82	50	36
	構成比(%)	100.0	62.1	28.5	4.6	2.8	2.0
令和3年度	地方公共団体数	1,788	1,185	469	73	37	24
	構成比(%)	100.0	66.3	26.2	4.1	2.1	1.3



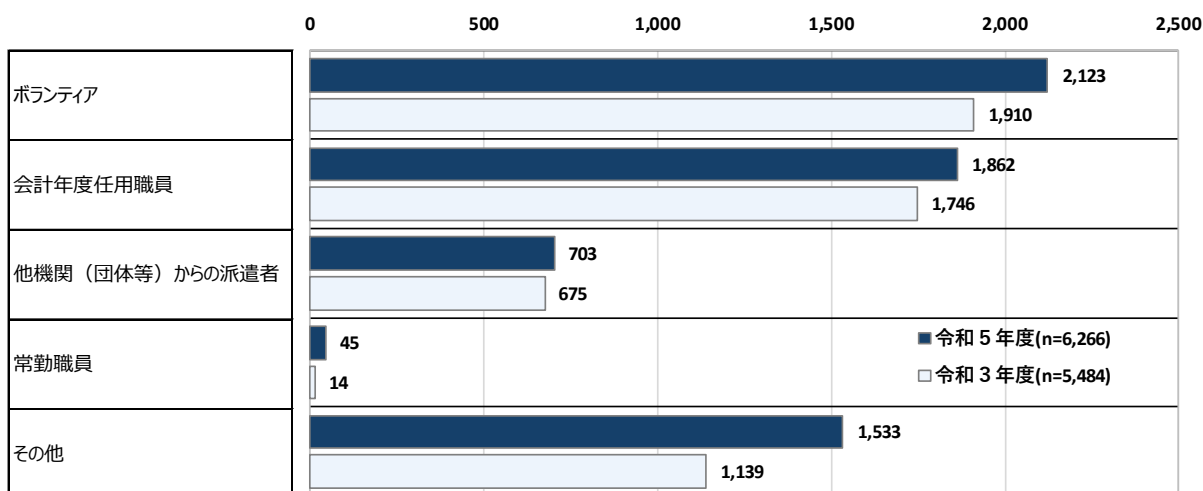
※ ()は回答地方公共団体数。

2.7.6 「母語支援員」の配置状況

貴教育委員会において、令和5年5月1日現在で雇用・登録等されている母語支援員（学校において児童生徒の母語により支援（児童生徒の対応だけでなく、保護者とのやり取りや保護者向け文書の翻訳を含む）を行う外部人材）について、雇用形態等別に人数を回答してください。これらの者の雇用・登録等がない場合には、「0」を記入してください。

(1) 雇用・登録人数

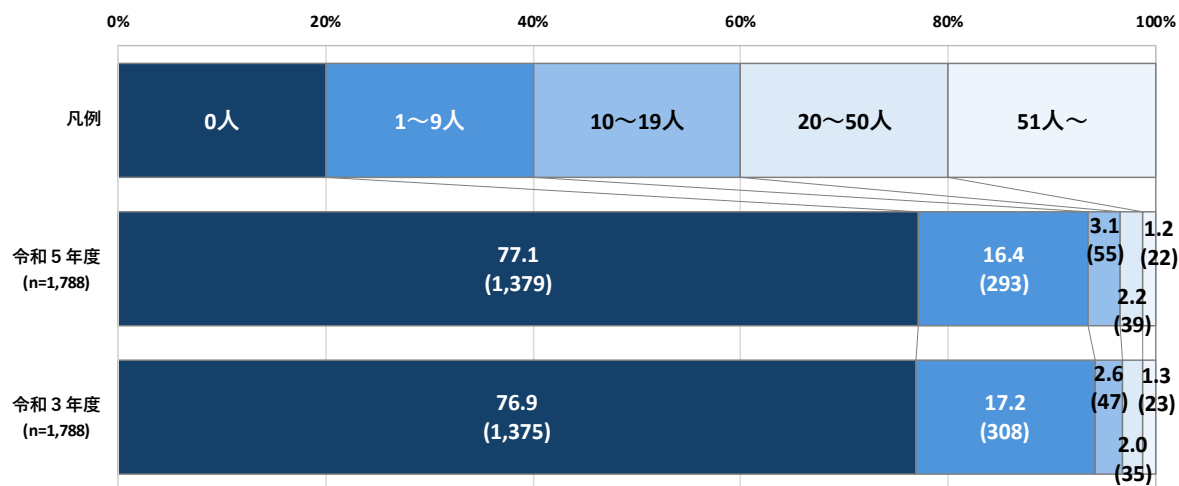
		総数(n)	(ア) 常勤職員	(イ) 会計年度任用職員	(ウ) ボランティア	(エ) 他機関（団体等） からの派遣者	(オ) その他
令和5年度	合計人数	6,266	45	1,862	2,123	703	1,533
令和3年度	合計人数	5,484	14	1,746	1,910	675	1,139



※該当する雇用・登録人数。

(2) 雇用・登録人数規模

		総数(n)	0人	1～9人	10～19人	20～50人	51人～
令和5年度	地方公共団体数	1,788	1,379	293	55	39	22
	構成比(%)	100.0	77.1	16.4	3.1	2.2	1.2
令和3年度	地方公共団体数	1,788	1,375	308	47	35	23
	構成比(%)	100.0	76.9	17.2	2.6	2.0	1.3



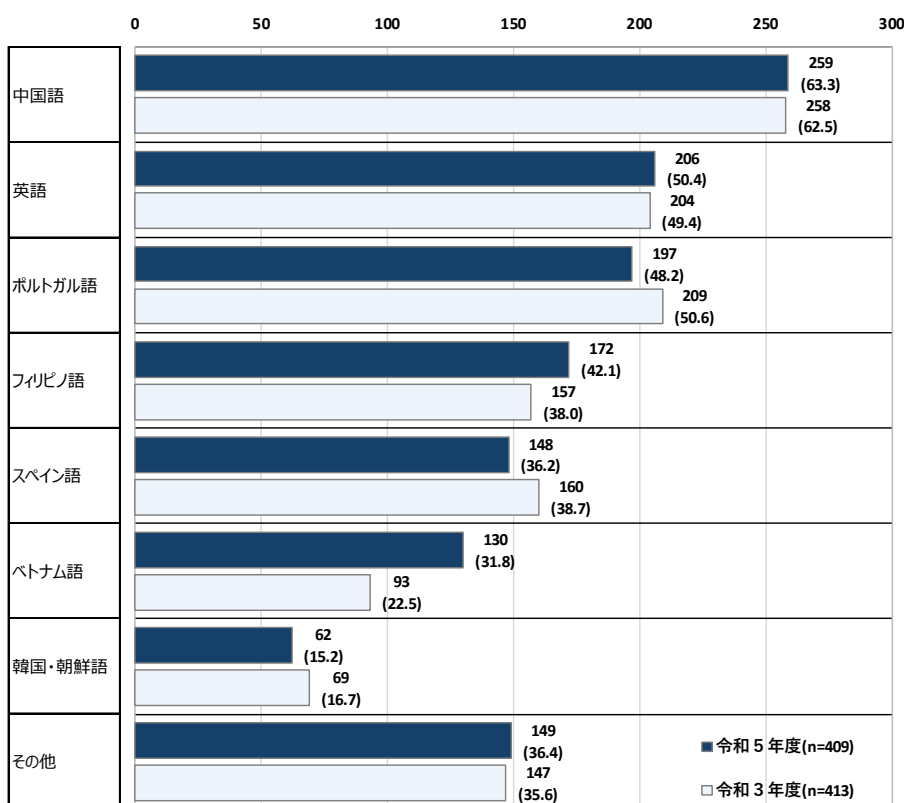
※ ()は回答地方公共団体数。

2.7.7 母語支援員の対応言語

貴教育委員会において、令和5年5月1日現在で雇用・登録等されている母語支援員（学校において児童生徒の母語により支援（児童生徒の対応だけでなく、保護者とのやり取りや保護者向け文書の翻訳を含む）を行う外部人材）について、対応している言語別人数を回答してください。なお、複数言語に対応している母語支援員については言語別に計上してください。

(1) 雇用・登録人数

		総数(n)	(ア) 英語	(イ) 韓国・朝鮮語	(ウ) スペイン語	(エ) 中国語	(オ) フィリピン語	(カ) ベトナム語	(キ) ポルトガル語	(ク) その他
令和5年度	地方公共団体数	409	206	62	148	259	172	130	197	149
	構成比(%)	100.0	50.4	15.2	36.2	63.3	42.1	31.8	48.2	36.4
令和3年度	地方公共団体数	413	204	69	160	258	157	93	209	147
	構成比(%)	100.0	49.4	16.7	38.7	62.5	38.0	22.5	50.6	35.6

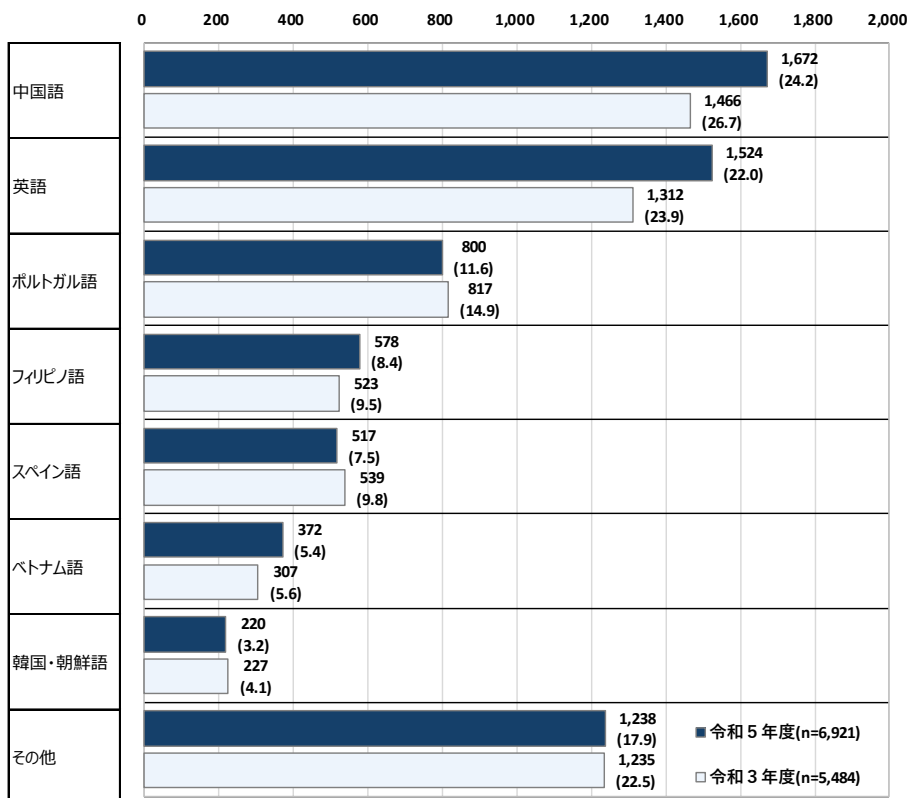


「その他」回答例：

ネパール語/インドネシア語/タイ語/ロシア語/ウルドゥー語/モンゴル語/フランス語/
ヒンディー語/アラビア語/ベンガル語/ドイツ語/シンハラ語/ペルシャ語/ウクライナ語 等

(2) 各言語に対応している母語支援員の合計人数

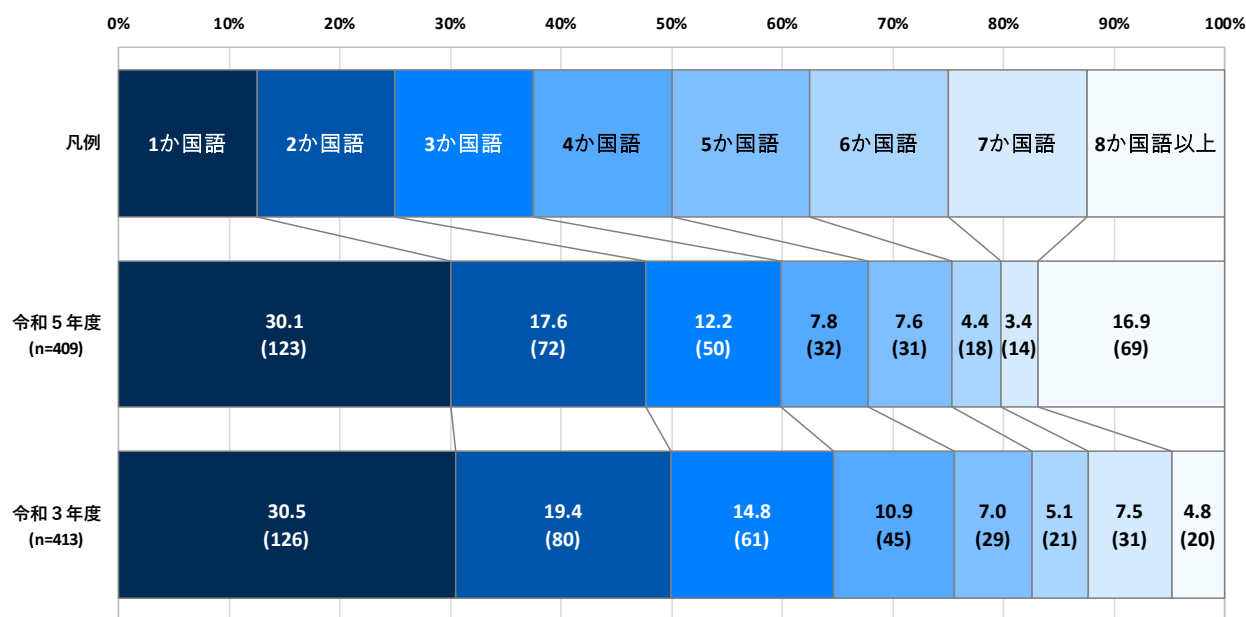
		総数(n)	(ア) 英語	(イ) 韓国・朝鮮語	(ウ) スペイン語	(エ) 中国語	(オ) フィリピン語	(カ) ベトナム語	(キ) ポルトガル語	(ク) その他
令和5年度	母語支援員人数	6,921	1,524	220	517	1,672	578	372	800	1,238
	構成比(%)	100.0	22.0	3.2	7.5	24.2	8.4	5.4	11.6	17.9
令和3年度	母語支援員人数	5,484	1,312	227	539	1,466	523	307	817	1,235
	構成比(%)	100.0	23.9	4.1	9.8	26.7	9.5	5.6	14.9	22.5



※母語支援員人数。()は構成比。

(3) 母語支援員の対応言語数別地方公共団体数

		総数(n)	1か国語	2か国語	3か国語	4か国語	5か国語	6か国語	7か国語	8か国語以上
令和5年度	地方公共団体数	409	123	72	50	32	31	18	14	69
	構成比(%)	100.0	30.1	17.6	12.2	7.8	7.6	4.4	3.4	16.9
令和3年度	地方公共団体数	413	126	80	61	45	29	21	31	20
	構成比(%)	100.0	30.5	19.4	14.8	10.9	7.0	5.1	7.5	4.8



※ ()は回答地方公共団体数。

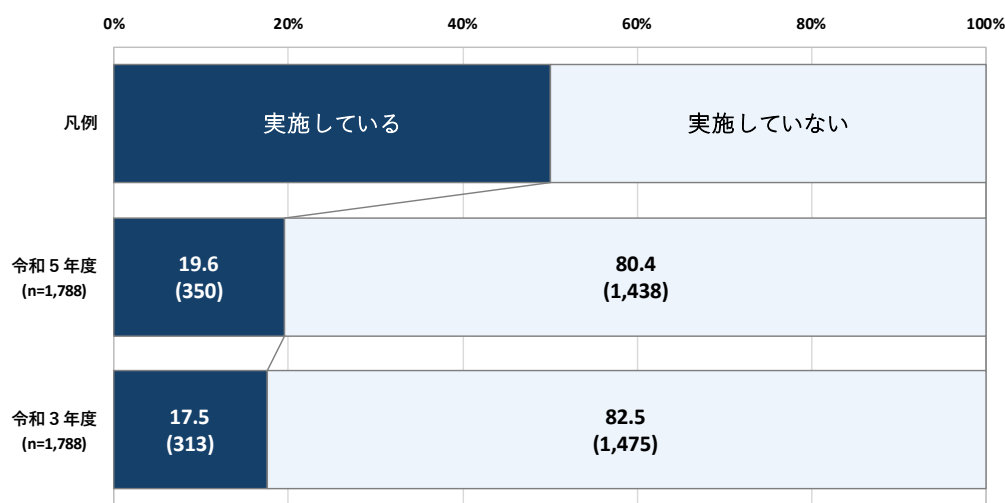
2.7.8 教育委員会における日本語指導が必要な児童生徒等の教育に関する研修の実施状況

日本語指導が必要な児童生徒の教育について、次の①～⑥の対象者に対し、前年度間（令和4年度間）に教育委員会として独自に何らかの研修を行いましたか。研修を実施した場合には、該当する研修内容を全て選択してください。教育委員会として独自に研修を実施していない場合には、「実施していない」を選択してください。

（※）オンライン研修も含まれます。

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		総数(n)	在籍学級担任、日本語指導担当教員	主任、主事（教務主任、学年主任、生徒指導主事等）	管理職	①～③以外の教員	日本語指導の支援者、母語支援員	その他	実施していない
令和5年度	地方公共団体数	1,788	272	94	164	87	220	39	1,438
	構成比(%)	100.0	15.2	5.3	9.2	4.9	12.3	2.2	80.4
令和3年度	地方公共団体数	1,788	224	67	134	68	170	31	1,475
	構成比(%)	100.0	12.5	3.7	7.5	3.8	9.5	1.7	82.5

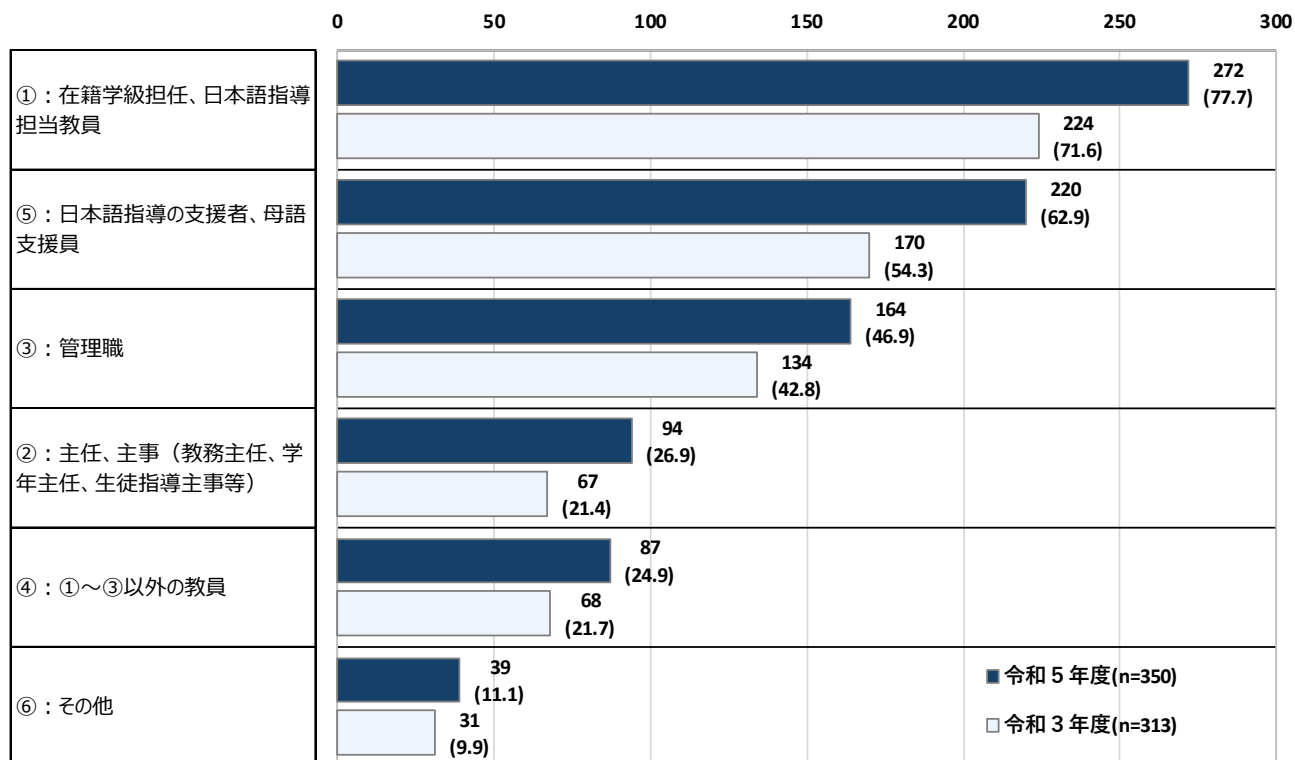
(1) 実施有無



※ ()は回答地方公共団体数。

(2) 実施している場合の研修の対象者

※日本語指導が必要な外国人児童生徒等の教育に関する教育委員会独自の研修を実施している場合の対象者（複数回答）



※回答地方公共団体数。()は構成比。

「その他」回答例：

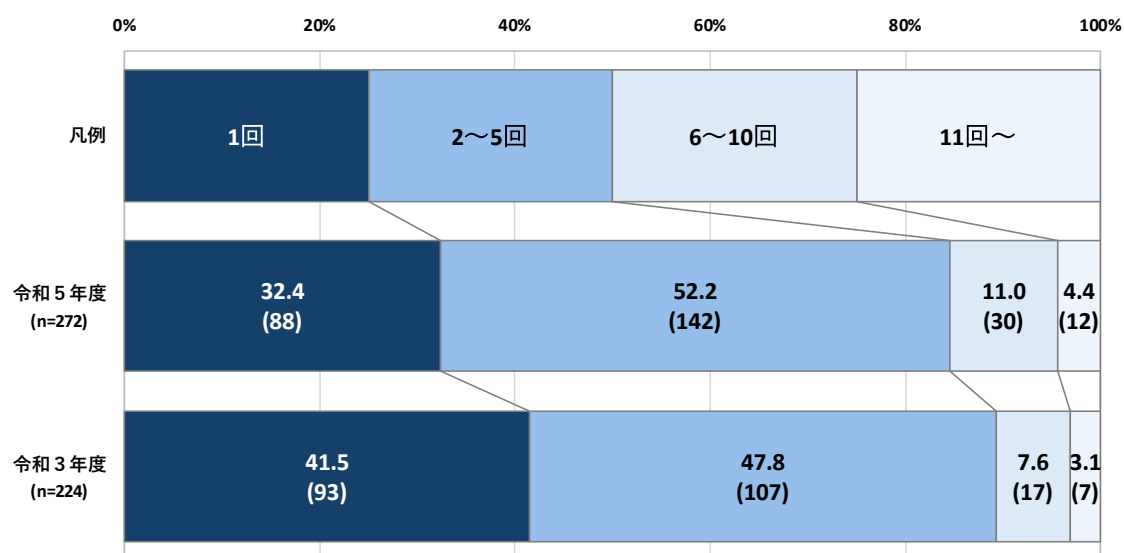
ボランティア/保護者/地域住民/教育委員会職員/国際交流協会や NPO 等の関係団体職員 等

(3) ①「在籍学級担任、日本語指導担当教員」に対する研修の年間実施回数

		合計値	中央値	最大値
令和5年度	年間実施回数	900	2	31
令和3年度	年間実施回数	609	2	20

● 年間実施回数規模別地方公共団体数

		総数(n)	1回	2～5回	6～10回	11回～
令和5年度	地方公共団体数	272	88	142	30	12
	構成比(%)	100.0	32.4	52.2	11.0	4.4
令和3年度	地方公共団体数	224	93	107	17	7
	構成比(%)	100.0	41.5	47.8	7.6	3.1



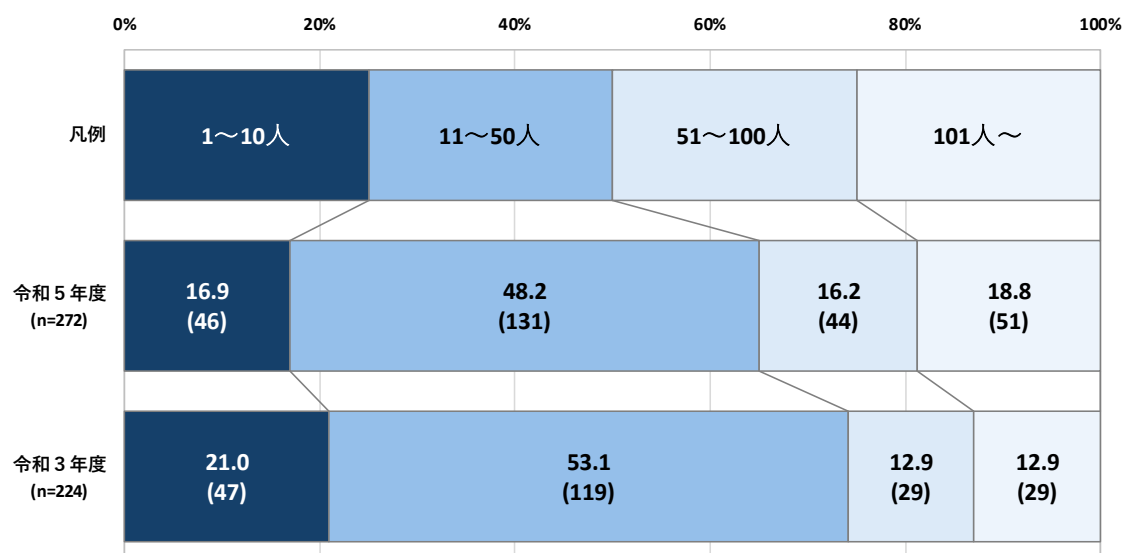
※ ()は回答地方公共団体数。

(4) ①「在籍学級担任、日本語指導担当教員」に対する研修の延べ参加教員数

		合計値	中央値	最大値
令和5年度	延べ参加教員数	25,055	32	1,508
令和3年度	延べ参加教員数	13,888	25	1,050

● 延べ参加教員数規模別地方公共団体数

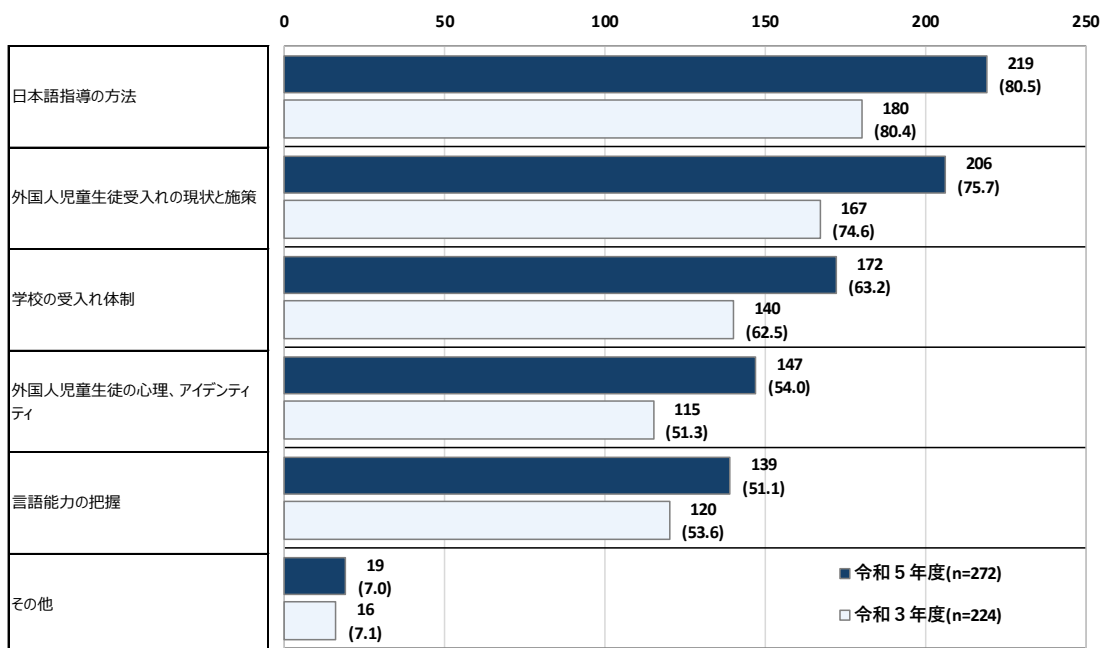
		総数(n)	1～10人	11～50人	51～100人	101人～
令和5年度	地方公共団体数	272	46	131	44	51
	構成比(%)	100.0	16.9	48.2	16.2	18.8
令和3年度	地方公共団体数	224	47	119	29	29
	構成比(%)	100.0	21.0	53.1	12.9	12.9



※ ()は回答地方公共団体数。

(5) ①「在籍学級担任、日本語指導担当教員」に対する研修内容

		総数(n)	(ア) 外国人児童生徒受 入れの現状と施策	(イ) 学校の受入れ体制	(ウ) 外国人児童生徒の 心理、アイデンティ ティ	(エ) 日本語指導の方法	(オ) 言語能力の把握	(カ) その他
令和5年度	地方公共団体数	272	206	172	147	219	139	19
	構成比(%)	100.0	75.7	63.2	54.0	80.5	51.1	7.0
令和3年度	地方公共団体数	224	167	140	115	180	120	16
	構成比(%)	100.0	74.6	62.5	51.3	80.4	53.6	7.1



※回答地方公共団体数。()は構成比。

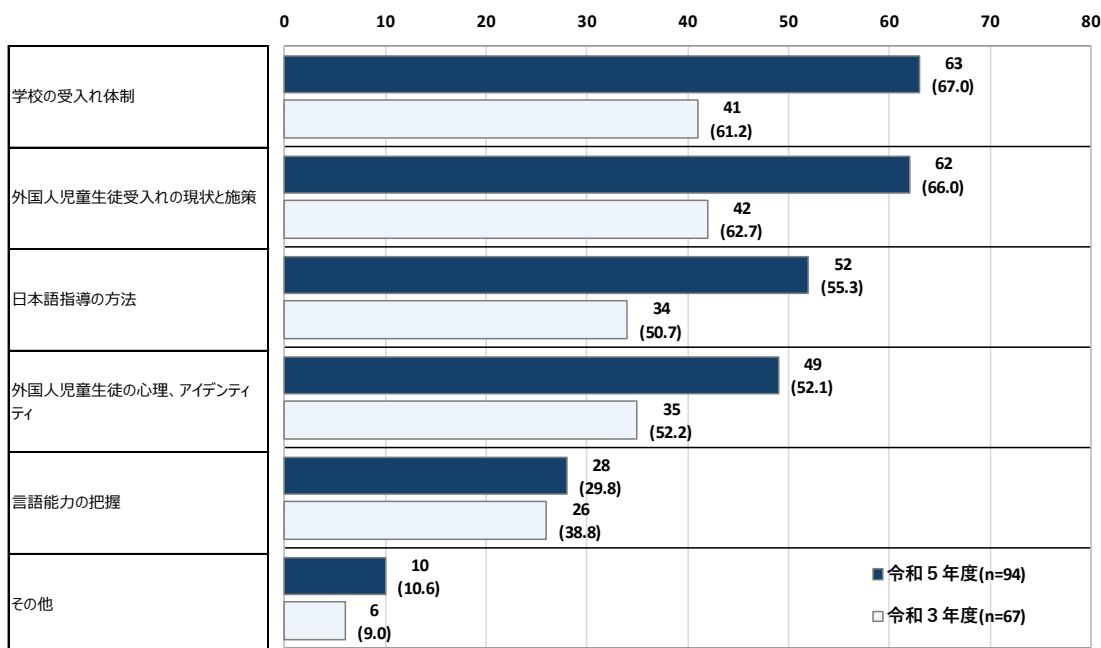
「その他」回答例：

- 多様性を認める学級経営について
- 地域連携について
- 外国人児童生徒の人権についての研修
- 日本語学級担当者としての役割と専門性の向上
- 外国人児童生徒等における学校でのユニバーサルデザインの有効性について

等

(6) ②「主任、主事（教務主任、学年主任、生徒指導主事等）」に対する研修内容

		総数(n)	(ア) 外国人児童生徒受 入れの現状と施策	(イ) 学校の受入れ体制	(ウ) 外国人児童生徒の 心理、アイデンティ ティ	(エ) 日本語指導の方法	(オ) 言語能力の把握	(カ) その他
令和5年度	地方公共団体数	94	62	63	49	52	28	10
	構成比(%)	100.0	66.0	67.0	52.1	55.3	29.8	10.6
令和3年度	地方公共団体数	67	42	41	35	34	26	6
	構成比(%)	100.0	62.7	61.2	52.2	50.7	38.8	9.0



※回答地方公共団体数。()は構成比。

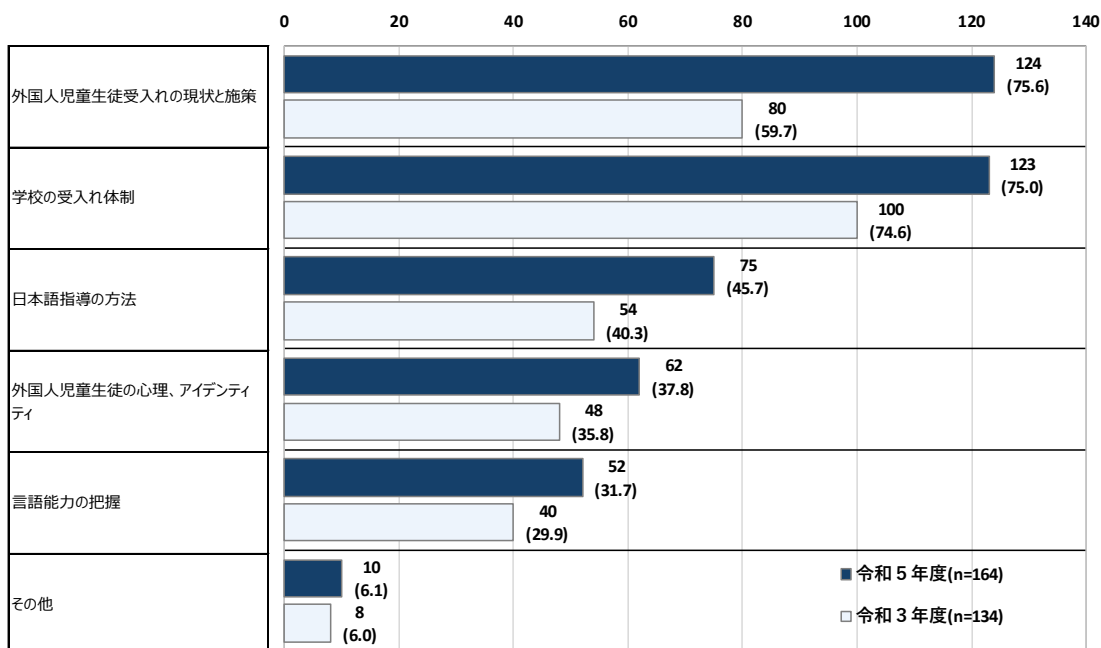
「その他」回答例：

- ・ 地域連携について
- ・ 外国人児童生徒の人権についての研修
- ・ 外国人児童生徒等における学校でのユニバーサルデザインの有効性について
- ・ 在留資格に関する研修会
- ・ 学校におけるやさしい日本語研修会

等

(7) ③「管理職」に対する研修内容

		総数(n)	(ア) 外国人児童生徒受 入れの現状と施策	(イ) 学校の受入れ体制	(ウ) 外国人児童生徒の 心理、アイデンティ ティ	(エ) 日本語指導の方法	(オ) 言語能力の把握	(カ) その他
令和5年度	地方公共団体数	164	124	123	62	75	52	10
	構成比(%)	100.0	75.6	75.0	37.8	45.7	31.7	6.1
令和3年度	地方公共団体数	134	80	100	48	54	40	8
	構成比(%)	100.0	59.7	74.6	35.8	40.3	29.9	6.0



※回答地方公共団体数。()は構成比。

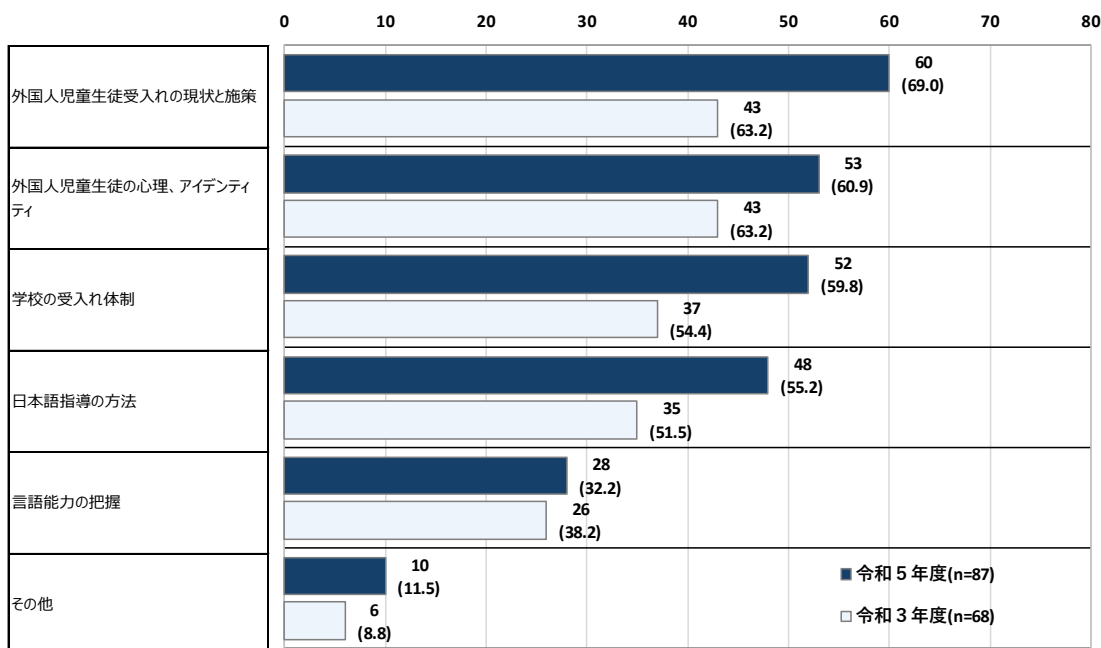
「その他」回答例：

- ・ 地域連携について
- ・ 外国人児童生徒の人権についての研修
- ・ 外国人児童生徒等における学校でのユニバーサルデザインの有効性について
- ・ 在留資格に関する研修会
- ・ 学校におけるやさしい日本語研修会

等

(8) ④「①～③以外の教員」に対する研修内容

		総数(n)	(ア) 外国人児童生徒受 入れの現状と施策	(イ) 学校の受入れ体制	(ウ) 外国人児童生徒の 心理、アイデンティ ティ	(エ) 日本語指導の方法	(オ) 言語能力の把握	(カ) その他
令和5年度	地方公共団体数	87	60	52	53	48	28	10
	構成比(%)	100.0	69.0	59.8	60.9	55.2	32.2	11.5
令和3年度	地方公共団体数	68	43	37	43	35	26	6
	構成比(%)	100.0	63.2	54.4	63.2	51.5	38.2	8.8



※回答地方公共団体数。()は構成比。

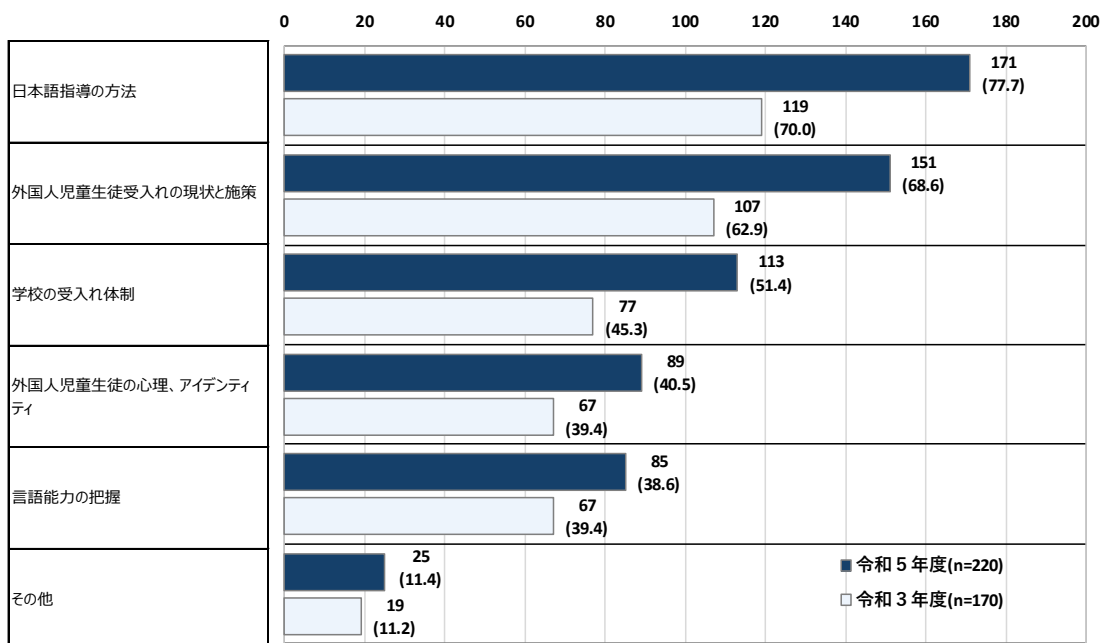
「その他」回答例：

- 地域連携について
- 外国人児童生徒の人権についての研修
- 外国人児童生徒等における学校でのユニバーサルデザインの有効性について
- 在留資格に関する研修会

等

(9) ⑤「日本語指導の支援者、母語支援員」に対する研修内容

		総数(n)	(ア) 外国人児童生徒受 入れの現状と施策	(イ) 学校の受入れ体制	(ウ) 外国人児童生徒の 心理、アイデンティ ティ	(エ) 日本語指導の方法	(オ) 言語能力の把握	(カ) その他
令和5年度	地方公共団体数	220	151	113	89	171	85	25
	構成比(%)	100.0	68.6	51.4	40.5	77.7	38.6	11.4
令和3年度	地方公共団体数	170	107	77	67	119	67	19
	構成比(%)	100.0	62.9	45.3	39.4	70.0	39.4	11.2



※回答地方公共団体数。()は構成比。

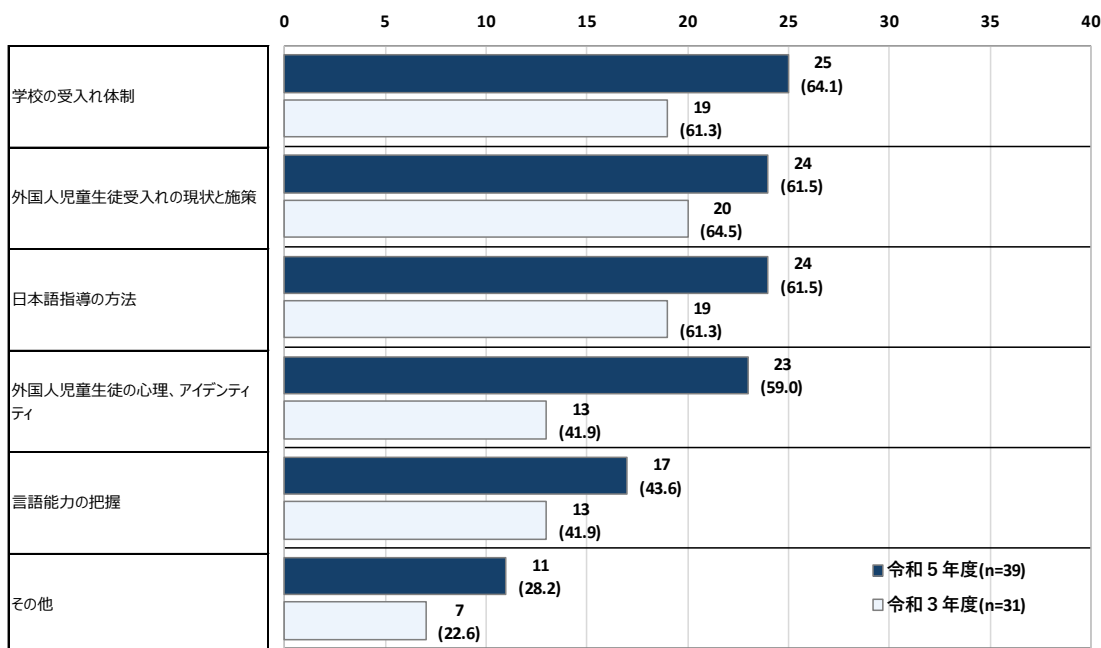
「その他」回答例：

- ・ 地域連携について
- ・ バイリンガル研修（通訳、翻訳のスキルアップ）
- ・ 学習用端末（iPad）とアプリの操作方法
- ・ 在留資格に関する研修会

等

(10) ⑥「その他」に対する研修内容

		総数(n)	(ア) 外国人児童生徒受 入れの現状と施策	(イ) 学校の受入れ体制	(ウ) 外国人児童生徒の 心理、アイデンティ ティ	(エ) 日本語指導の方法	(オ) 言語能力の把握	(カ) その他
令和5年度	地方公共団体数	39	24	25	23	24	17	11
	構成比(%)	100.0	61.5	64.1	59.0	61.5	43.6	28.2
令和3年度	地方公共団体数	31	20	19	13	19	13	7
	構成比(%)	100.0	64.5	61.3	41.9	61.3	41.9	22.6



※回答地方公共団体数。()は構成比。

「その他」回答例：

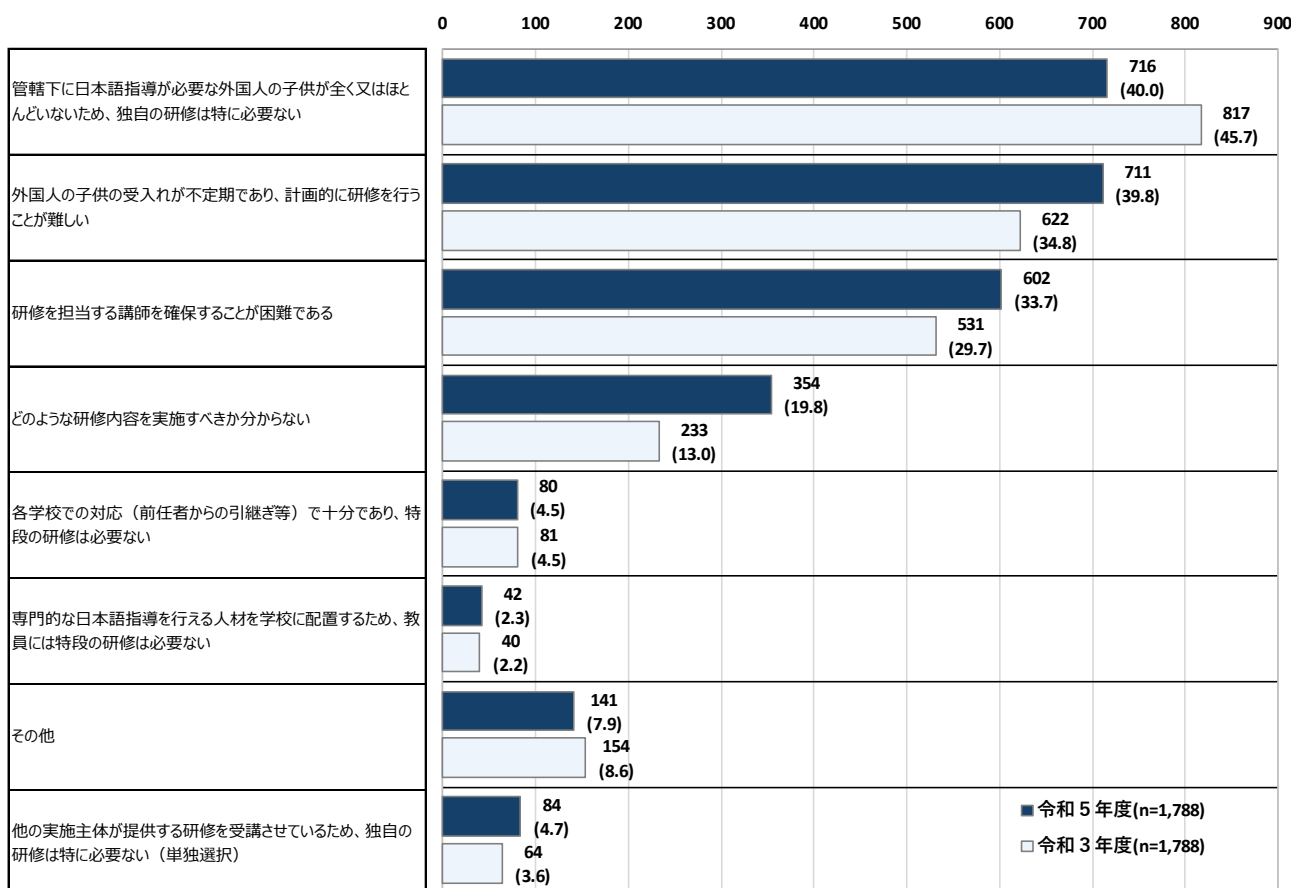
- ・ 特別支援教育に関する研修
- ・ 地域連携について
- ・ 日本語学級担当者としての役割と専門性の向上
- ・ バイリンガル研修（通訳、翻訳のスキルアップ）
- ・ 学習用端末（iPad）とアプリの操作方法

等

2.7.9 研修の実施について感じる事

貴教育委員会における研修の実施について、どのようなこととお感じになっていますか。
次の選択肢の中から該当するものを全て選択してください。

		総数(n)	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)
			研修を担当する講師を確保することが困難である	外国人の子供の受け入れが不定期であり、計画的に研修を行うことが難しい	どのような研修内容を実施すべきか分からない	専門的な日本語指導を行える人材を学校に配置するため、教員には特段の研修は必要ない	各学校での対応（前任者からの引継ぎ等）で十分であり、特段の研修は必要ない	管轄下に日本語指導が必要な外国人の子供が全く又はほとんどいないため、独自の研修は特に必要ない	他の実施主体が提供する研修を受講させているため、独自の研修は特に必要ない（単独選択）	その他
令和5年度	地方公共団体数	1,788	602	711	354	42	80	716	84	141
	構成比(%)	100.0	33.7	39.8	19.8	2.3	4.5	40.0	4.7	7.9
令和3年度	地方公共団体数	1,788	531	622	233	40	81	817	64	154
	構成比(%)	100.0	29.7	34.8	13.0	2.2	4.5	45.7	3.6	8.6



※回答地方公共団体数。（）は構成比。

「その他」回答例：

- 研修の必要性と内容について、各小中学校へ周知し参加を促しているものの、学校現場の多忙化や教員人手不足による理由から、教員の参加が難しい状況である。
- 対象となる日本語指導担当教員の入れ替わりが多く、毎年度、日本語指導についての基本的な内容の研修を繰り返し実施せざるを得ない。
- 児童生徒の在籍校において、担当者が県教育委員会の研修に参加している。十分とは考えてはおらず研修を企画したいところではあるが、在籍児童生徒数が少ないことと、1校1校の学校においては1人～2人と対象生徒が少なくなり、予算と時間を割くことができていないのが現状である。
- 研修の内容を参加した教員（日本語指導コーディネーター）が校内で共有し、共通理解を図るところに課題がある。
- 外国人児童生徒教育担当者が年によって半分以上変わってしまうこともあるため、研修内容のレベルをどこに合わせるかが難しいと感じる。

等

他の実施主体名称：

- 管轄の都道府県教育委員会
- 文部科学省やその他の機関
- 多文化共生センター
- 国際交流センター
- 提携先の大学

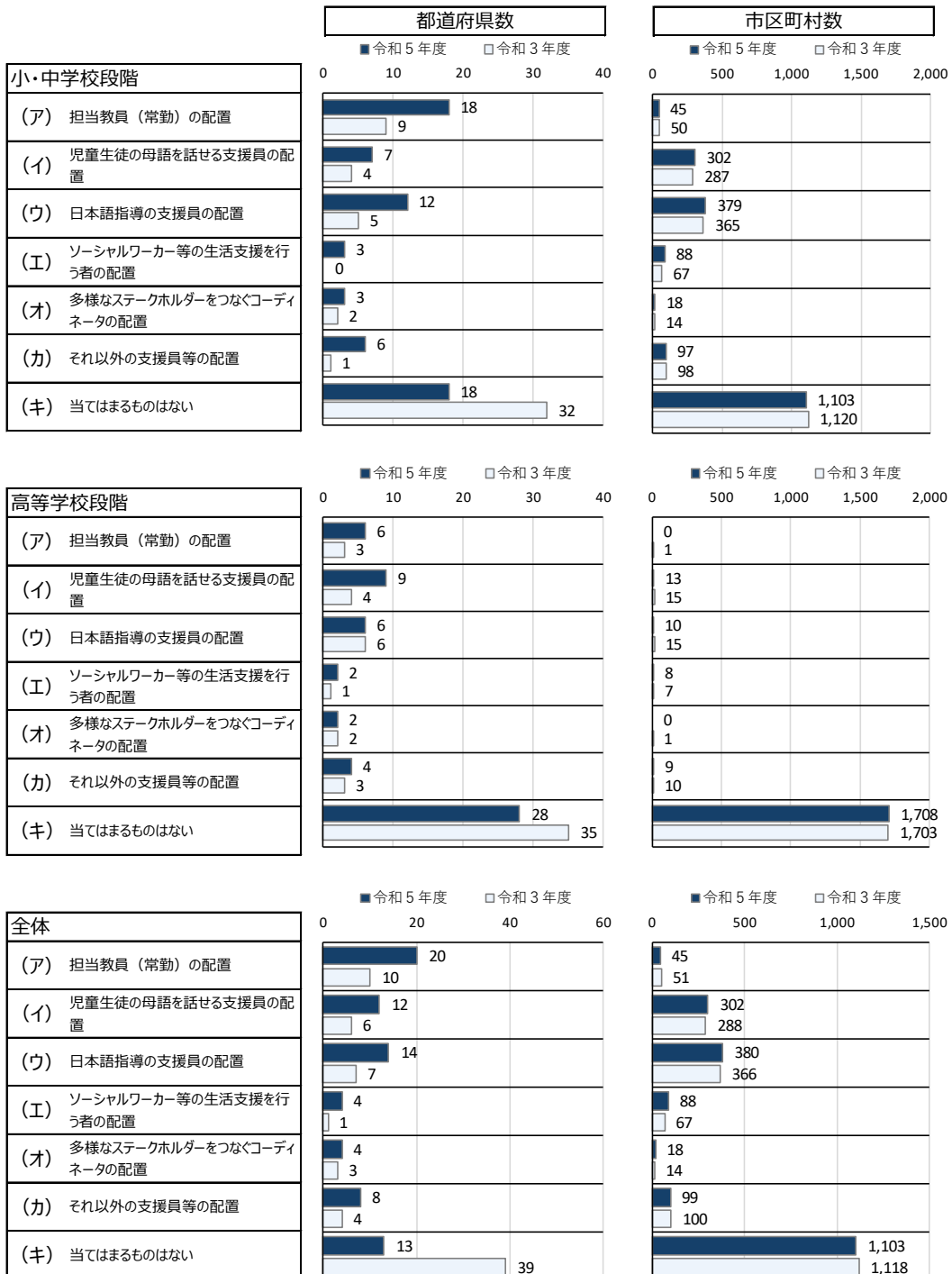
等

2.7.10 日本語指導が必要な児童生徒に対する施策の実施状況別地方公共団体数

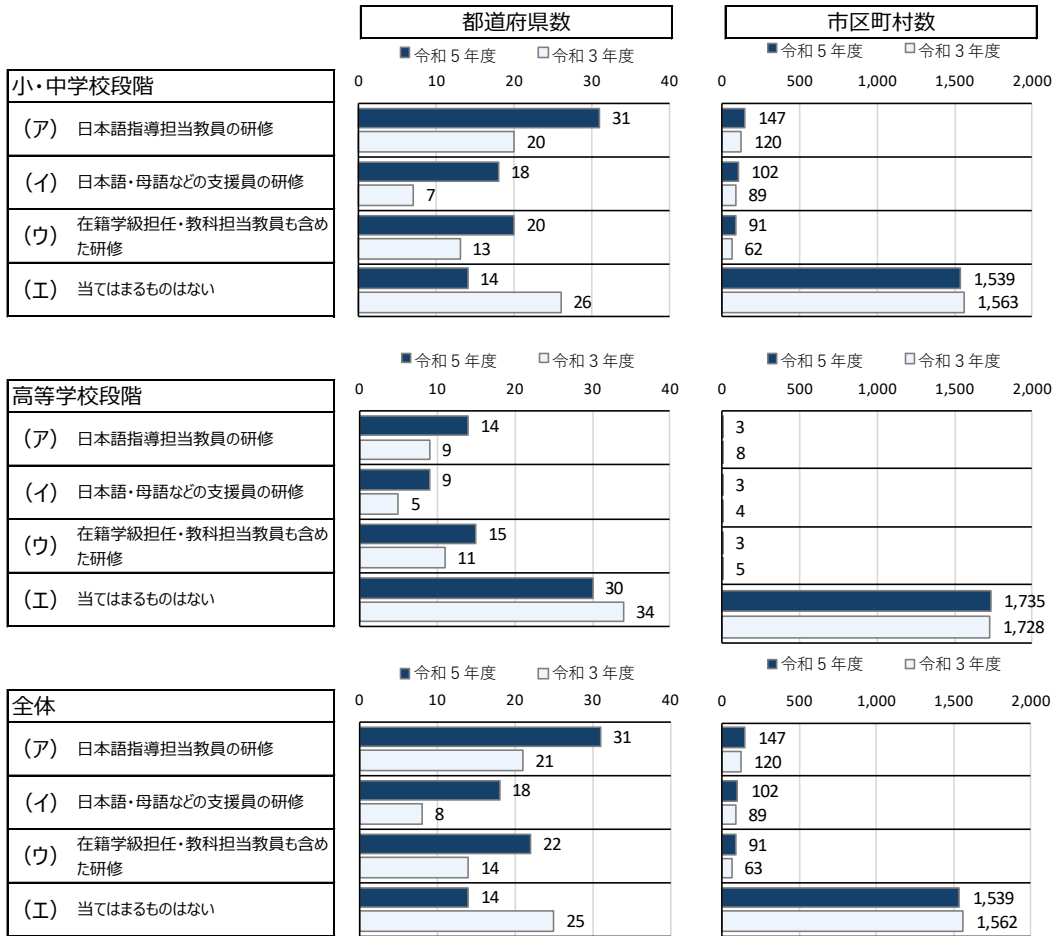
外国人児童生徒等の施策に関して、令和4年度中に実施された施策で、貴教育委員会が独自に予算措置を行っているものについて、各学校段階別に全て選択してください。

(※) 各教育委員会が国（市区町村については国および都道府県）からの補助金・委託費等を受けずに、独自に予算措置を行っているものに限りします。

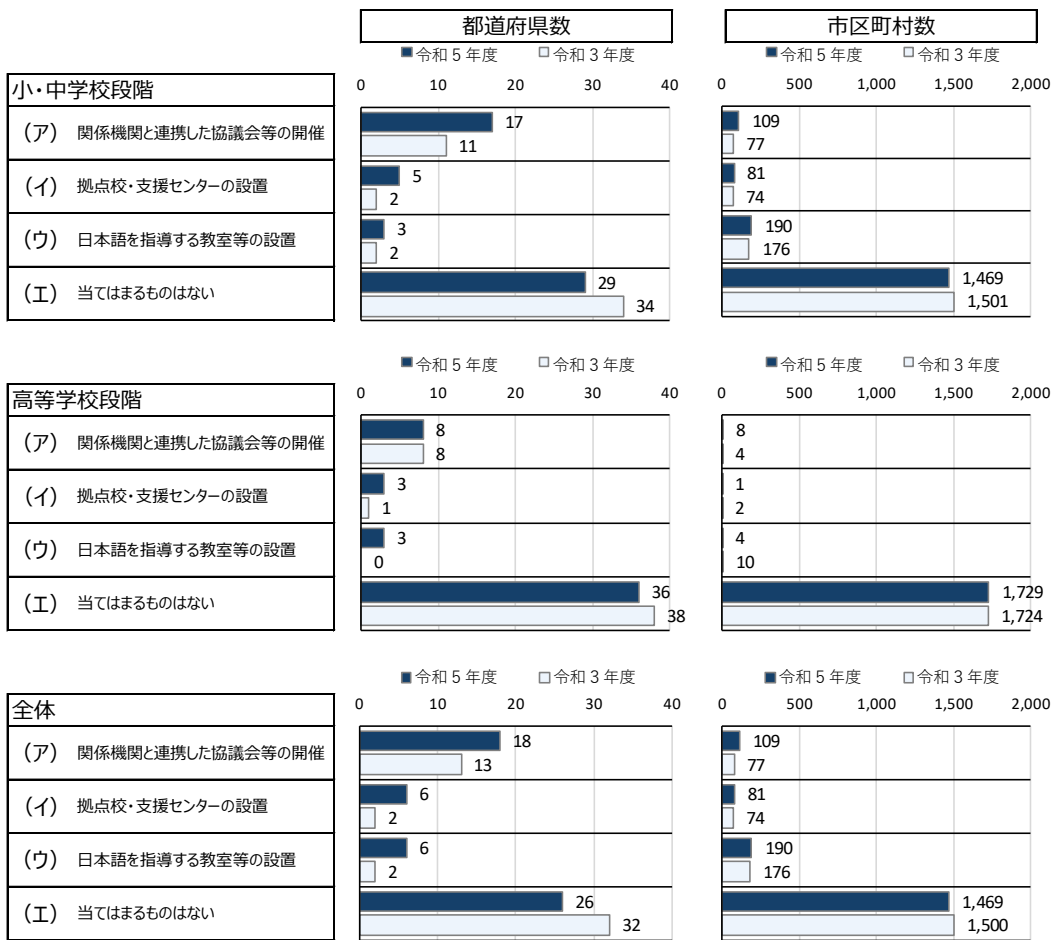
(1) 人材配置



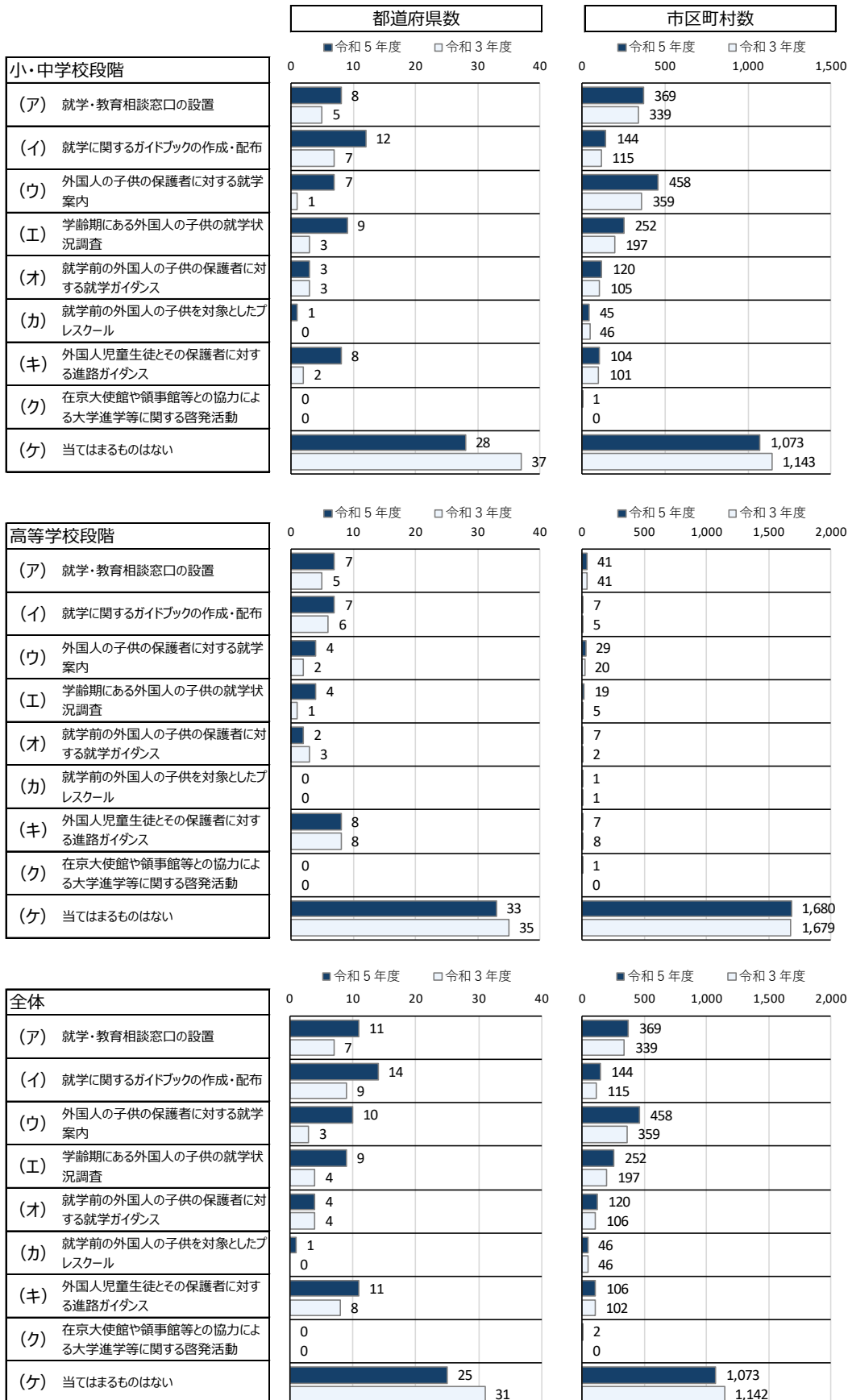
(2) 研修



(3) 受入体制



(4) 情報提供



2.8 その他

2.8.1 前年度より充実した取組・今後の予定、困っていることや要望等

前年度（令和4年度）より充実した取組や今後充実を図る予定、そのほか、困っていることや要望等、自由に記載してください。

一部回答抜粋：

● 人材不足

- 多言語かつ少数散在化のため母語支援員の確保が困難。
- 人材確保が難しいことから、対象となる児童生徒の受け入れが必要となった場合に、速やかに日本語指導の指導者を派遣いただく制度を望む。

● 予算不足

- 自治体独自では人的配置等の予算確保が難しい。
- 外国からの転入してくる児童生徒は事前の連絡なしに転入してくるため、日本語指導の計画や予算の確保が困難である。

● 言語対応の困難

- 様々な国籍の児童生徒がいることにより、言語も多種多様であるため、日本語指導が難しい。
- 日本に話者の少ない言語を母国語とする児童生徒が増えており、日本語と母国語の通訳の確保が難しいため、人材バンクのようなものを設置していただきたい。
- 保護者の使用する言語を使って就学に関する十分な説明ができず、学校教育への理解や学校との合意形成が不十分なまま児童生徒が学校生活を始めてしまうケースがある。

● 他団体との連携

- 関係機関との連携強化に向けた協議会を設置した。
- 近隣の大学と連携し、通訳支援員の配置を行うことができた。
- 国際交流協会と連携した日本語支援員派遣の充実を図っていきたい。

● ICTの活用

- オンライン会議システム（zoom等）を活用した、日本語指導教室間・外国籍等児童生徒同士の交流会の実施。

● 情報提供

- 先進的な取組を行っている市町村や学校、研修会等の情報を一元的に管理して、提供していただきたい。
- 日本語が全くできない子どもが各学校へ行く前にどのようなトレーニングをしたらよいのか。また、そのようなことをやって頂ける機関や組織がありましたら教えて頂きたい。
- 日本語指導が必要な児童生徒の受け入れが必要となった場合にやるべき事柄の参考資料や事務フローを提供いただけるとありがたい。

等

参考資料

令和5年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査
調査票

設問No	設問タイプ	ロジック	設問/項目/選択肢																																																																																																																																																																																																																																							
基本情報																																																																																																																																																																																																																																										
BQ1	SA	全員	都道府県・市区町村を選択してください。																																																																																																																																																																																																																																							
			① 都道府県：	プルダウンリストから選択してください。																																																																																																																																																																																																																																						
			② 市区町村：	プルダウンリストから選択してください。																																																																																																																																																																																																																																						
改ページ																																																																																																																																																																																																																																										
BQ2	FA	全員	以下の内容を入力してください。																																																																																																																																																																																																																																							
			① 教育委員会名：	黄色いセルを入力してください。																																																																																																																																																																																																																																						
			② 担当部署：	黄色いセルを入力してください。																																																																																																																																																																																																																																						
			③ 担当者：	黄色いセルを入力してください。																																																																																																																																																																																																																																						
			④ 連絡先（電話）：	黄色いセルを入力してください。																																																																																																																																																																																																																																						
			⑤ 連絡先（電子メール）：	黄色いセルを入力してください。																																																																																																																																																																																																																																						
改ページ																																																																																																																																																																																																																																										
			<p>【留意事項】</p> <p>○本調査において「日本語指導が必要な児童生徒」とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語で日常会話が十分に出来ない児童生徒 ・日常会話が出来ても、学年相当の学習言語が不足し、学習活動への参加に支障が生じている児童生徒を指す。 <p>○本調査において「外国籍」の児童生徒とは、地方公共団体が所管する学校に在籍している外国籍を持つ児童生徒とする。日本国籍との二重国籍者は「日本国籍」として扱う。</p> <p>○本調査で報告いただく児童生徒数のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒数は、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（昭和33年法律第116号）（いわゆる「義務標準法」）第7条第1項第6号及び第11条第1項第5号の規定に基づく「日本語を理解し、使用する能力に応じた特別の指導」に係る基礎定数の対象となる児童生徒数と原則一致する必要がある。</p> <p>回答に当たって担当課と義務教育諸学校教職員定数担当課の双方で確認の上、数値に不整合がないよう報告されたい。</p>																																																																																																																																																																																																																																							
改ページ																																																																																																																																																																																																																																										
第1章 日本語指導が必要な児童生徒の在籍状況																																																																																																																																																																																																																																										
第1節 日本語指導が必要な児童生徒の国籍別在籍人数																																																																																																																																																																																																																																										
BQ3	数値入力	全員	貴教育委員会が所管する公立学校に在籍する児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童生徒が在籍していれば、学校種別ごとに「外国籍」「日本国籍」別の人数を回答してください。																																																																																																																																																																																																																																							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th rowspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">うち特別支援学級</th> <th rowspan="2">うち特別支援学級</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th rowspan="2">全日制</th> <th rowspan="2">定時制</th> <th rowspan="2">通信制</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th rowspan="2">うち特別支援学級</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 「外国籍」の児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(イ) 「日本国籍」の児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>黄色いセルを入力してください。</p>			小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	うち特別支援学級	うち特別支援学級	うち特別支援学級	うち特別支援学級	小学部	中学部	高等部	(ア) 「外国籍」の児童生徒																			(イ) 「日本国籍」の児童生徒																			合計																		(人)																																																																																																																																					
	小学校		中学校			高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																																										
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制		定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部		中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																																							
					うち特別支援学級				うち特別支援学級	うち特別支援学級		うち特別支援学級	小学部		中学部		高等部																																																																																																																																																																																																																									
(ア) 「外国籍」の児童生徒																																																																																																																																																																																																																																										
(イ) 「日本国籍」の児童生徒																																																																																																																																																																																																																																										
合計																		(人)																																																																																																																																																																																																																								
改ページ																																																																																																																																																																																																																																										
第2節 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍状況																																																																																																																																																																																																																																										
BQ4-1	数値入力	BQ3(ア)が1人以上	BQ3(ア)で1人でも在籍がある場合、日本語指導が必要な児童生徒のうち、「外国籍」の児童生徒について、学校種別ごとに言語別(※)の人数を回答してください。 (※)言語別：「家庭及び日常生活において、比較的使用頻度の高い言語別」																																																																																																																																																																																																																																							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th rowspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">うち特別支援学級</th> <th rowspan="2">うち特別支援学級</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th rowspan="2">全日制</th> <th rowspan="2">定時制</th> <th rowspan="2">通信制</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th rowspan="2">うち特別支援学級</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 日本語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(イ) 英語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ウ) 韓国・朝鮮語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(エ) スペイン語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(オ) 中国語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(カ) フィリピン語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(キ) ベトナム語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ク) ポルトガル語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ケ) その他</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>黄色いセルを入力してください。</p>			小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	うち特別支援学級	うち特別支援学級	うち特別支援学級	うち特別支援学級	小学部	中学部	高等部	(ア) 日本語																			(イ) 英語																			(ウ) 韓国・朝鮮語																			(エ) スペイン語																			(オ) 中国語																			(カ) フィリピン語																			(キ) ベトナム語																			(ク) ポルトガル語																			(ケ) その他																			合計																		(人)
	小学校		中学校			高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																																										
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制		定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部		中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																																							
					うち特別支援学級				うち特別支援学級	うち特別支援学級		うち特別支援学級	小学部		中学部		高等部																																																																																																																																																																																																																									
(ア) 日本語																																																																																																																																																																																																																																										
(イ) 英語																																																																																																																																																																																																																																										
(ウ) 韓国・朝鮮語																																																																																																																																																																																																																																										
(エ) スペイン語																																																																																																																																																																																																																																										
(オ) 中国語																																																																																																																																																																																																																																										
(カ) フィリピン語																																																																																																																																																																																																																																										
(キ) ベトナム語																																																																																																																																																																																																																																										
(ク) ポルトガル語																																																																																																																																																																																																																																										
(ケ) その他																																																																																																																																																																																																																																										
合計																		(人)																																																																																																																																																																																																																								
BQ4-2	FA	BQ4-1(ケ)が1人以上	「(ケ) その他」にカウントした言語を下記の枠に記入願います。																																																																																																																																																																																																																																							
			自由記述：																																																																																																																																																																																																																																							
改ページ																																																																																																																																																																																																																																										

BQ5	数値入力	BQ3(ア)が 1人以上	BQ3(ア)で1人でも在籍がある場合、日本語指導が必要な児童生徒のうち、「外国籍」の児童生徒について、学校種別ごとに在籍人数別学校数を回答してください。															
			小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	
			うち 特別 支援 学級	うち 特別 支援 学級	(計)	全 日 制	定 時 制	通 信 制	(計)	前期課程 うち 特別 支援 学級	後期課程 うち 特別 支援 学級	(計)	前期課程 うち 特別 支援 学級	後期課程	(計)	小 学 部	中 学 部	高 等 部
(ア) 1人																		
(イ) 2人																		
(ウ) 3人																		
(エ) 4人																		
(オ) 5人以上10人未満																		
(カ) 10人以上20人未満																		
(キ) 20人以上30人未満																		
(ク) 30人以上50人未満																		
(ケ) 50人以上100人未満																		
(コ) 100人以上200人未満																		
(サ) 200人以上																		
合計			黄色いセルを入力してください。														(校)	

改ページ

第3節 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の在籍状況																		
BQ6-1	数値入力	BQ3(イ)が 1人以上	BQ3(イ)で1人でも在籍がある場合、日本語指導が必要な児童生徒のうち、「日本国籍」の児童生徒について、学校種別ごとに言語別(※)の人数を回答してください。 (※)言語別:「家庭及び日常生活において、比較的使用頻度の高い言語別」															
			小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	
			うち 特別 支援 学級	うち 特別 支援 学級	(計)	全 日 制	定 時 制	通 信 制	(計)	前期課程 うち 特別 支援 学級	後期課程 うち 特別 支援 学級	(計)	前期課程 うち 特別 支援 学級	後期課程	(計)	小 学 部	中 学 部	高 等 部
(ア) 日本語																		
(イ) 英語																		
(ウ) 韓国・朝鮮語																		
(エ) スペイン語																		
(オ) 中国語																		
(カ) フィリピン語																		
(キ) ベトナム語																		
(ク) ポルトガル語																		
(ケ) その他																		
合計			黄色いセルを入力してください。														(人)	

BQ6-2	FA	BQ6-1(ケ)が 1人以上	「(ケ) その他」にカウントした言語を下記の枠に記入願います。													
自由記述:																

改ページ

BQ7	数値入力	BQ3(イ)が 1人以上	BQ3(イ)で1人でも在籍がある場合、日本語指導が必要な児童生徒のうち、「日本国籍」の児童生徒について、学校種別ごとに在籍人数別学校数を回答してください。															
			小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	
			うち 特別 支援 学級	うち 特別 支援 学級	(計)	全 日 制	定 時 制	通 信 制	(計)	前期課程 うち 特別 支援 学級	後期課程 うち 特別 支援 学級	(計)	前期課程 うち 特別 支援 学級	後期課程	(計)	小 学 部	中 学 部	高 等 部
(ア) 1人																		
(イ) 2人																		
(ウ) 3人																		
(エ) 4人																		
(オ) 5人以上10人未満																		
(カ) 10人以上20人未満																		
(キ) 20人以上30人未満																		
(ク) 30人以上50人未満																		
(ケ) 50人以上100人未満																		
(コ) 100人以上200人未満																		
(サ) 200人以上																		
合計			黄色いセルを入力してください。														(校)	

改ページ

第2章 日本語指導が必要な児童生徒等の判断基準等																																																																																																																																																														
第1節 日本語指導が必要な児童生徒の判断基準																																																																																																																																																														
BQ8-1	数値入力	BQ3が1人以上	<p>貴教育委員会が所管する公立学校において、日本語指導が必要な児童生徒の判断をどのような基準で行っているのかについて、該当する全ての項目毎に学校数を記入してください。</p> <p>(※) 例えば、ある学校における判断基準として(ア)と(イ)の両方を採用している場合は、(ア)と(イ)の両方に計上してください。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center; font-size:small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="3">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(イ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(ウ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(エ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(オ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(カ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:center; font-size:small;">(※) JSL評価参照枠等、客観的な言語測定基準で判定されていれば(ア)に該当</p>		小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	うち特別支援学級	後期課程	(計)	うち特別支援学級	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア)																				(イ)																				(ウ)																				(エ)																				(オ)																				(カ)																			
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																														
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	うち特別支援学級	後期課程	(計)	うち特別支援学級	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																												
(ア)																																																																																																																																																														
(イ)																																																																																																																																																														
(ウ)																																																																																																																																																														
(エ)																																																																																																																																																														
(オ)																																																																																																																																																														
(カ)																																																																																																																																																														
BQ8-2	FA	BQ8-1(エ)が1枚以上	<p>「(エ) その他」が1枚以上ある場合の具体的な内容</p> <p>自由記述:</p>																																																																																																																																																											
改ページ																																																																																																																																																														
BQ9	FA	BQ8-1(ア)が1枚以上	<p>BQ8-1で(ア)と回答した場合、具体的な日本語能力測定方法の名称を記入してください。</p> <p>自由記述:</p>																																																																																																																																																											
改ページ																																																																																																																																																														
第2節 日本語指導が必要かつ特別支援教育の対象となる児童生徒の判断																																																																																																																																																														
BQ10	SA	BQ3(特別支援学級)が1人以上	<p>貴教育委員会が所管する公立小学校、中学校、義務教育学校及び中等教育学校(前期課程)において、特別支援学級に在籍している日本語指導が必要な児童生徒がいる場合のみお答えください。</p> <p>貴教育委員会において、日本語指導が必要な児童生徒の、特別支援学級への就学を決定する際、本人の教育的ニーズ、本人・保護者の意見のみならず、本人の障害の状態や教育学、医学、心理学等専門的見地からの意見等に基づいて判断を行っていますか。</p> <p>次の選択肢の中から該当するものを1つ選択してください。</p> <p>(参考) 障害のある子供の教育支援の手引(令和3年6月30日) 第2編第3章5(6)(p33~34)</p> <p>(6) 障害のある外国人の子供について</p> <p>障害のある外国人の子供については、「外国人の子供の就学の促進及び就学状況等の把握等について(通知)」(平成31年3月15日付け30文科教第582号文部科学省総合教育政策局長、文部科学省初等中等教育局長)を踏まえることが必要である。具体的には、障害のある外国人の子供の就学先の決定に当たっては、教育委員会において、日本国籍を有する子供と同様に、本手引及び「障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について(通知)」(平成25年10月4日付け25文科初第756号文部科学省初等中等教育局長)等を参考としながら、障害のある外国人の子供一人一人の障害の状態等や教育的ニーズ、本人及び保護者の意見、教育学、医学、心理学等専門的見地からの意見、学校や地域状況等を踏まえた総合的な観点から判断すること等が必要である。</p> <p>その際、言語、教育制度や文化的背景が異なることに留意し、本人及び保護者に丁寧に説明し、十分な理解を得ることが必要である。</p> <p>また、外国籍か日本国籍であるかを問わず、就学時に決定した学校や学びの場は、固定したのではなく、それぞれの子供の発達程度、適応の状況等を勘案しながら、柔軟に変更できるようにすることが適当である。</p> <p>なお、障害のない外国人の子供については、必要に応じ、日本語指導のための「特別的教育課程」の編成・実施等により受入れ体制を整える必要がある。この「特別的教育課程」とは、外国人の子供等が学校生活を送る上や教科等の授業を理解する上で必要な日本語の指導を、通常の学級の教育課程の一部の時間に替えて、通常の学級以外の教室で行う教育の形態であり、学校教育法施行規則第56条の2、第79条、第108条及び第132条の3に基づき行われるものである。外国人の子供に障害がないにも関わらず、日本語指導が必要であることをもって、特別支援学級や通級による指導の対象とすることは不適切である。</p> <p>(ア) 全ての児童生徒について本人の障害の状態や専門的見地からの意見等に基づいて判断を行っている</p> <p>(イ) 一部の児童生徒について本人の障害の状態や専門的見地からの意見等に基づいて判断を行っている</p> <p>(ウ) 本人の障害の状態や専門的見地からの意見等に基づいて判断を行っていない</p>																																																																																																																																																											
BQ11	MA	BQ3(特別支援学級)が1人以上	<p>貴教育委員会が日本語指導を必要とする児童生徒が特別支援学級で教育を受けることを決定する際、日本語でのコミュニケーション能力について判断を行うに当たって実施したことについて、該当するものを全て選択してください。</p> <p>(ア) D L A等の客観的な日本語能力測定方法に基づいて判断している</p> <p>(イ) 日常生活及び学校生活や学習の様子等により判断している</p> <p>(ウ) 児童生徒の来日してからの期間に基づいて判断している</p> <p>(エ) 家庭での日本語の使用頻度を考慮して判断している</p> <p>(オ) 貴教育委員会が「教育支援委員会」等を開催するに当たり、構成員に日本語教育の面から支援する方法を検討できる関係者を含めている</p> <p>(カ) その他</p> <p>自由記述:</p>																																																																																																																																																											
BQ12	MA	BQ3(特別支援学級)が1人以上	<p>日本語指導を必要とする児童生徒が特別支援学級で教育を受けることが適当か否かを判断するに当たっての知能検査等の実施に際して貴教育委員会が工夫したことについて、該当するものを全て選択してください。</p> <p>(ア) 知能検査等の際に通訳を手配する(保護者等による通訳を含む)</p> <p>(イ) ペーパーテストを行う際には、漢字にルビを振ったり、児童生徒の母語の翻訳をつけたりする</p> <p>(ウ) 知能検査等の際に日本特有の質問(日本の歴史等)を行わないよう留意する</p> <p>(エ) やさしい日本語を使用するなどの配慮を行った</p> <p>(オ) 非言語による検査を行った</p> <p>(カ) その他</p> <p>自由記述:</p>																																																																																																																																																											
改ページ																																																																																																																																																														

BQ13	MA	BQ3(特別支援学級)が1人以上	日本語指導を必要とする児童生徒が特別支援学級で教育を受けることについての保護者との合意形成に関し、貴教育委員会が行ったことについて、該当するものを全て選択してください。
			(ア) 保護者への伝達に際しては文書で行うとともに、保護者が理解できる言語で翻訳を付した
			(イ) 保護者との面談の際には通訳を介したり、英語などの共通語を用いたりするなどして、相互に十分な理解を図るようにした
			(ウ) 学校と保護者とのやりとりの中で十分な説明が行われていることを確認した(通訳からヒアリングを行うなど)
			(エ) 保護者が特別支援学級での学習に同意しない場合、その理由について通訳を介して十分に聞き取るとともに、保護者が求める支援策に対応できるよう検討を行った(検討を行った結果として保護者が求める支援策に対応できない場合、その事情を保護者に対して説明した。)
			(オ) その他
	FA		その他の具体的な内容:

改ページ

第3章 日本語指導の状況等

第1節 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒への日本語指導の状況等

BQ14	数値入力	BQ3(ア)が1人以上	貴教育委員会が所管する公立学校に在籍する児童生徒のうち、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒について、学校種別ごとに受けている日本語指導の状況等に該当する人数及び学校数を回答してください。 (※) 例えばある児童の指導の状況等が(イ)、(ウ)及び(オ)に該当する場合は、(イ)、(ウ)及び(オ)にそれぞれ計上してください。 同様に、ある学校における指導の状況等が(イ)、(ウ)及び(オ)に該当する場合は、(イ)、(ウ)及び(オ)にそれぞれ計上してください。
------	------	-------------	---

			<人数>														合計									
			小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校											
			うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	前期課程	うち特別支援学級	後期課程		(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級				
(ア)		日本語指導が必要な外国籍の児童生徒																								
(イ)		(ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)																								
(ウ)		(イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒																								
(エ)		(ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「一時的に」下学年に受け入れている児童生徒(※)																								
(オ)		(ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「正式に」下学年に受け入れている児童生徒(※)																								
(カ)		(ア)のうち、学齢を超過してから受け入れた児童生徒																								

黄色いセルを入力してください。

(人)

			<学校数>														合計									
			小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校											
			うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	前期課程	うち特別支援学級	後期課程		(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級				
(ア)		日本語指導が必要な外国籍の児童生徒																								
(イ)		(ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)																								
(ウ)		(イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒																								
(エ)		(ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「一時的に」下学年に受け入れている児童生徒(※)																								
(オ)		(ア)のうち、日本語指導の必要により、年齢相当の学年より「正式に」下学年に受け入れている児童生徒(※)																								
(カ)		(ア)のうち、学齢を超過してから受け入れた児童生徒																								

黄色いセルを入力してください。

(校)

(※) (イ)は、在籍学級や放課後を含む、学校で何らかの日本語指導等が行われていれば該当する。

(※) (エ) (オ)は、学年の変更を伴うものであり、小・中学校等において行われる「交流及び共同学習の機会」などは含まない。

改ページ

BQ15	数値入力	BQ3(ア)が1人以上	日本語指導が必要な外国籍の児童生徒のうち、日本語指導等に係る個別の指導計画（「児童生徒理解・支援シート」等を含む。）を作成している児童生徒について、学校種別及び受けている指導の状況別に人数を回答してください。 (※) 本設問では、調査時点において学校で日本語指導等が行われていない場合であっても、日本語指導等に係る個別の指導計画が作成されていれば全て計上する。 (※) 例えば、ある児童の指導の状況等(ア)に加え(イ)にも該当する場合は、(ア)と(イ)の両方に計上してください。																																																																																										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">黄色いセルを入力してください。</p> <p>(人)</p> <p>(※) (イ)は、在籍学級や放課後を含む、学校で何らかの日本語指導等が行われていれば該当する。</p>		小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒																			(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)																			(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒																		
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																														
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																												
(ア) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒																																																																																													
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)																																																																																													
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒																																																																																													

改ページ

第2節 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒への日本語指導の状況等																																																																																																																																																																																																																													
BQ16	数値入力	BQ3(イ)が1人以上	<p>貴教育委員会が所管する公立学校に在籍する児童生徒のうち、日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒について、学校種別ごとに受けている日本語指導の状況等に該当する人数及び学校数を回答してください。</p> <p>(※) 例えばある児童の指導の状況等(イ)、(ウ)及び(エ)に該当する場合は、(イ)、(ウ)及び(エ)にそれぞれ計上してください。</p> <p>同様に、ある学校における指導の状況等(イ)、(ウ)及び(エ)に該当する場合は、(イ)、(ウ)及び(エ)にそれぞれ計上してください。</p>																																																																																																																																																																																																																										
			<p><人数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">黄色いセルを入力してください。</p> <p>(人)</p> <p><学校数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">黄色いセルを入力してください。</p> <p>(校)</p> <p>(※) (イ)は、在籍学級や放課後を含む、学校で何らかの日本語指導等が行われていれば該当する。</p>		小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒																			(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)																			(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒																			(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒																				小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒																			(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)																			(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒																			(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒																		
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																														
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																												
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒																																																																																																																																																																																																																													
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)																																																																																																																																																																																																																													
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒																																																																																																																																																																																																																													
(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒																																																																																																																																																																																																																													
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																														
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																												
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒																																																																																																																																																																																																																													
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)																																																																																																																																																																																																																													
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒																																																																																																																																																																																																																													
(エ) (ア)のうち、海外から帰国した児童生徒																																																																																																																																																																																																																													

改ページ

BQ17	数値入力	BQ3(イ)が1人以上	<p>日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒のうち、日本語指導等に係る個別の指導計画（「児童生徒理解・支援シート」等を含む。）を作成している児童生徒について、学校種別及び受けている指導の状況別に人数を回答してください。</p> <p>(※) 本設問では、調査時点において学校で日本語指導等が行われていない場合であっても、日本語指導等に係る個別の指導計画が作成されていれば全て計上する。</p> <p>(※) 例えば、ある児童の指導の状況等(ア)に加え(イ)にも該当する場合は、(ア)と(イ)の両方に計上してください。</p>																																																																																										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">黄色いセルを入力してください。</p> <p>(人)</p> <p>(※) (イ)は、在籍学級や放課後を含む、学校で何らかの日本語指導等が行われていれば該当する。</p>		小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒																			(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)																			(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒																		
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																														
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																												
(ア) 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒																																																																																													
(イ) (ア)のうち、学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒(※)																																																																																													
(ウ) (イ)のうち、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒																																																																																													

改ページ

第4節 日本語指導において「特別的教育課程」を行っていない理由																			
BQ19-1	数値入力	BQ14(ア) > BQ14(ウ) OR BQ16(ア) > BQ16(ウ)	貴教育委員会が所管する公立学校において、日本語指導における「特別的教育課程」による指導を実施していない場合、その理由について、学校種別ごとに該当する全ての項目の学校数を記入してください。																
			小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計		
			うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級
(ア)																			
(イ)																			
(ウ)																			
(エ)																			
(オ)																			
(カ)																			
(キ)																			
黄色いセルを入力してください。(校)																			
BQ19-2	FA	BQ19-1(キ)が1校以上	「(キ) その他」が1校以上ある場合の具体的な内容																
			自由記述:																
改ページ																			
第4章 日本語指導における「特別的教育課程」の実施状況																			
第1節 日本語指導における「特別的教育課程」の指導時間別児童生徒数																			
BQ20	数値入力	BQ14(ウ) または BQ16(ウ) の児童生徒が1人以上	日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒が1人でもいる場合、貴教育委員会が所管する公立学校において、令和5年度に計画している日本語指導における「特別的教育課程」の指導時間別児童生徒数を学校種別ごとに記入してください。 (※) 令和5年5月1日時点で貴教育委員会に届出されている「特別的教育課程」の編成・実施計画に基づき回答してください。 (当該計画に記載されている指導時間別に人数を記入してください。) (※) 令和5年度間を通じて、児童生徒の日本語能力の伸びに応じて指導時間を変動させることを当初から想定し、「特別的教育課程」の編成・実施計画に記載されている場合には、「BQ20計算シート」を適宜ご利用いただき、平均的な週当たりの単位時間を求めて回答してください。																
			小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計		
			うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級
(ア)																			
(イ)																			
(ウ)																			
(エ)																			
(オ)																			
(カ)																			
(キ)																			
(ク)																			
(ケ)																			
(コ)																			
(サ)																			
(シ)																			
(ス)																			
			合計																
黄色いセルを入力してください。(人)																			
改ページ																			

第2節 日本語指導における「特別的教育課程」の実施に当たっての代替対象教科等の状況

BQ21	数値入力	BQ14(ウ) または BQ16(ウ) の学校数が1校以上	日本語指導における「特別的教育課程」による指導を受けている児童生徒が在籍する学校が1校でもある場合、貴教育委員会が所管する公立学校において、日本語指導における「特別的教育課程」を特定の教科等に替えて実施している学校数及び特定の教科等と替えることとしていない学校数について、令和5年度の計画に基づき、学校種別ごとに回答してください。																	
			小学校	中学校	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計					
			うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	
			(ア)																	
			(イ)																	
			黄色いセルを入力してください。(校)																	
			(※) (イ)は学校や指導者の都合によって、日本語の「取り出し指導」を行う曜日・時間がその都度変わり、特定の教科等の時間に取り出しを行っていない場合に選択してください。																	
			(※) 学年によって対応が異なる学校は、(ア)に計上してください。																	

改ページ

BQ22	数値入力	BQ21(ア)が1校以上	日本語指導を特定の教科等に替えて実施している学校について、学校種別及び該当する全ての教科等ごとに学校数を回答してください。 (※) 例えばある学校で国語と社会の時間に「取り出し指導」を毎回実施している場合は、国語と社会の両方に計上してください。																	
			小学校	中学校	高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計					
			うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	
			(ア)																	
			(イ)																	
			(ウ)																	
			(エ)																	
			(オ)																	
			(カ)																	
			(キ)																	
			(ク)																	
			(ケ)																	
			(コ)																	
			(サ)																	
			(シ)																	
			(ス)																	
			(セ)																	
			(ソ)																	
			(タ)																	
			(チ)																	
			(ツ)																	
			(テ)																	
			(ト)																	
			(ナ)																	
			(ニ)																	
			(ハ)																	
			(ネ)																	
			黄色いセルを入力してください。(校)																	

改ページ

第5章 日本語指導の内容																																																																																																																																																																																																																																																																																							
BQ23-1	数値入力	BQ14(イ) または BQ16(イ) の学校数が1校以上	<p>貴教育委員会が所管する公立学校において、日本語指導が必要な児童生徒を対象に行っている指導内容について、学校種別ごとに該当する全ての項目に学校数を記入してください。</p> <p>(※) 指導内容の詳細については、 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部、中学部）については、 文部科学省「外国人児童生徒の受入れの手引（改訂版）」（2019年3月）p.27（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/1304668.htm） 高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）については、 「高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン」（2023年3月）p22~p25 （https://www2.u-gakugei.ac.jp/~knhongo/feature/upload/koko_nihongo_guideline.pdf）</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="3">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 【小・中学校】 サバイバル日本語</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(イ) 【小・中学校】 日本語基礎</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(ウ) 【小・中学校】 技能別日本語</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(エ) 【小・中学校】 日本語と教科の統合学習</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(オ) 【小・中学校】 教科の補習</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(カ) 【小・中学校】 その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(キ) 【高等学校】 生活のための日本語</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(ク) 【高等学校】 日本語基礎</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(ケ) 【高等学校】 技能別日本語</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(コ) 【高等学校】 日本語プロジェクト</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(サ) 【高等学校】 その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">黄色いセルを入力してください。 (校)</p> <p>※(ア)～(オ)、(キ)～(コ)の具体的な内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">【小・中学校】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア)</td> <td>「サバイバル日本語」</td> <td>挨拶や体調を伝える言葉、教科名や身の回りの物の名前などを知って使えるようにする</td> </tr> <tr> <td>(イ)</td> <td>「日本語基礎」</td> <td>文字・表記・語彙・文法、学校への適応や教科学習に参加するための基礎的な力をつける</td> </tr> <tr> <td>(ウ)</td> <td>「技能別日本語」</td> <td>「聞く」「話す」「読む」「書く」の言葉の4つの技能のうち、どれか一つに焦点を絞った学習</td> </tr> <tr> <td>(エ)</td> <td>「日本語と教科の統合学習」</td> <td>JSLカリキュラム</td> </tr> <tr> <td>(オ)</td> <td>「教科の補習」</td> <td>在籍学級での学習内容を先行して学習したり、復習したりする</td> </tr> <tr> <th colspan="3">【高等学校】</th> </tr> <tr> <td>(キ)</td> <td>「生活のための日本語」</td> <td>日本での学校・社会生活を送れるようにするために必要な日本語の語彙・表現を学ぶプログラム</td> </tr> <tr> <td>(ク)</td> <td>「日本語基礎」</td> <td>日本語の基礎的な構造・意味・機能を理解し、生活場面や学習場面で運用できるようになるプログラム</td> </tr> <tr> <td>(ケ)</td> <td>「技能別日本語」</td> <td>「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の力を高めるプログラム</td> </tr> <tr> <td>(コ)</td> <td>「日本語プロジェクト」</td> <td>課題解決活動（プロジェクト）を通して、思考判断表現する力を高めるプログラム</td> </tr> </tbody> </table>		小学校		中学校			高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	うち特別支援学級	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 【小・中学校】 サバイバル日本語																			(イ) 【小・中学校】 日本語基礎																			(ウ) 【小・中学校】 技能別日本語																			(エ) 【小・中学校】 日本語と教科の統合学習																			(オ) 【小・中学校】 教科の補習																			(カ) 【小・中学校】 その他																			(キ) 【高等学校】 生活のための日本語																			(ク) 【高等学校】 日本語基礎																			(ケ) 【高等学校】 技能別日本語																			(コ) 【高等学校】 日本語プロジェクト																			(サ) 【高等学校】 その他																			【小・中学校】			(ア)	「サバイバル日本語」	挨拶や体調を伝える言葉、教科名や身の回りの物の名前などを知って使えるようにする	(イ)	「日本語基礎」	文字・表記・語彙・文法、学校への適応や教科学習に参加するための基礎的な力をつける	(ウ)	「技能別日本語」	「聞く」「話す」「読む」「書く」の言葉の4つの技能のうち、どれか一つに焦点を絞った学習	(エ)	「日本語と教科の統合学習」	JSLカリキュラム	(オ)	「教科の補習」	在籍学級での学習内容を先行して学習したり、復習したりする	【高等学校】			(キ)	「生活のための日本語」	日本での学校・社会生活を送れるようにするために必要な日本語の語彙・表現を学ぶプログラム	(ク)	「日本語基礎」	日本語の基礎的な構造・意味・機能を理解し、生活場面や学習場面で運用できるようになるプログラム	(ケ)	「技能別日本語」	「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の力を高めるプログラム	(コ)	「日本語プロジェクト」	課題解決活動（プロジェクト）を通して、思考判断表現する力を高めるプログラム
	小学校		中学校			高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																																																																																							
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	うち特別支援学級	後期課程	(計)	小学部	中学部		高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																																																																																					
(ア) 【小・中学校】 サバイバル日本語																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(イ) 【小・中学校】 日本語基礎																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(ウ) 【小・中学校】 技能別日本語																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(エ) 【小・中学校】 日本語と教科の統合学習																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(オ) 【小・中学校】 教科の補習																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(カ) 【小・中学校】 その他																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(キ) 【高等学校】 生活のための日本語																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(ク) 【高等学校】 日本語基礎																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(ケ) 【高等学校】 技能別日本語																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(コ) 【高等学校】 日本語プロジェクト																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(サ) 【高等学校】 その他																																																																																																																																																																																																																																																																																							
【小・中学校】																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(ア)	「サバイバル日本語」	挨拶や体調を伝える言葉、教科名や身の回りの物の名前などを知って使えるようにする																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(イ)	「日本語基礎」	文字・表記・語彙・文法、学校への適応や教科学習に参加するための基礎的な力をつける																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(ウ)	「技能別日本語」	「聞く」「話す」「読む」「書く」の言葉の4つの技能のうち、どれか一つに焦点を絞った学習																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(エ)	「日本語と教科の統合学習」	JSLカリキュラム																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(オ)	「教科の補習」	在籍学級での学習内容を先行して学習したり、復習したりする																																																																																																																																																																																																																																																																																					
【高等学校】																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(キ)	「生活のための日本語」	日本での学校・社会生活を送れるようにするために必要な日本語の語彙・表現を学ぶプログラム																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(ク)	「日本語基礎」	日本語の基礎的な構造・意味・機能を理解し、生活場面や学習場面で運用できるようになるプログラム																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(ケ)	「技能別日本語」	「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の力を高めるプログラム																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(コ)	「日本語プロジェクト」	課題解決活動（プロジェクト）を通して、思考判断表現する力を高めるプログラム																																																																																																																																																																																																																																																																																					
BQ23-2	FA	BQ23-1(カ)が1校以上	「(カ) 【小・中学校】 その他」が1校以上ある場合の具体的な内容																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			自由記述:																																																																																																																																																																																																																																																																																				
BQ23-3	FA	BQ23-1(サ)が1校以上	「(サ) 【高等学校】 その他」が1校以上ある場合の具体的な内容																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			自由記述:																																																																																																																																																																																																																																																																																				
改ページ																																																																																																																																																																																																																																																																																							
第6章 日本語指導が必要な生徒の進路状況																																																																																																																																																																																																																																																																																							
第1節 日本語指導が必要な中学生等の進路状況																																																																																																																																																																																																																																																																																							
BQ24	数値入力	全員	<p>貴教育委員会が所管する公立中学校等において、令和4年度に卒業した日本語指導が必要な中学生等の人数を、学校種別に回答してください。</p> <p>(※) 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校（中学部）が対象。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="3">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">黄色いセルを入力してください。 (人)</p>		小学校		中学校			高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	うち特別支援学級	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																																																																		
	小学校		中学校			高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																																																																																							
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	うち特別支援学級	後期課程	(計)	小学部	中学部		高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																																																																																					

BQ25	数値入力	BQ24が1人以上	上記の卒業者について、進路別の人数を回答してください。																																																																																																																																																																																																																																																																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="3">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 進学等</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(A) 高等学校等への進学</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(B) 専修学校(高等課程)への進学</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(C) 上記以外の教育機関への入学</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(イ) 就職</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(D) 就職(正規の職員・従業員、自営業主等)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(E) 就職(正規の職員でない者、一時的な仕事(アルバイト、パート)に就いた者等)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ウ) その他</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(F) 帰国</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(G) 進学・入学も就職もしておらず帰国もしていない</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(H) 不詳・死亡</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>合計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(人)</td> </tr> </tbody> </table>		小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 進学等																			(A) 高等学校等への進学																			(B) 専修学校(高等課程)への進学																			(C) 上記以外の教育機関への入学																			(イ) 就職																			(D) 就職(正規の職員・従業員、自営業主等)																			(E) 就職(正規の職員でない者、一時的な仕事(アルバイト、パート)に就いた者等)																			(ウ) その他																			(F) 帰国																			(G) 進学・入学も就職もしておらず帰国もしていない																			(H) 不詳・死亡																						合計															(人)
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																																																																									
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																																																																								
(ア) 進学等																																																																																																																																																																																																																																																																									
(A) 高等学校等への進学																																																																																																																																																																																																																																																																									
(B) 専修学校(高等課程)への進学																																																																																																																																																																																																																																																																									
(C) 上記以外の教育機関への入学																																																																																																																																																																																																																																																																									
(イ) 就職																																																																																																																																																																																																																																																																									
(D) 就職(正規の職員・従業員、自営業主等)																																																																																																																																																																																																																																																																									
(E) 就職(正規の職員でない者、一時的な仕事(アルバイト、パート)に就いた者等)																																																																																																																																																																																																																																																																									
(ウ) その他																																																																																																																																																																																																																																																																									
(F) 帰国																																																																																																																																																																																																																																																																									
(G) 進学・入学も就職もしておらず帰国もしていない																																																																																																																																																																																																																																																																									
(H) 不詳・死亡																																																																																																																																																																																																																																																																									
			合計															(人)																																																																																																																																																																																																																																																							
			黄色いセルを入力してください。																																																																																																																																																																																																																																																																						

改ページ

BQ26	数値入力	全員	貴教育委員会が所管する公立高等学校等において、令和4年度末(令和5年3月末現在)の日本語指導が必要な高校生等の総数(人数)を、学校種別に回答してください。 (※) 高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校(高等部)が対象。																																																																								
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="3">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>合計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(人)</td> </tr> </tbody> </table>		小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																							合計															(人)
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計																																																											
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																										
			合計															(人)																																																									
			黄色いセルを入力してください。																																																																								

改ページ

BQ27	数値入力	全員	令和4年度中に高等学校等を修了又は中退した日本語指導が必要な生徒の人数を、学校種別に回答してください。 (注) 高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校(高等部)が対象。																																																																																											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="3">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 令和4年度中の修了者</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(イ) 令和4年度中の中退者</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>合計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(人)</td> </tr> </tbody> </table>		小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 令和4年度中の修了者																			(イ) 令和4年度中の中退者																						合計															(人)
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																														
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																													
(ア) 令和4年度中の修了者																																																																																														
(イ) 令和4年度中の中退者																																																																																														
			合計															(人)																																																																												
			黄色いセルを入力してください。																																																																																											

BQ28	数値入力	BQ27(ア)が1人以上	令和4年度中の修了者について、学校種別、進路別の人数を回答してください。																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="3">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>前期課程</th> <th>後期課程</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 進学等</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(A) 大学進学</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(B) 短期大学進学</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(C) 専修学校(専門課程)進学</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(D) 上記以外の教育機関への進学・入学</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(イ) 就職</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(E) 就職(正規の職員・従業員、自営業主等)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(F) 就職(正規の職員でない者、一時的な仕事(アルバイト、パート)に就いた者等)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ウ) その他</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(G) 帰国</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(H) 進学・入学も就職もしておらず帰国もしていない</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(I) 不詳・死亡</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>合計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(人)</td> </tr> </tbody> </table>		小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 進学等																			(A) 大学進学																			(B) 短期大学進学																			(C) 専修学校(専門課程)進学																			(D) 上記以外の教育機関への進学・入学																			(イ) 就職																			(E) 就職(正規の職員・従業員、自営業主等)																			(F) 就職(正規の職員でない者、一時的な仕事(アルバイト、パート)に就いた者等)																			(ウ) その他																			(G) 帰国																			(H) 進学・入学も就職もしておらず帰国もしていない																			(I) 不詳・死亡																						合計															(人)
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校			中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																																																																																												
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																																																																																											
(ア) 進学等																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(A) 大学進学																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(B) 短期大学進学																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(C) 専修学校(専門課程)進学																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(D) 上記以外の教育機関への進学・入学																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(イ) 就職																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(E) 就職(正規の職員・従業員、自営業主等)																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(F) 就職(正規の職員でない者、一時的な仕事(アルバイト、パート)に就いた者等)																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(ウ) その他																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(G) 帰国																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(H) 進学・入学も就職もしておらず帰国もしていない																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(I) 不詳・死亡																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			合計															(人)																																																																																																																																																																																																																																																																										
			黄色いセルを入力してください。																																																																																																																																																																																																																																																																																									

改ページ

BQ29A-1	数値入力	BQ28(ア)が1人以上	令和4年度中の修了者のうち、進学者等の内訳として言語別の人数を回答してください。 (※)言語別：「家庭及び日常生活において、比較的使用頻度の高い言語別」																																																																																																																																																																																																																															
(A) 大学進学																																																																																																																																																																																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程 うち特別支援学級</th> <th>後期課程 うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>前期課程 うち特別支援学級</th> <th>後期課程 うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(ア) 日本語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(イ) 英語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(ウ) 韓国・朝鮮語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(エ) スペイン語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(オ) 中国語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(カ) フィリピン語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(キ) ベトナム語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(ク) ポルトガル語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(ケ) その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(人)</td></tr> </tbody> </table>					小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 日本語																			(イ) 英語																			(ウ) 韓国・朝鮮語																			(エ) スペイン語																			(オ) 中国語																			(カ) フィリピン語																			(キ) ベトナム語																			(ク) ポルトガル語																			(ケ) その他																			合計																		(人)
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																																			
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																																	
(ア) 日本語																																																																																																																																																																																																																																		
(イ) 英語																																																																																																																																																																																																																																		
(ウ) 韓国・朝鮮語																																																																																																																																																																																																																																		
(エ) スペイン語																																																																																																																																																																																																																																		
(オ) 中国語																																																																																																																																																																																																																																		
(カ) フィリピン語																																																																																																																																																																																																																																		
(キ) ベトナム語																																																																																																																																																																																																																																		
(ク) ポルトガル語																																																																																																																																																																																																																																		
(ケ) その他																																																																																																																																																																																																																																		
合計																		(人)																																																																																																																																																																																																																
黄色いセルを入力してください。																																																																																																																																																																																																																																		
BQ29A-2	FA	BQ29A-1(ケ)が1人以上	「(ケ) その他」にカウントした言語を下記の枠に記入願います。																																																																																																																																																																																																																															
自由記述：																																																																																																																																																																																																																																		
BQ29B-1	数値入力	BQ28(ア)が1人以上	令和4年度中の修了者のうち、進学者等の内訳として言語別の人数を回答してください。 (※)言語別：「家庭及び日常生活において、比較的使用頻度の高い言語別」																																																																																																																																																																																																																															
(B) 短期大学進学																																																																																																																																																																																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程 うち特別支援学級</th> <th>後期課程 うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>前期課程 うち特別支援学級</th> <th>後期課程 うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(ア) 日本語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(イ) 英語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(ウ) 韓国・朝鮮語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(エ) スペイン語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(オ) 中国語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(カ) フィリピン語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(キ) ベトナム語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(ク) ポルトガル語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(ケ) その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(人)</td></tr> </tbody> </table>					小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 日本語																			(イ) 英語																			(ウ) 韓国・朝鮮語																			(エ) スペイン語																			(オ) 中国語																			(カ) フィリピン語																			(キ) ベトナム語																			(ク) ポルトガル語																			(ケ) その他																			合計																		(人)
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																																			
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																																	
(ア) 日本語																																																																																																																																																																																																																																		
(イ) 英語																																																																																																																																																																																																																																		
(ウ) 韓国・朝鮮語																																																																																																																																																																																																																																		
(エ) スペイン語																																																																																																																																																																																																																																		
(オ) 中国語																																																																																																																																																																																																																																		
(カ) フィリピン語																																																																																																																																																																																																																																		
(キ) ベトナム語																																																																																																																																																																																																																																		
(ク) ポルトガル語																																																																																																																																																																																																																																		
(ケ) その他																																																																																																																																																																																																																																		
合計																		(人)																																																																																																																																																																																																																
黄色いセルを入力してください。																																																																																																																																																																																																																																		
BQ29B-2	FA	BQ29B-1(ケ)が1人以上	「(ケ) その他」にカウントした言語を下記の枠に記入願います。																																																																																																																																																																																																																															
自由記述：																																																																																																																																																																																																																																		
BQ29C-1	数値入力	BQ28(ア)が1人以上	令和4年度中の修了者のうち、進学者等の内訳として言語別の人数を回答してください。 (※)言語別：「家庭及び日常生活において、比較的使用頻度の高い言語別」																																																																																																																																																																																																																															
(C) 専修学校（専門課程）進学																																																																																																																																																																																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>うち特別支援学級</th> <th>うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>全日制</th> <th>定時制</th> <th>通信制</th> <th>(計)</th> <th>前期課程 うち特別支援学級</th> <th>後期課程 うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>前期課程 うち特別支援学級</th> <th>後期課程 うち特別支援学級</th> <th>(計)</th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>うち特別支援学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(ア) 日本語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(イ) 英語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(ウ) 韓国・朝鮮語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(エ) スペイン語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(オ) 中国語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(カ) フィリピン語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(キ) ベトナム語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(ク) ポルトガル語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(ケ) その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(人)</td></tr> </tbody> </table>					小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級	(ア) 日本語																			(イ) 英語																			(ウ) 韓国・朝鮮語																			(エ) スペイン語																			(オ) 中国語																			(カ) フィリピン語																			(キ) ベトナム語																			(ク) ポルトガル語																			(ケ) その他																			合計																		(人)
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																																			
	うち特別支援学級	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	前期課程 うち特別支援学級	後期課程 うち特別支援学級	(計)	小学部	中学部	高等部	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																																																	
(ア) 日本語																																																																																																																																																																																																																																		
(イ) 英語																																																																																																																																																																																																																																		
(ウ) 韓国・朝鮮語																																																																																																																																																																																																																																		
(エ) スペイン語																																																																																																																																																																																																																																		
(オ) 中国語																																																																																																																																																																																																																																		
(カ) フィリピン語																																																																																																																																																																																																																																		
(キ) ベトナム語																																																																																																																																																																																																																																		
(ク) ポルトガル語																																																																																																																																																																																																																																		
(ケ) その他																																																																																																																																																																																																																																		
合計																		(人)																																																																																																																																																																																																																
黄色いセルを入力してください。																																																																																																																																																																																																																																		
BQ29C-2	FA	BQ29C-1(ケ)が1人以上	「(ケ) その他」にカウントした言語を下記の枠に記入願います。																																																																																																																																																																																																																															
自由記述：																																																																																																																																																																																																																																		

BQ29D-1	数値入力	BQ28(ア)が1人以上	令和4年度中の修了者のうち、進学者等の内訳として言語別の人数を回答してください。 (※) 言語別：「家庭及び日常生活において、比較的使用頻度の高い言語別」																																																																																																																																																																																																												
(D) 上記以外の教育機関への進学・入学																																																																																																																																																																																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="3">高等学校</th> <th colspan="2">義務教育学校</th> <th colspan="2">中等教育学校</th> <th colspan="3">特別支援学校</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">うち特別支援学級</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th rowspan="2">うち特別支援学級</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th rowspan="2">全日制</th> <th rowspan="2">定時制</th> <th rowspan="2">通信制</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th rowspan="2">前期課程</th> <th rowspan="2">後期課程</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th rowspan="2">前期課程</th> <th rowspan="2">後期課程</th> <th rowspan="2">(計)</th> <th rowspan="2">うち特別支援学級</th> </tr> <tr> <th>小学校部</th> <th>中学校部</th> <th>高等部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 日本語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(イ) 英語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ウ) 韓国・朝鮮語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(エ) スペイン語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(オ) 中国語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(カ) フィリピン語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(キ) ベトナム語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ク) ポルトガル語</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(ケ) その他</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(人)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">黄色いセルを入力してください。</p>					小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計	うち特別支援学級	(計)	うち特別支援学級	(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	うち特別支援学級	小学校部	中学校部	高等部	(ア) 日本語																	(イ) 英語																	(ウ) 韓国・朝鮮語																	(エ) スペイン語																	(オ) 中国語																	(カ) フィリピン語																	(キ) ベトナム語																	(ク) ポルトガル語																	(ケ) その他																	合計																(人)
	小学校		中学校		高等学校			義務教育学校		中等教育学校		特別支援学校			合計																																																																																																																																																																																																
	うち特別支援学級	(計)	うち特別支援学級		(計)	全日制	定時制	通信制	(計)	前期課程	後期課程	(計)	前期課程	後期課程	(計)	うち特別支援学級																																																																																																																																																																																															
				小学校部													中学校部	高等部																																																																																																																																																																																													
(ア) 日本語																																																																																																																																																																																																															
(イ) 英語																																																																																																																																																																																																															
(ウ) 韓国・朝鮮語																																																																																																																																																																																																															
(エ) スペイン語																																																																																																																																																																																																															
(オ) 中国語																																																																																																																																																																																																															
(カ) フィリピン語																																																																																																																																																																																																															
(キ) ベトナム語																																																																																																																																																																																																															
(ク) ポルトガル語																																																																																																																																																																																																															
(ケ) その他																																																																																																																																																																																																															
合計																(人)																																																																																																																																																																																															
BQ29D-2	FA	BQ29D-1(ケ)が1人以上	「(ケ) その他」にカウントした言語を下記の枠に記入願います。 自由記述：																																																																																																																																																																																																												
改ページ																																																																																																																																																																																																															
第7章 教育委員会における体制整備																																																																																																																																																																																																															
第1節 指導体制の整備																																																																																																																																																																																																															
BQ30	MA	全員	貴教育委員会では、日本語指導が必要な児童生徒の受入れに際して、どのような指導体制を整備していますか。 次の選択肢の中から当てはまるものを全て選択してください。 (ア) 一定域内で初期日本語・適応指導教室や日本語・教科統合指導などの取り出し授業を行うための「拠点校」を設置し、域内の日本語指導が必要な児童生徒が通級を行う (イ) 一定域内で初期日本語・適応指導教室や日本語・教科統合指導などの取り出し授業を行うための「拠点校」を設置し、担当教員が拠点校での指導に加え、拠点校以外の学校へも巡回指導を行う (ウ) 日本語指導の支援者や母語支援員等が域内の学校を巡回して指導・支援を行う ※(イ)の場合を除く (エ) 学校に配置（複数校を巡回するものを除く）した日本語指導担当教員や日本語指導の支援者、母語支援員が指導・支援を行う ※(ア)、(イ)のような「拠点校」方式によるものを除く (オ) 日本語指導担当教員が配置されていない学校において、ICT等を活用した遠隔教育を実施している (カ) 教育委員会等に、日本語指導内容等の研究開発・提供、教員・支援員の配置・研修等についてのコーディネートを行うための組織を設置している (キ) 特段の指導体制を整備していない (ク) その他 その他の具体的な内容：																																																																																																																																																																																																												
BQ31	MA	BQ30 = (キ)	BQ30で「(キ) 特段の指導体制を整備していない」を選択した場合、その理由について、次の選択肢の中から当てはまるものを全て選択してください。 (ア) 所管する学校に日本語指導が必要な児童生徒がいない又は少ない (イ) 通常の学級において必要な支援ができていない (ウ) どのような支援を行うべきか分からない (エ) 指導できる人員が不足している (オ) 予算が不足している (カ) その他 その他の具体的な内容：																																																																																																																																																																																																												
改ページ																																																																																																																																																																																																															
第2節 日本語指導におけるICTの活用状況																																																																																																																																																																																																															
BQ32	SA	全員	学校で1人1台の端末整備が進められるなどICTの活用が本格化していますが、貴教育委員会においては、これら端末等を学校における日本語指導において活用していますか。次の選択肢の中から該当するものを1つ選択してください。 (ア) 活用している (イ) 活用していないが具体的な活用方策を検討している (ウ) 活用していない																																																																																																																																																																																																												
BQ33	FA	BQ32 = (ア)	BQ32で(ア)と回答した場合には、具体的な方策を記入してください。 自由記述：																																																																																																																																																																																																												
BQ34	FA	BQ32 = (イ)	BQ32で(イ)と回答した場合には、具体的な方策を記入してください。 自由記述：																																																																																																																																																																																																												
改ページ																																																																																																																																																																																																															
BQ35-1	SA	全員	学校での端末を日本語指導補助者等の支援者が利用できるようにしていますか。 次の選択肢の中から該当するものを1つ選択してください。 (ア) 利用できるようにしている (イ) 一部で利用できるようにしている (ウ) 利用できるようにしていない																																																																																																																																																																																																												
BQ35-2	FA	BQ35 = (ウ)	「(ウ) 利用できるようにしていない」と回答した場合には、利用できるようにしていない理由を記入してください。 自由記述：																																																																																																																																																																																																												
改ページ																																																																																																																																																																																																															
第3節 支援員等の配置状況																																																																																																																																																																																																															
BQ36	数値入力	全員	貴教育委員会において、令和5年5月1日現在で雇用・登録等されている日本語指導の支援者（学校において日本語指導の支援を行う外部人材）について、雇用形態等別に人数を回答してください。これらの者の雇用・登録等がない場合には、「0」を記入してください。 (ア) 常勤職員： 名 黄色いセルを入力してください。 (イ) 会計年度任用職員： 名 黄色いセルを入力してください。 (ウ) ボランティア： 名 黄色いセルを入力してください。 (エ) 他機関（団体等）からの派遣者： 名 黄色いセルを入力してください。 (オ) その他： 名 黄色いセルを入力してください。 (カ) 合計： 名																																																																																																																																																																																																												
改ページ																																																																																																																																																																																																															

BQ37	数値入力	全員	貴教育委員会において、令和5年5月1日現在で雇用・登録等されている母語支援員（学校において児童生徒の母語により支援（児童生徒の対応だけでなく、保護者とのやり取りや保護者向け文書の翻訳を含む）を行う外部人材）について、雇用形態等別に人数を回答してください。 これらの者の雇用・登録等がない場合は、「0」を記入してください。
		(ア)	常勤職員： 名 黄色いセルを入力してください。
		(イ)	会計年度任用職員： 名 黄色いセルを入力してください。
		(ウ)	ボランティア： 名 黄色いセルを入力してください。
		(エ)	他機関（団体等）からの派遣者： 名 黄色いセルを入力してください。
		(オ)	その他： 名 黄色いセルを入力してください。
		(カ)	合計： 名

改ページ

BQ38-1	数値入力	BQ37が1人以上	貴教育委員会において、令和5年5月1日現在で雇用・登録等されている母語支援員（学校において児童生徒の母語により支援（児童生徒の対応だけでなく、保護者とのやり取りや保護者向け文書の翻訳を含む）を行う外部人材）について、対応している言語別人数を回答してください。 なお、複数言語に対応している母語支援員については言語別に計上してください。 （※）例えば、英語とポルトガル語の両方に対応している母語支援員については、英語とポルトガル語の両方に計上してください。
		(ア)	英語： 名 黄色いセルを入力してください。
		(イ)	韓国・朝鮮語： 名 黄色いセルを入力してください。
		(ウ)	スペイン語： 名 黄色いセルを入力してください。
		(エ)	中国語： 名 黄色いセルを入力してください。
		(オ)	フィリピン語： 名 黄色いセルを入力してください。
		(カ)	ベトナム語： 名 黄色いセルを入力してください。
		(キ)	ポルトガル語： 名 黄色いセルを入力してください。
		(ク)	その他： 名 黄色いセルを入力してください。

BQ38-2	FA	BQ38-1(ケ)が1以上	「(ク)その他」が1名以上いる場合の具体的な言語名 自由記述：
--------	----	---------------	------------------------------------

改ページ

第4節 研修の実施状況

BQ39-1	MAMT	全員	日本語指導が必要な児童生徒の教育について、次の①～⑥の対象者に対し、前年度間（令和4年度間）に教育委員会として独自に何らかの研修を行いましたか。 研修を実施した場合は、該当する研修内容を全て選択してください。 教育委員会として独自に研修を実施していない場合は、「実施していない」を選択してください。 （※）オンライン研修も含まれます。
--------	------	----	--

(研修内容)	(対象者)					
	①	②	③	④	⑤	⑥
	在籍学級担任、日本語指導担当教員	主任、主事（教務主任、学年主任、生徒指導主事等）	管理職	①～③以外の教員	日本語指導の支援者、母語支援員	その他
(ア) 外国人児童生徒受入れの現状と施策						
(イ) 学校の受入れ体制						
(ウ) 外国人児童生徒の心理、アイデンティティ						
(エ) 日本語指導の方法						
(オ) 言語能力の把握						
(カ) その他						
(キ) 実施していない（単独選択）						

黄色いセルを入力してください。

BQ39-2	FA	BQ39-1⑥ = (ア)～(カ)	「⑥その他」で(ア)～(カ)を選択した場合の具体的な対象者 自由記述：
--------	----	-------------------	--

BQ39-3	FA	BQ39-1(カ) = ①～⑥	「(カ)その他」を選択した場合の具体的な研修内容 自由記述：
--------	----	-----------------	-----------------------------------

BQ40	数値入力	BQ39-1① = (ア)～(カ)	上記設問①で(ア)～(カ)を選択した場合、在籍学級担任又は日本語指導担当教員を主な対象者とした研修について、研修の年間実施回数及び延べ参加教員数を回答してください。
		(ア)	年間実施回数： 回 黄色いセルを入力してください。
		(イ)	延べ参加教員数： 名 黄色いセルを入力してください。

改ページ

BQ41	MA	全員	貴教育委員会における研修の実施について、どのようなことお感じになっていますか。 次の選択肢の中から該当するものを全て選択してください。
		(ア)	研修を担当する講師を確保することが困難である
		(イ)	外国人の子供の受入れが不定期であり、計画的に研修を行うことが難しい
		(ウ)	どのような研修内容を実施すべきか分からない
		(エ)	専門的な日本語指導を行える人材を学校に配置するため、教員には特段の研修は必要ない
		(オ)	各学校での対応（前任者からの引継ぎ等）で十分であり、特段の研修は必要ない
		(カ)	管轄下に日本語指導が必要な外国人の子供が全く又はほとんどいないため、独自の研修は特に必要ない
		(キ)	他の実施主体が提供する研修を受講させているため、独自の研修は特に必要ない（単独選択）
		(ク)	その他
			その他の具体的な内容：

BQ42	FA	BQ41 = (キ)	上記で「(キ)他の実施主体が提供する研修を受講させているため、独自の研修は特に必要ない」と回答した場合、他の実施主体の名称を記入してください。 自由記述：
------	----	------------	--

改ページ

第5節 地方公共団体独自の予算措置の状況			
BQ43	MAMT	全員	外国人児童生徒等の施策に関して、令和4年度中に実施された施策で、貴教育委員会が独自に予算措置を行っているものについて、各学校段階別に全て選択してください。 (※) 各教育委員会が国（市区町村については国および都道府県）からの補助金・委託費等を受けず、独自に予算措置を行っているものに限りです。
			(1) 人材配置
			小・中学校 段階 高等学校 段階
			(ア) 担当教員（常勤）の配置
			(イ) 児童生徒の母語を話せる支援員の配置
			(ウ) 日本語指導の支援員の配置
			(エ) ソーシャルワーカー等の生活支援を行う者の配置
			(オ) 多様なステークホルダーをつなぐコーディネータの配置
			(カ) それ以外の支援員等の配置
			(キ) 当てはまるものはない（単独選択）
			黄色いセルを入力してください。
			(2) 研修
			小・中学校 段階 高等学校 段階
			(ア) 日本語指導担当教員の研修
			(イ) 日本語・母語などの支援員の研修
			(ウ) 在籍学級担任・教科担当教員も含めた研修
			(エ) 当てはまるものはない（単独選択）
			黄色いセルを入力してください。
			(3) 受入体制
			小・中学校 段階 高等学校 段階
			(ア) 関係機関と連携した協議会等の開催
			(イ) 拠点校・支援センターの設置
			(ウ) 日本語を指導する教室等の設置
			(エ) 当てはまるものはない（単独選択）
			黄色いセルを入力してください。
			(4) 情報提供
			小・中学校 段階 高等学校 段階
			(ア) 就学・教育相談窓口の設置
			(イ) 就学に関するガイドブックの作成・配布
			(ウ) 外国人の子供の保護者に対する就学案内
			(エ) 学齢期にある外国人の子供の就学状況調査
			(オ) 就学前の外国人の子供の保護者に対する就学ガイダンス
			(カ) 就学前の外国人の子供を対象としたプレスクール
			(キ) 外国人児童生徒とその保護者に対する進路ガイダンス
			(ク) 在京大使館や領事館等との協力による大学進学等に関する啓発活動
			(ケ) 当てはまるものはない（単独選択）
			黄色いセルを入力してください。
改ページ			
第8章 その他			
BQ44	FA	全員	前年度（令和4年度）より充実した取組や今後充実を図る予定、そのほか、困っていることや要望等、自由に記載してください。
			自由記述：